

常滑市  
子ども・子育てに関するアンケート調査  
調査結果報告書

令和6年8月

常 滑 市



# 目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	就学前保護者	2
(1)	お住まいの地域について	2
(2)	お子さんご家族の状況について	3
(3)	子どもの育ちをめぐる環境について	8
(4)	お子さんの保護者の就労状況について	14
(5)	お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	25
(6)	お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について	36
(7)	お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	44
(8)	お子さんの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）	50
(9)	お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	58
(10)	お子さんが来年度小学校1年生になる方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について	69
(11)	すべての方に、育児休業など職場の両立支援制度について	83
(12)	子育ての環境や支援について	92
2	小学生保護者	98
(1)	お住まいの地域について	98
(2)	お子さんご家族の状況について	99
(3)	子どもの育ちをめぐる環境について	105
(4)	お子さんの保護者の就労状況について	111
(5)	お子さんの病気の際の対応について	123
(6)	お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	134
(7)	放課後の過ごし方について	141
(8)	ヤングケアラーについて	169
(9)	子育ての環境や支援について	170

Ⅲ 自由回答.....	176
1 就学前保護者.....	176
2 小学生保護者.....	177

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

子育て支援施策の充実に向け、「第3期常滑市子ども・子育て支援事業計画」を策定するための基礎資料として、子育ての状況やご要望・ご意見などを把握するため、実施するものです。

## 2 調査対象

就学前保護者：無作為に1,000名を抽出

小学生保護者：無作為に1,000名を抽出

## 3 調査期間

令和6年4月16日（火）～令和6年5月13日（月）

## 4 調査方法

郵送による配布・回収またはインターネット回答

## 5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前保護者	1,000通	539通	54.0%
小学生保護者	1,000通	520通	52.0%

## 6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）

## II 調査結果

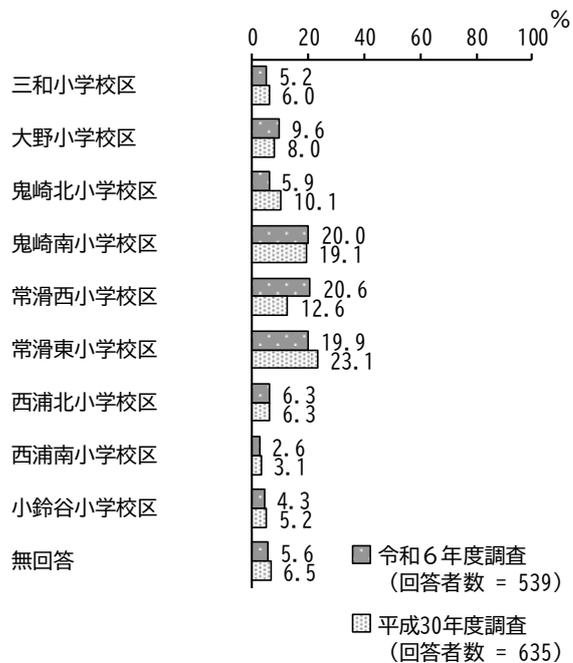
### 1 就学前保護者

#### (1) お住まいの地域について

問1 宛名のお子さんの予定小学校区の番号1つに○をつけてください。

「常滑西小学校区」の割合が20.6%と最も高く、次いで「鬼崎南小学校区」の割合が20.0%、「常滑東小学校区」の割合が19.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「常滑西小学校区」の割合が増加しています。

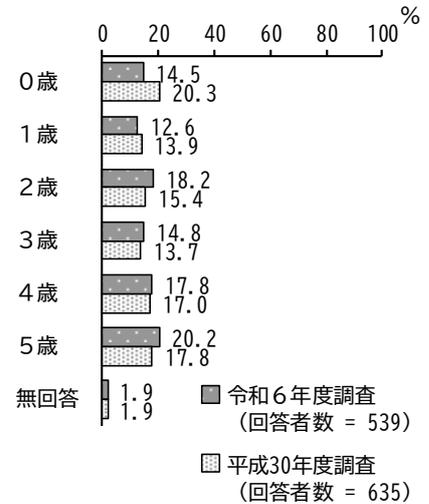


## (2) お子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください  
(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)。

「5歳」の割合が20.2%と最も高く、次いで「2歳」の割合が18.2%、「4歳」の割合が17.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「0歳」の割合が減少しています。

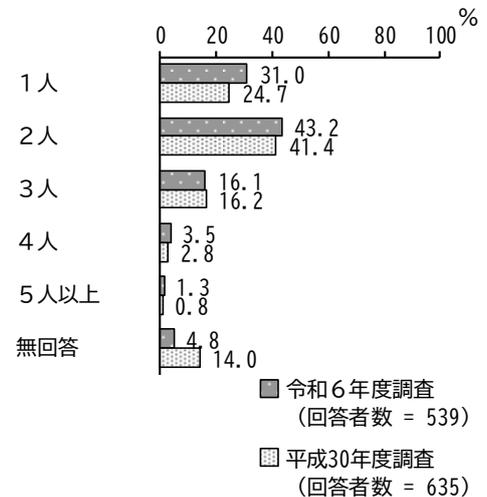


問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

### きょうだい数

「2人」の割合が43.2%と最も高く、次いで「1人」の割合が31.0%、「3人」の割合が16.1%となっています。

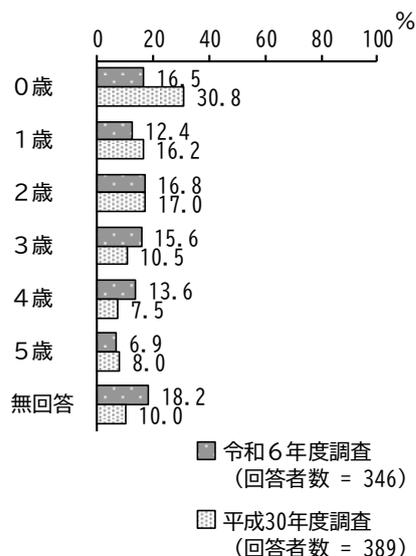
平成30年度調査と比較すると、「1人」の割合が増加しています。



## 未子の年齢

「2歳」の割合が16.8%と最も高く、次いで「0歳」の割合が16.5%、「3歳」の割合が15.6%となっています。

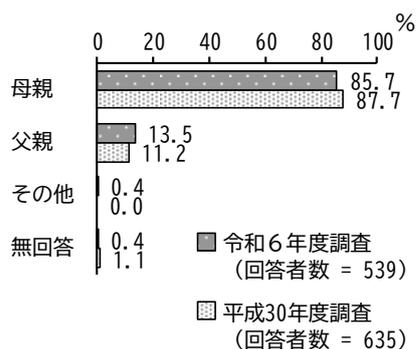
平成30年度調査と比較すると、「3歳」「4歳」の割合が増加しています。一方、「0歳」の割合が減少しています。



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が85.7%、「父親」の割合が13.5%となっています。

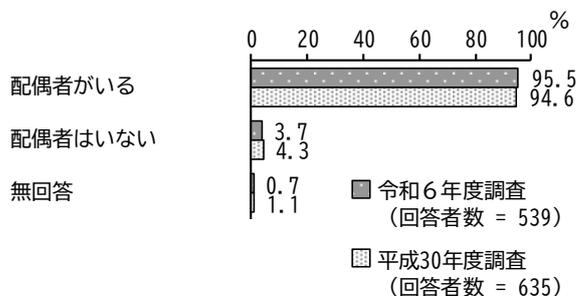
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

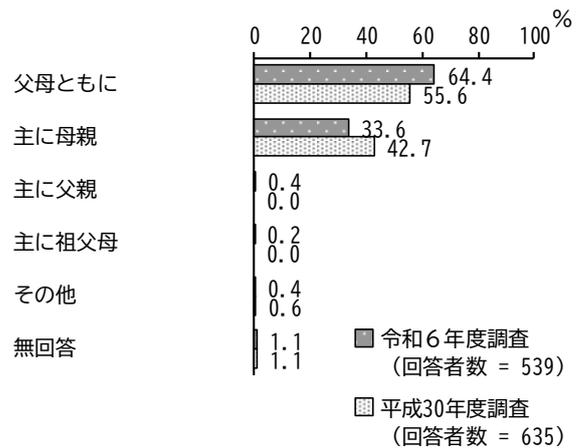
「配偶者がいる」の割合が95.5%、「配偶者がいない」の割合が3.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

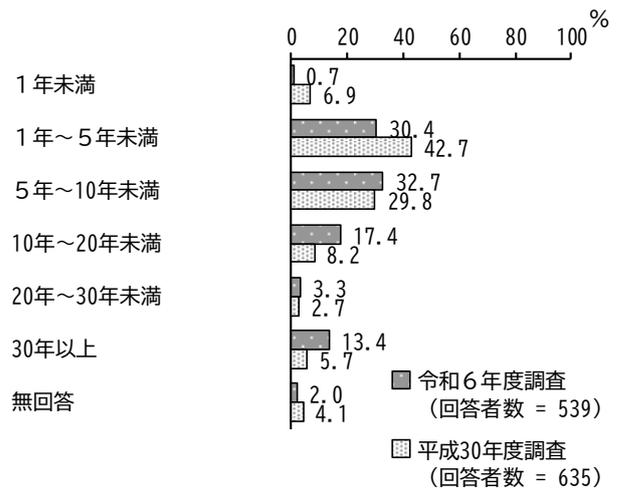
「父母ともに」の割合が64.4%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が33.6%となっています。平成30年度調査と比較すると、「父母ともに」の割合が増加しています。一方、「主に母親」の割合が減少しています。



問7 この調査票にご回答いただいている方について、現在の地域にお住まいの年数をお答えください。また、生まれた時から現在の地域にお住まいかどうかをお答えください。(居住年数は数字で記入、選択肢の1つに○)

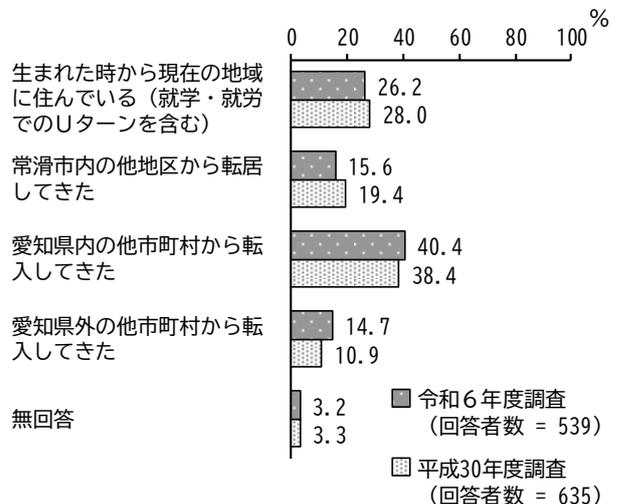
#### 現在の地域での居住年数

「5年～10年未満」の割合が32.7%と最も高く、次いで「1年～5年未満」の割合が30.4%、「10年～20年未満」の割合が17.4%となっています。平成30年度調査と比較すると、「10年～20年未満」「30年以上」の割合が増加しています。一方、「1年未満」「1年～5年未満」の割合が減少しています。



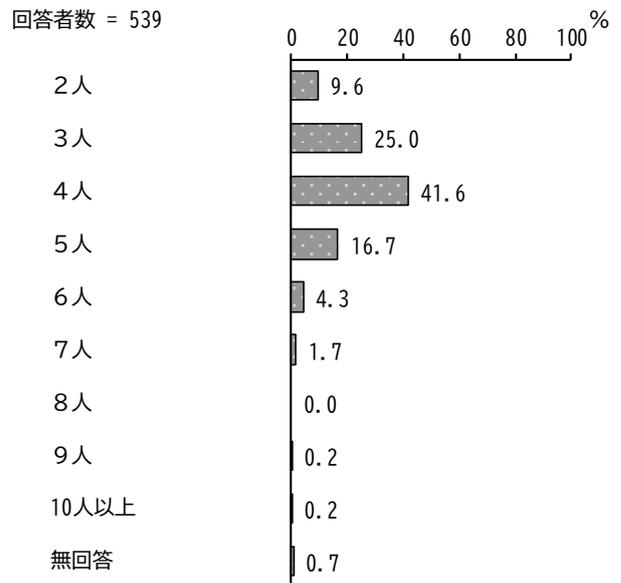
#### いつから住んでいるか

「愛知県内の他市町村から転入してきた」の割合が40.4%と最も高く、次いで「生まれた時から現在の地域に住んでいる（就学・就労でのUターンを含む）」の割合が26.2%、「常滑市内の他地区から転居してきた」の割合が15.6%となっています。平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



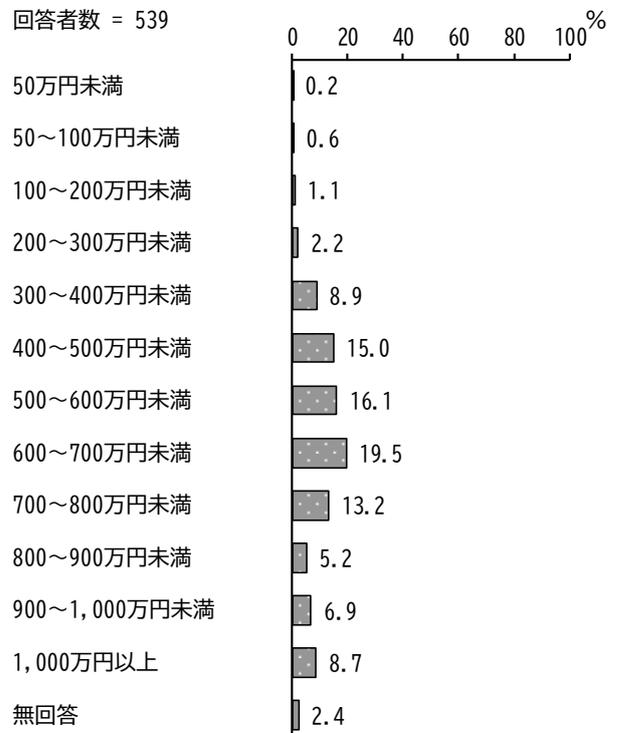
問8 宛名のお子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。(単身赴任や学業のために世帯を離れている方がいる場合には、その方を含めたご家族の人数を教えてください。)

「4人」の割合が41.6%と最も高く、次いで「3人」の割合が25.0%、「5人」の割合が16.7%となっています。



問9 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「600～700万円未満」の割合が19.5%と最も高く、次いで「500～600万円未満」の割合が16.1%、「400～500万円未満」の割合が15.0%となっています。

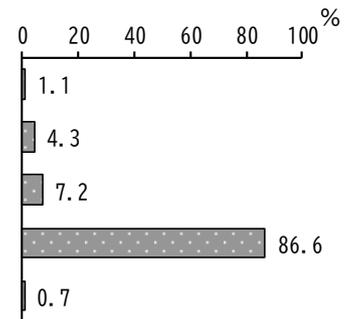


問10 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「まったくなかった」の割合が86.6%と最も高くなっています。

回答者数 = 539

よくあった  
ときどきあった  
まれにあった  
まったくなかった  
無回答

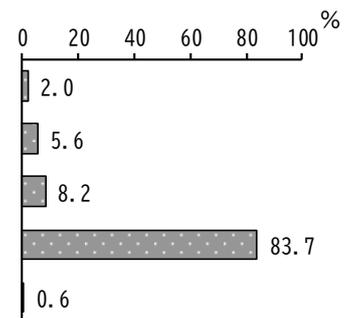


問11 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「まったくなかった」の割合が83.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 539

よくあった  
ときどきあった  
まれにあった  
まったくなかった  
無回答

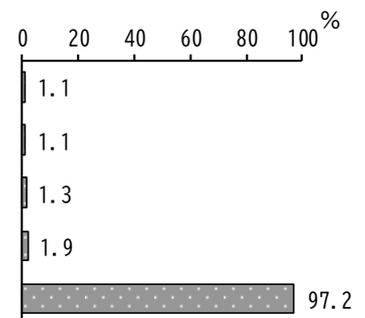


問12 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「無回答」の割合が97.2%と最も高くなっています。

回答者数 = 539

電気料金  
ガス料金  
水道料金  
携帯電話料金  
無回答

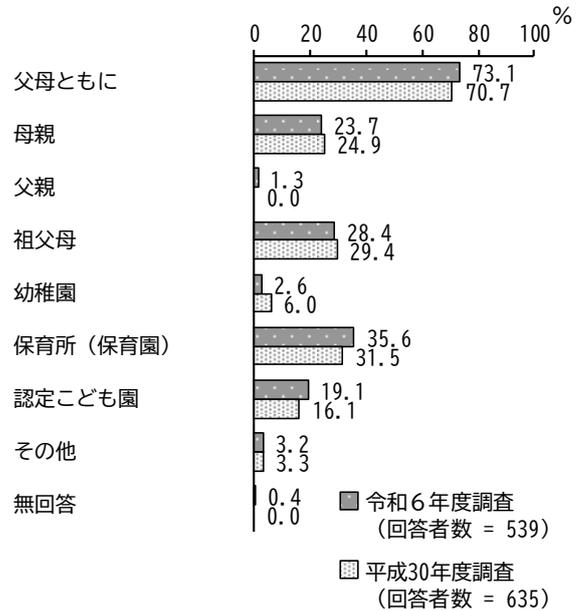


### (3) 子どもの育ちをめぐる環境について

問13 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「父母ともに」の割合が73.1%と最も高く、次いで「保育所（保育園）」の割合が35.6%、「祖父母」の割合が28.4%となっています。

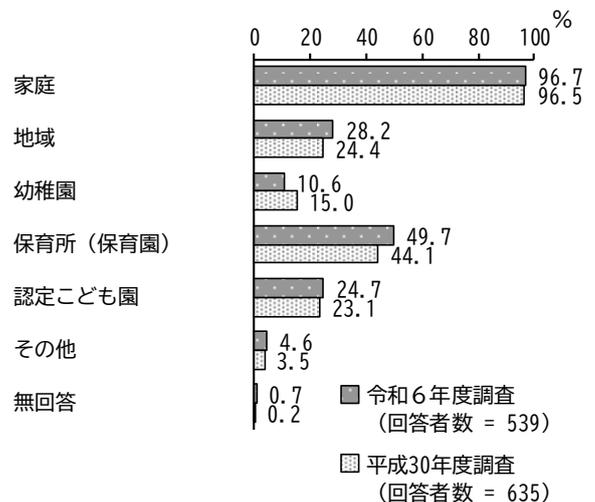
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問14 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

「家庭」の割合が96.7%と最も高く、次いで「保育所（保育園）」の割合が49.7%、「地域」の割合が28.2%となっています。

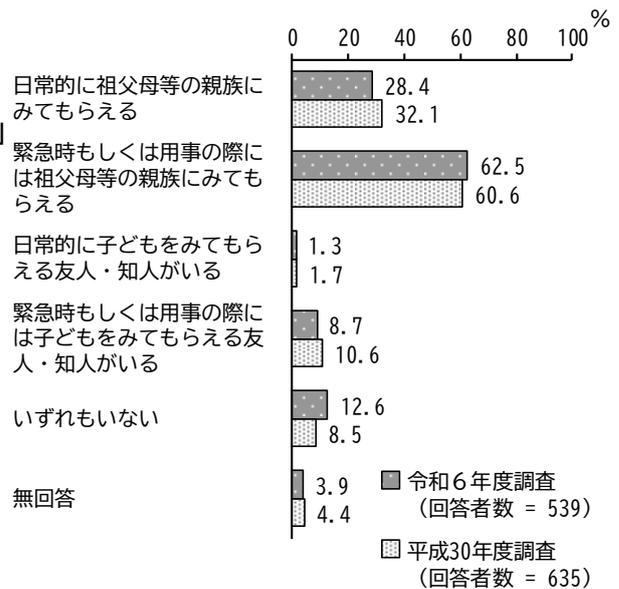
平成30年度調査と比較すると、「保育所（保育園）」の割合が増加しています。



問 15 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 62.5%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 28.4%、「いずれもない」の割合が 12.6%となっています。

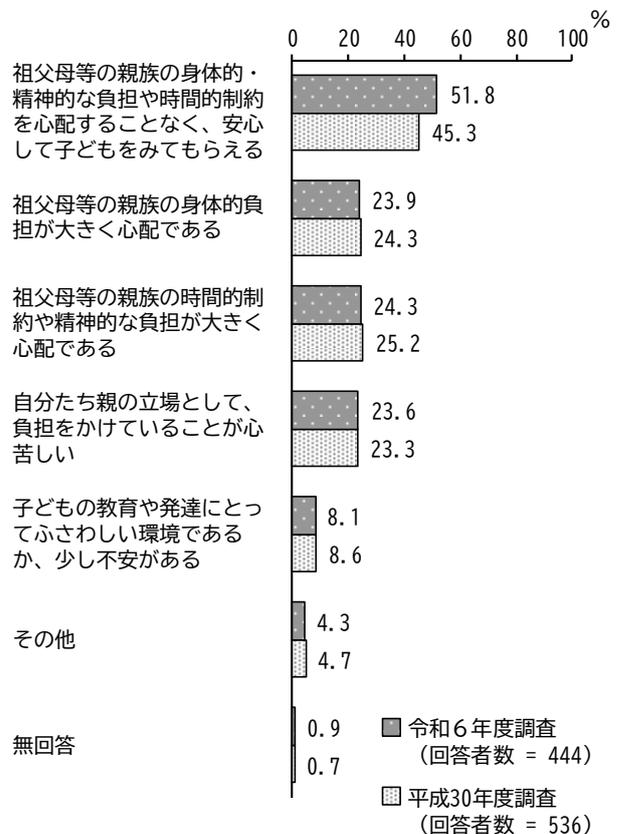
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 15-1 問 15 で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が 51.8%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が 24.3%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が 23.9%となっています。

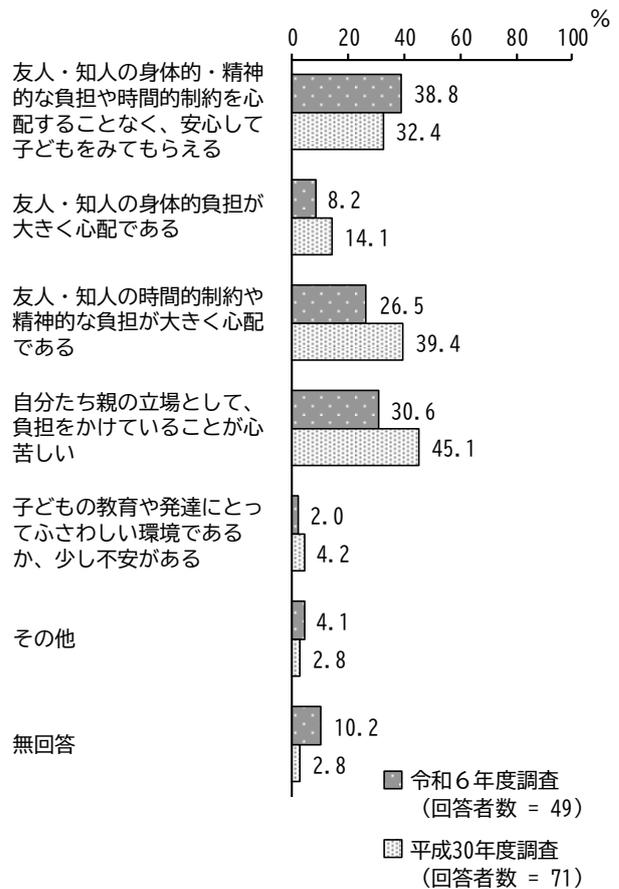
平成 30 年度調査と比較すると、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が増加しています。



問 15-2 問 15 で「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が 38.8%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が 30.6%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が 26.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が増加しています。一方、「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が減少しています。



問 16 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

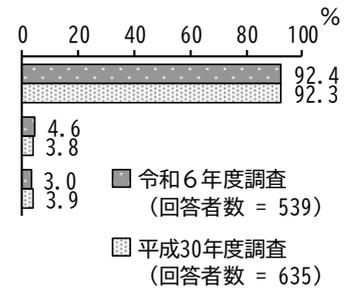
「いる／ある」の割合が92.4%、「いない／ない」の割合が4.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

いる／ある

いない／ない

無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、大きな差はみられません。

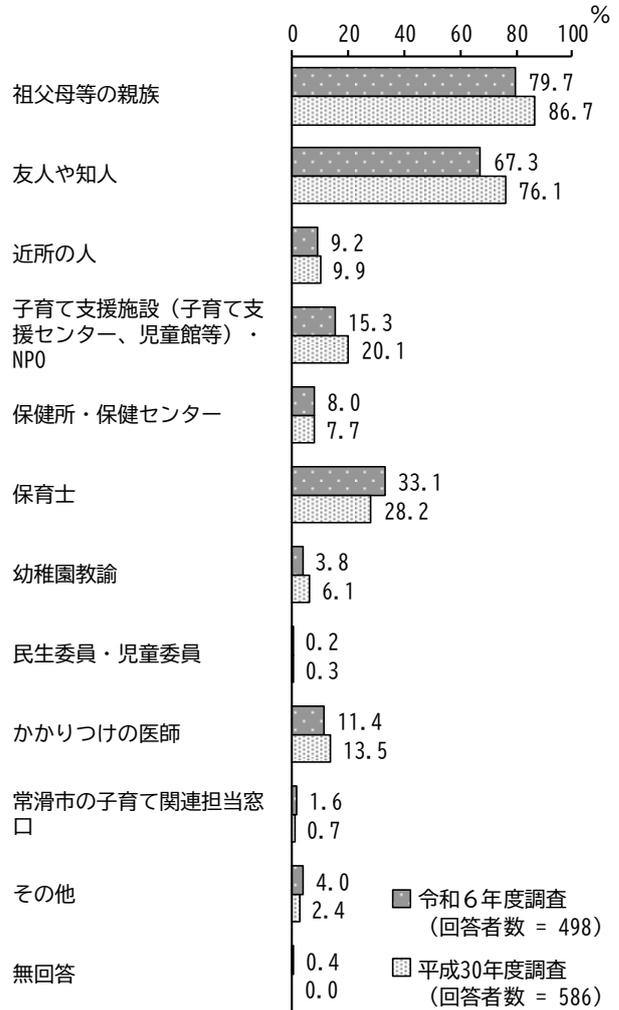
単位：%

区分	回答者数 (件)	いる／ある	いない／ない	無回答
全 体	539	92.4	4.6	3.0
0歳	78	92.3	6.4	1.3
1歳	68	88.2	5.9	5.9
2歳	98	94.9	3.1	2.0
3歳	80	96.3	3.8	—
4歳	96	92.7	5.2	2.1
5歳	109	89.9	4.6	5.5

問16-1 問16で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族」の割合が79.7%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が67.3%、「保育士」の割合が33.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「祖父母等の親族」「友人や知人」の割合が減少しています。



※前回調査では、「常滑市の子育て関連担当窓口」の選択肢は「自治体の子育て関連担当窓口」となっていました。

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、3～5歳で「保育士」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	子育て支援施設（児童館等）・NPO	保健所・保健センター	保育士	幼稚園教諭	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	常滑市の子育て関連担当窓口	その他	無回答
全体	498	79.7	67.3	9.2	15.3	8.0	33.1	3.8	0.2	11.4	1.6	4.0	0.4
0歳	72	87.5	69.4	5.6	19.4	16.7	9.7	-	-	12.5	2.8	5.6	-
1歳	60	81.7	60.0	6.7	20.0	10.0	25.0	-	-	10.0	3.3	3.3	-
2歳	93	75.3	67.7	11.8	25.8	11.8	29.0	1.1	-	14.0	2.2	3.2	2.2
3歳	77	79.2	71.4	5.2	14.3	9.1	40.3	13.0	1.3	14.3	-	2.6	-
4歳	89	76.4	68.5	14.6	7.9	3.4	48.3	4.5	-	10.1	2.2	4.5	-
5歳	98	79.6	64.3	9.2	7.1	1.0	40.8	3.1	-	9.2	-	5.1	-

問17 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。自由にお書きください。

<主な意見>

- ・気軽に預かってもらえる場所があり、利用しやすい。（未就園児で、仕事してなくて、予約しやすい、値段も安い、保育士も多い等）土、日でも遊べる子育て支援センターのような施設。
- ・気軽に子どもをあずかってもらえる施設があるといい。例えば急用時に1～2時間だけあずかってもらえる場所。
- ・近くにグリーンのような子供が遊べる場所やイベント等がある施設があるとよい。
- ・習い事の送り迎えの代行があれば、助かります。
- ・子どもを預けられる託児所が欲しい。親族など頼れる人がいないのでとても困っている。
- ・ミルク代、おむつ代のサポートを強化してほしい。
- ・保育園、幼稚園以外の一時預かり所が見当たらない。単日で2～3時間あずかってもらえる所がほしい。
- ・予約不要で、気軽にいつでも相談できる人、場所。子どもをいつでもあずけられる場所（就労してなくても）。

#### (4) お子さんの保護者の就労状況について

宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

問 18 (1) 母親 【父子家庭の場合は記入不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 33.4%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 25.4%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 23.6%となっています。

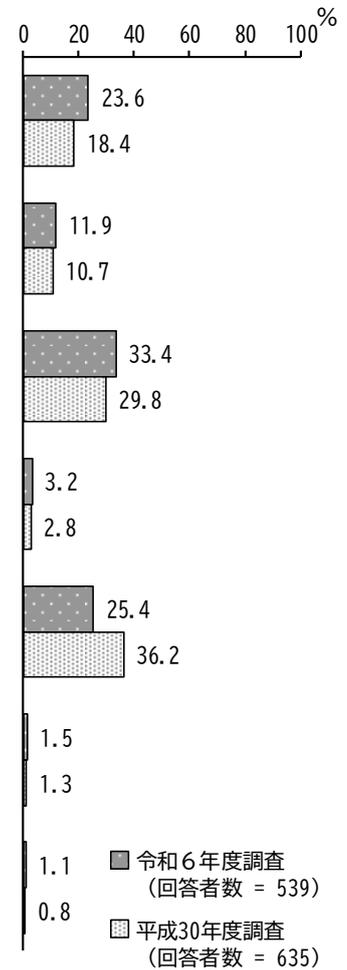
平成 30 年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない  
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である  
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない  
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

以前は就労していたが、現在は就労していない

これまで就労したことがない

無回答

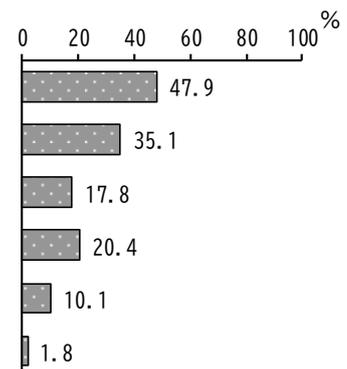


問 18 (1) - 1 問 18 (1) で「1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」～「4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。土曜日、日曜日、祝日の就労状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「休み」の割合が 47.9%と最も高く、次いで「土曜日に就労している」の割合が 35.1%、「祝日に就労している」の割合が 20.4%となっています。

回答者数 = 388

休み  
土曜日に就労している  
日曜日に就労している  
祝日に就労している  
その他  
無回答

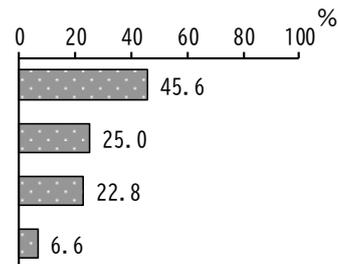


### 土曜日頻度

「毎週」の割合が 45.6%と最も高く、次いで「隔週」の割合が 25.0%、「月1回程度」の割合が 22.8%となっています。

回答者数 = 136

毎週  
隔週  
月1回程度  
無回答

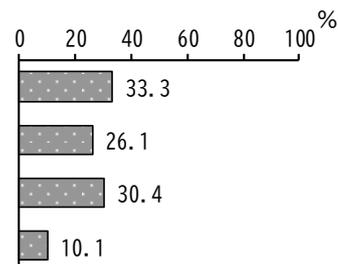


### 日曜日頻度

「毎週」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「月1回程度」の割合が 30.4%、「隔週」の割合が 26.1%となっています。

回答者数 = 69

毎週  
隔週  
月1回程度  
無回答

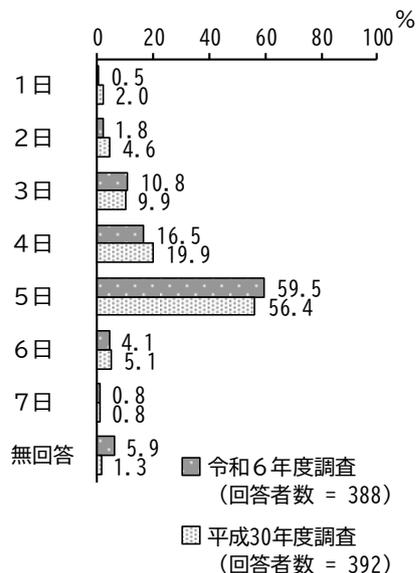


問 18 (1) - 2 問 18 (1) で「1. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」～「4. パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外の就労) で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(就労している) に○をつけた方にかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間 (残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください (□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)。

### 1週当たりの就労日数

「5日」の割合が 59.5%と最も高く、次いで「4日」の割合が 16.5%、「3日」の割合が 10.8%となっています。

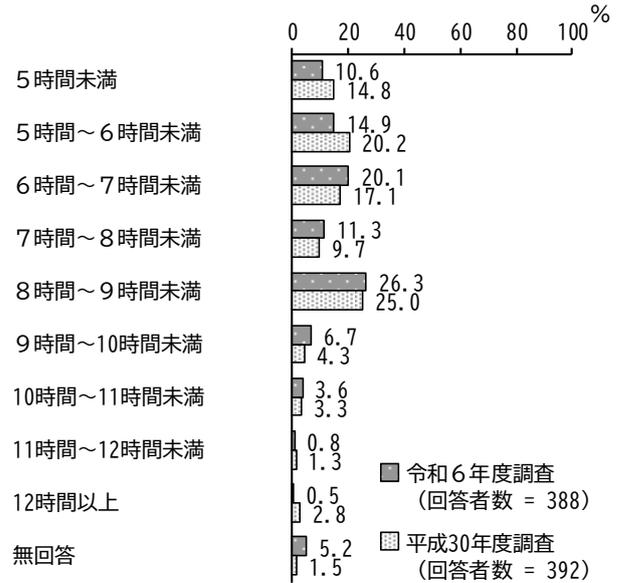
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



## 1日当たりの就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が26.3%と最も高く、次いで「6時間～7時間未満」の割合が20.1%、「5時間～6時間未満」の割合が14.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5時間～6時間未満」の割合が減少しています。

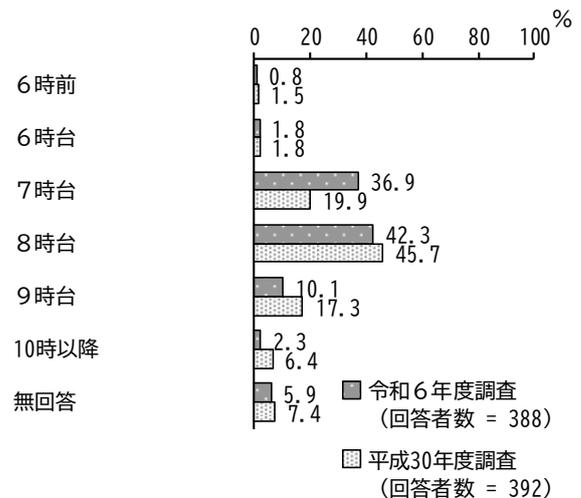


問18(1)－3 問18(1)で「1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」～「4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である(就労している)に○をつけた方にかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず「(例)08時～18時」のように、24時間制でお答えください(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)。

## 家を出る時刻

「8時台」の割合が42.3%と最も高く、次いで「7時台」の割合が36.9%、「9時台」の割合が10.1%となっています。

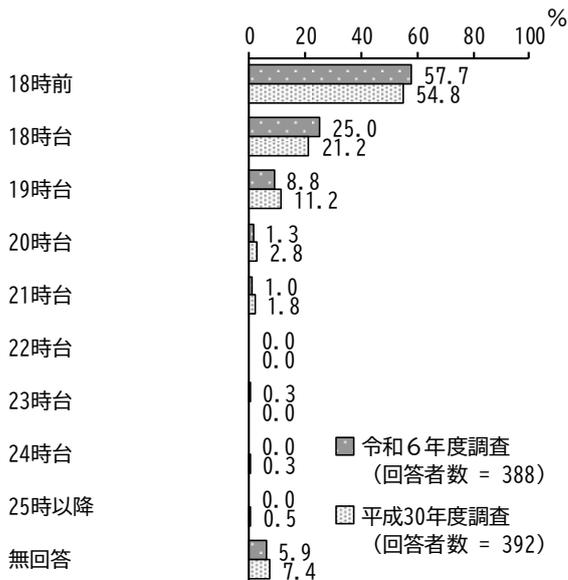
平成30年度調査と比較すると、「7時台」の割合が増加しています。一方、「9時台」の割合が減少しています。



## 帰宅時刻

「18 時前」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 25.0%となっています。

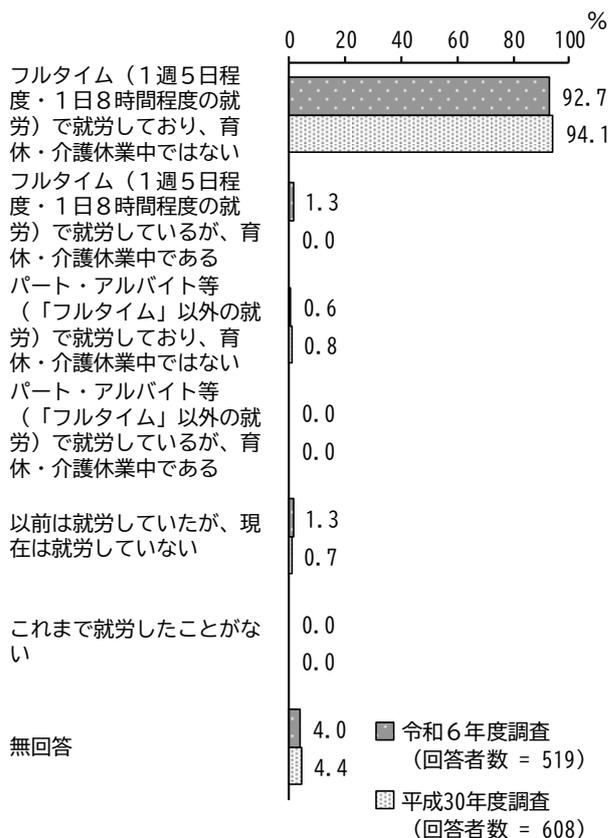
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 18 (2) 父親 【母子家庭の場合は記入不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が 92.7%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

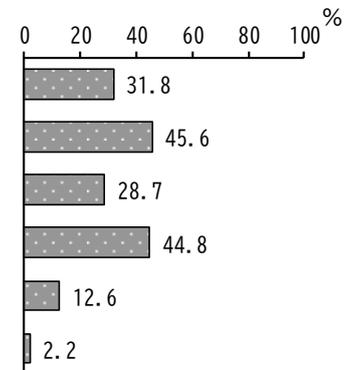


問18(2)-1 問18(2)で「1.フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない」～「4.パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。土曜日、日曜日、祝日の就労状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「土曜日に就労している」の割合が45.6%と最も高く、次いで「祝日に就労している」の割合が44.8%、「休み」の割合が31.8%となっています。

回答者数 = 491

休み  
土曜日に就労している  
日曜日に就労している  
祝日に就労している  
その他  
無回答

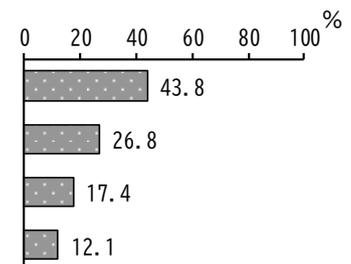


#### 土曜日頻度

「毎週」の割合が43.8%と最も高く、次いで「隔週」の割合が26.8%、「月1回程度」の割合が17.4%となっています。

回答者数 = 224

毎週  
隔週  
月1回程度  
無回答

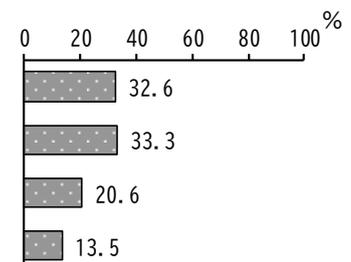


#### 日曜日頻度

「隔週」の割合が33.3%と最も高く、次いで「毎週」の割合が32.6%、「月1回程度」の割合が20.6%となっています。

回答者数 = 141

毎週  
隔週  
月1回程度  
無回答



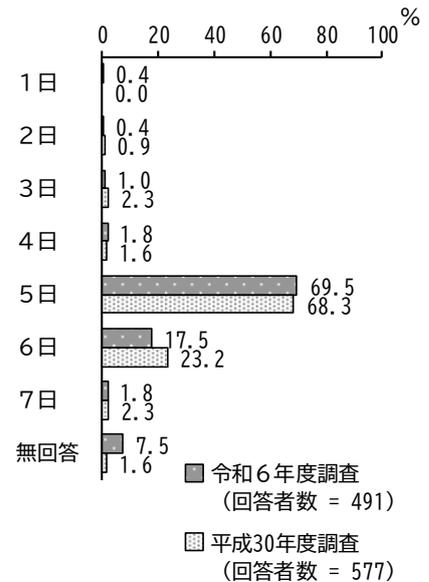
問18(2)-2 問18(2)で「1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない」～「4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)。

### 1週当たりの就労日数

「5日」の割合が69.5%と最も高く、次いで

「6日」の割合が17.5%となっています。

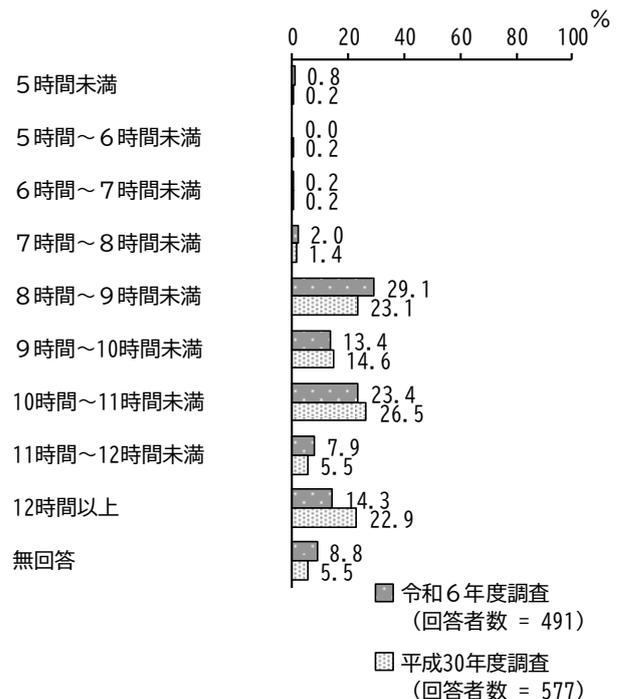
平成30年度調査と比較すると、「6日」の割合が減少しています。



### 1日当たりの就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が29.1%と最も高く、次いで「10時間～11時間未満」の割合が23.4%、「12時間以上」の割合が14.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時間～9時間未満」の割合が増加しています。一方、「12時間以上」の割合が減少しています。

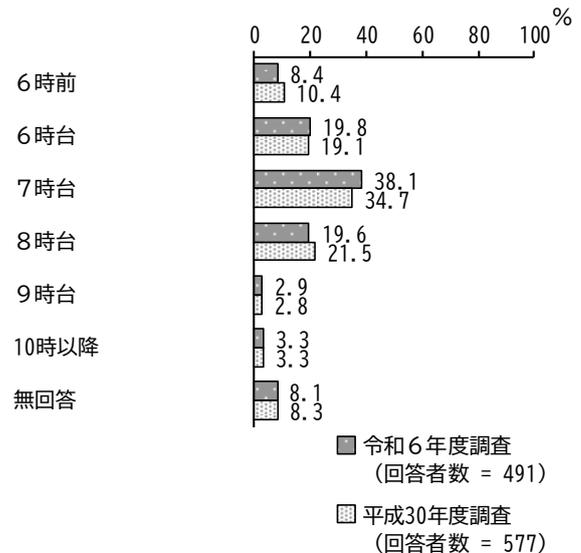


問18(2)-3 問18(2)で「1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない」～「4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず「(例)08時～18時」のように、24時間制でお答えください(□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)。

### 家を出る時刻

「7時台」の割合が38.1%と最も高く、次いで「6時台」の割合が19.8%、「8時台」の割合が19.6%となっています。

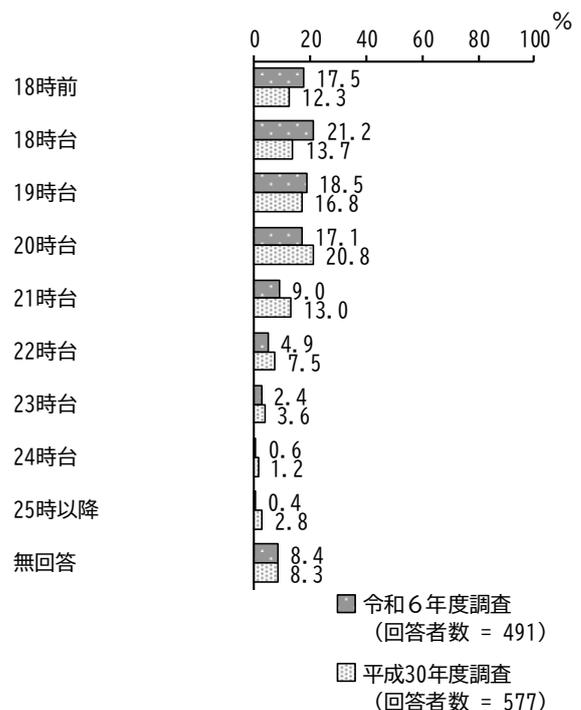
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 帰宅時刻

「18時台」の割合が21.2%と最も高く、次いで「19時台」の割合が18.5%、「18時前」の割合が17.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「18時前」「18時台」の割合が増加しています。

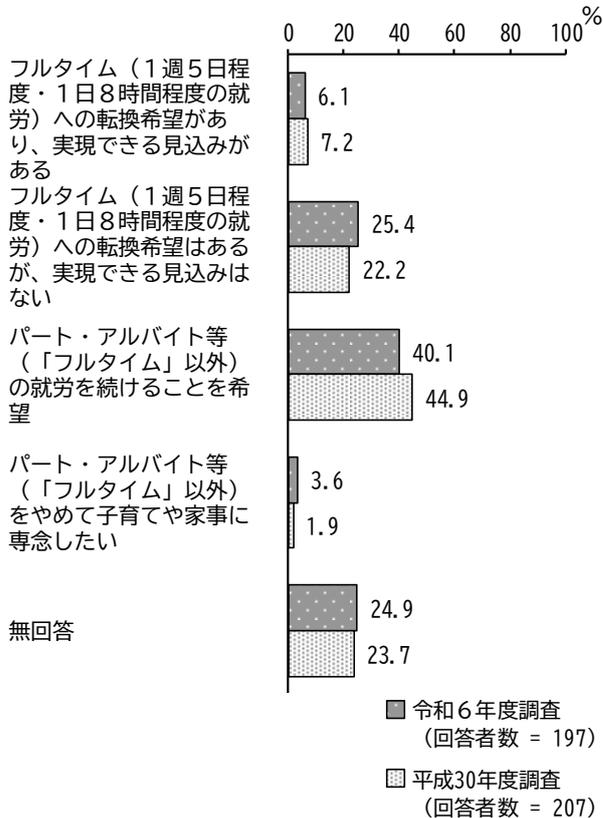


問19 問18(1)または問18(2)で「3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中である」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問20へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。  
①母親、②父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

①母親

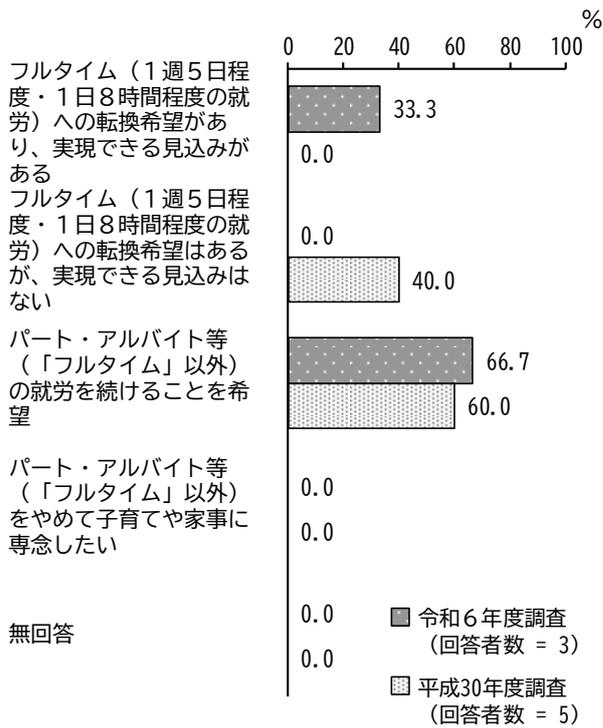
「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が40.1%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が25.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



②父親

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が2件となっています。「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」が1件となっています。

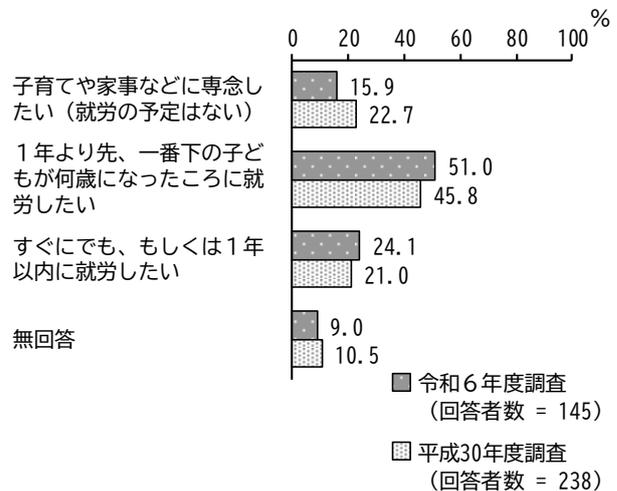


問20 問18(1)または問18(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問21へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください(数字は一枠に一字)。

### (1) 母親

「1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい」の割合が51.0%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が24.1%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が15.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい」の割合が増加しています。一方、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が減少しています。



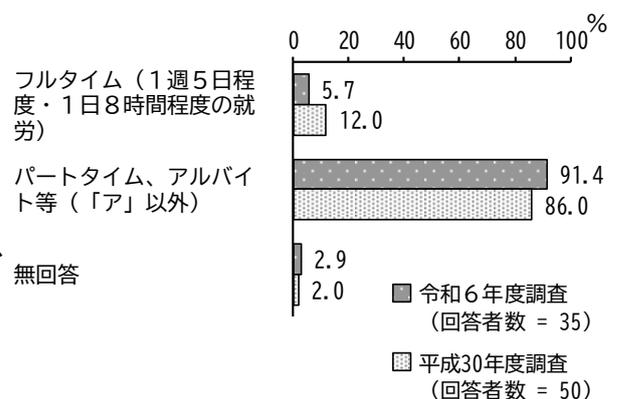
### 就労したいときの末子の年齢

有効回答がありませんでした。

### 希望する就労形態

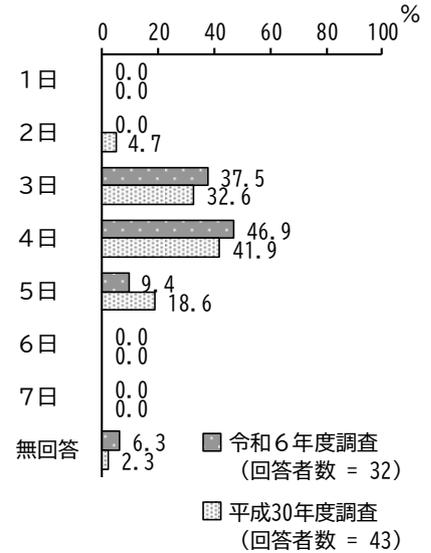
「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」の割合が5.7%、「パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)」の割合が91.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)」の割合が増加しています。一方、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」の割合が減少しています。



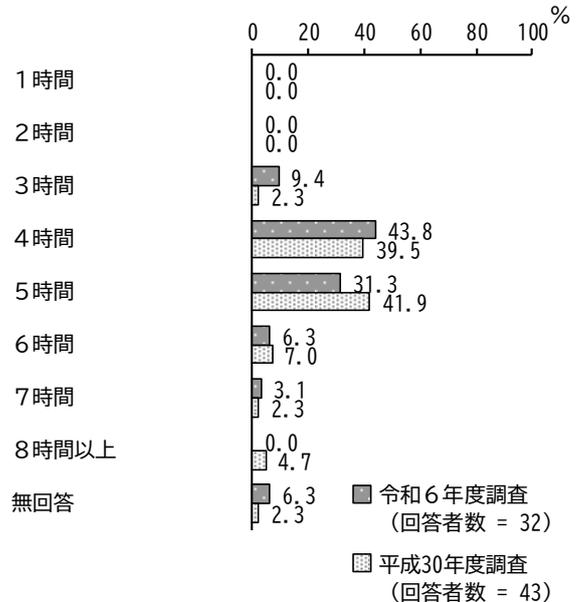
### 1週当たりの希望就労日数

「4日」の割合が46.9%と最も高く、次いで「3日」の割合が37.5%となっています。  
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が減少しています。



### 1日当たりの希望就労時間

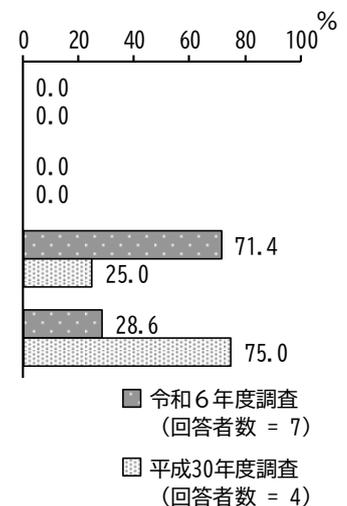
「4時間」の割合が43.8%と最も高く、次いで「5時間」の割合が31.3%となっています。  
平成30年度調査と比較すると、「3時間」の割合が増加しています。一方、「5時間」の割合が減少しています。



### (2) 父親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が5件となっています。

子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）  
1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい  
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい  
無回答



### 就労したいときの末子の年齢

有効回答がありませんでした。

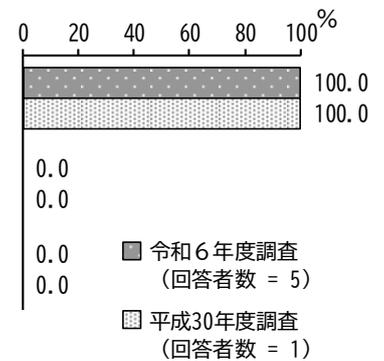
### 希望する就労形態

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が5件、「パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）」が0件となっています。

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

無回答



### 1週当たりの希望就労日数

有効回答がありませんでした。

### 1日当たりの希望就労時間

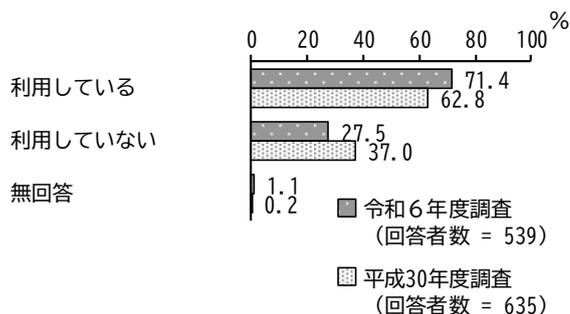
有効回答がありませんでした。

## (5) お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 21 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所（保育園）などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用している」の割合が71.4%、「利用していない」の割合が27.5%となっています。

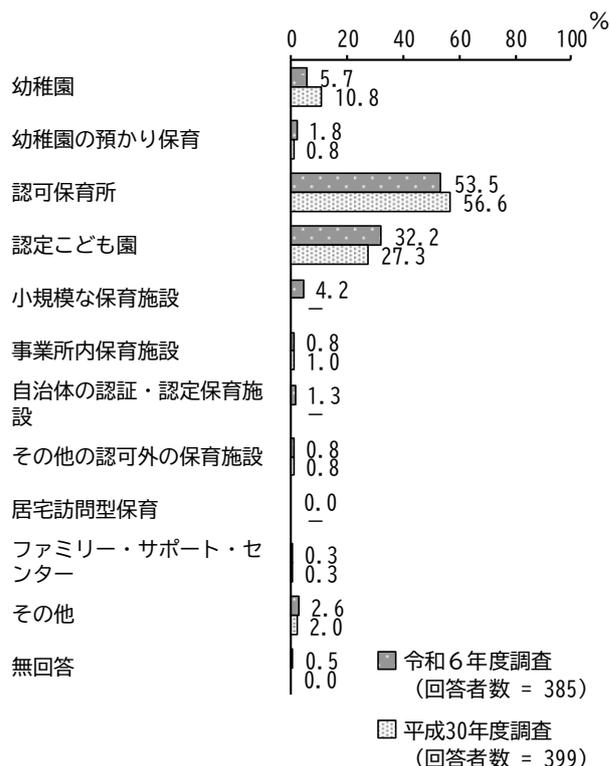
平成30年度調査と比較すると、「利用している」の割合が増加しています。一方、「利用していない」の割合が減少しています。



問 21-1 問 21-1～問 21-4は、問 21で「1. 利用している」に○をつけた方がいます。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「認可保育所」の割合が53.5%と最も高く、次いで「認定こども園」の割合が32.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「幼稚園」の割合が減少しています。



※前回調査では、「幼稚園の預かり保育」の選択肢は「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）」、「認可保育所」の選択肢は「保育所」、「事業所内保育施設」の選択肢は「事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）」、「ファミリー・サポート・センター」の選択肢は「ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）」となっていました。

※前回調査では、「小規模な保育施設」「自治体の認証・認定保育施設」「居宅訪問型保育」の選択肢はありませんでした。

### 【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、5歳で「認可保育所」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	育 幼稚園の預かり保	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	事業所内保育施設	自治体の認証・認定 保育施設	その他の認可外の 保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポ ー・センター	その他	無回答
全 体	385	5.7	1.8	53.5	32.2	4.2	0.8	1.3	0.8	—	0.3	2.6	0.5
0歳	8	25.0	12.5	12.5	37.5	25.0	—	—	12.5	—	—	—	—
1歳	31	—	—	48.4	32.3	16.1	—	—	3.2	—	—	—	—
2歳	54	—	—	50.0	25.9	14.8	3.7	3.7	—	—	—	1.9	—
3歳	80	10.0	1.3	51.3	33.8	—	—	1.3	—	—	—	3.8	1.3
4歳	96	7.3	2.1	55.2	34.4	1.0	—	1.0	—	—	—	2.1	—
5歳	108	3.7	2.8	61.1	31.5	—	0.9	0.9	0.9	—	0.9	3.7	—

### 【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、日曜日に就労しているで「認定こども園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	育 幼稚園の預かり保	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	事業所内保育施設	自治体の認証・認定 保育施設	その他の認可外の 保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポ ー・センター	その他	無回答
全 体	314	4.5	1.9	55.4	31.5	5.1	1.0	1.6	1.0	—	0.3	1.6	0.3
休み	155	4.5	1.3	54.8	28.4	5.8	0.6	2.6	1.3	—	—	1.3	0.6
土曜日に就 労している	109	4.6	3.7	51.4	37.6	5.5	1.8	—	0.9	—	—	1.8	—
日曜日に就 労している	60	6.7	3.3	50.0	38.3	5.0	—	—	—	—	—	1.7	—
祝日に就労 している	62	1.6	1.6	61.3	32.3	4.8	—	—	—	—	—	1.6	—
その他	33	—	—	63.6	30.3	6.1	3.0	3.0	—	—	3.0	3.0	—

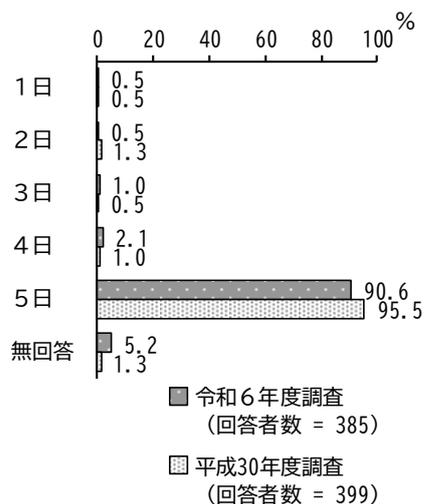
問 21-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。時間は、必ず「(例)08時～18時」のように24時間制でご記入ください。

①現在

1週当たり利用日数

「5日」の割合が90.6%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

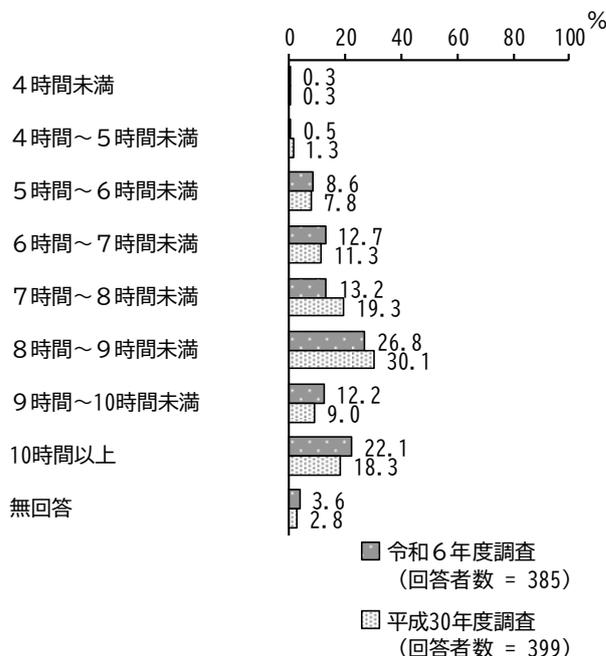


1日当たり利用時間

「8時間～9時間未満」の割合が26.8%と最も高く、次いで「10時間以上」の割合が22.1%、

「7時間～8時間未満」の割合が13.2%となっています。

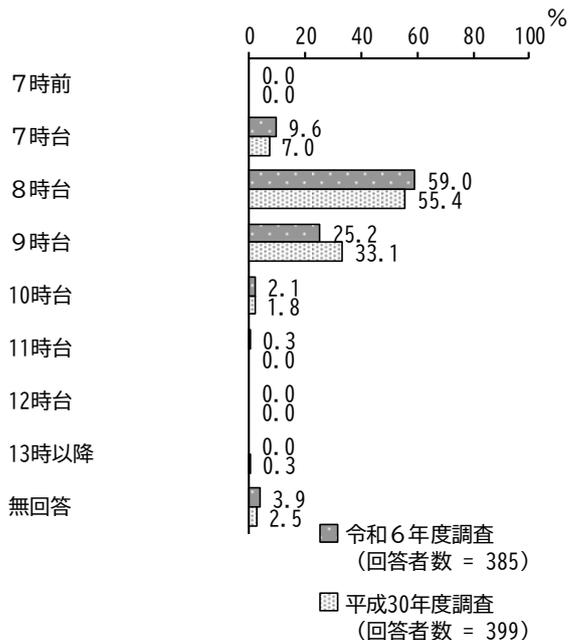
平成30年度調査と比較すると、「7時間～8時間未満」の割合が減少しています。



### 利用開始時刻

「8時台」の割合が59.0%と最も高く、次いで「9時台」の割合が25.2%となっています。

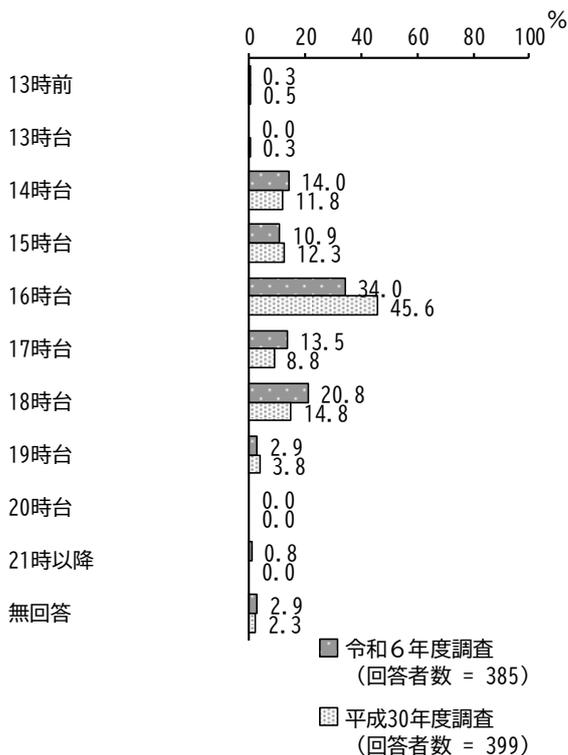
平成30年度調査と比較すると、「9時台」の割合が減少しています。



### 利用終了時刻

「16時台」の割合が34.0%と最も高く、次いで「18時台」の割合が20.8%、「14時台」の割合が14.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「18時台」の割合が増加しています。一方、「16時台」の割合が減少しています。

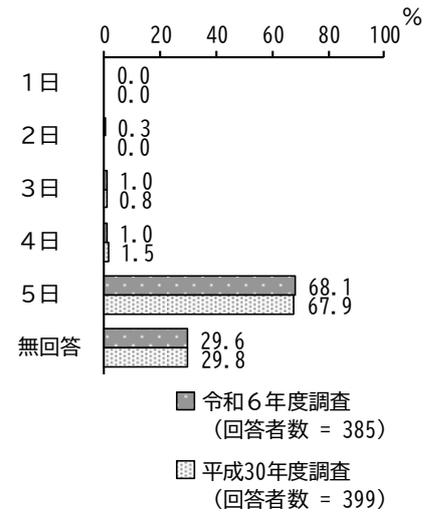


## ②希望

### 1週当たり利用日数

「5日」の割合が68.1%と最も高くなっています。

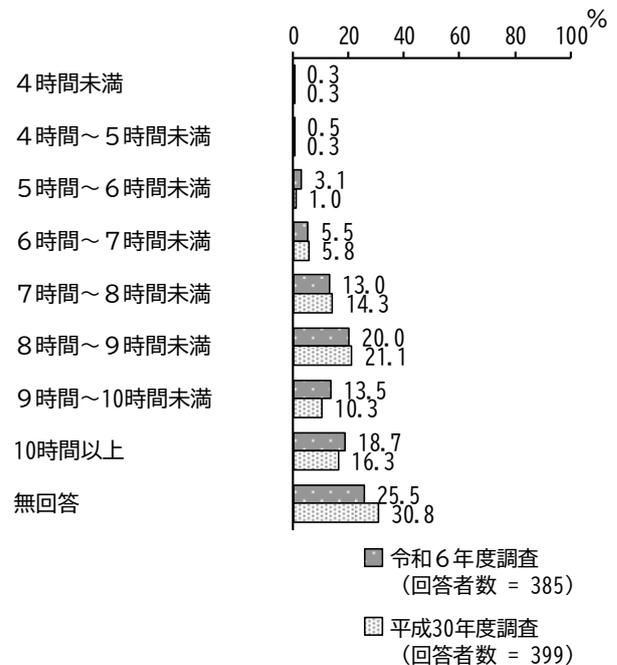
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 1日当たり利用時間

「8時間～9時間未満」の割合が20.0%と最も高く、次いで「10時間以上」の割合が18.7%、「9時間～10時間未満」の割合が13.5%となっています。

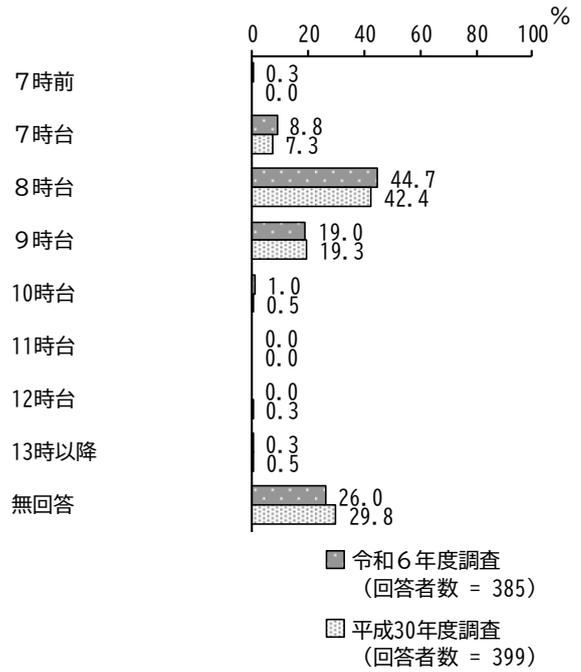
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 利用開始時刻

「8時台」の割合が44.7%と最も高く、次いで「9時台」の割合が19.0%となっています。

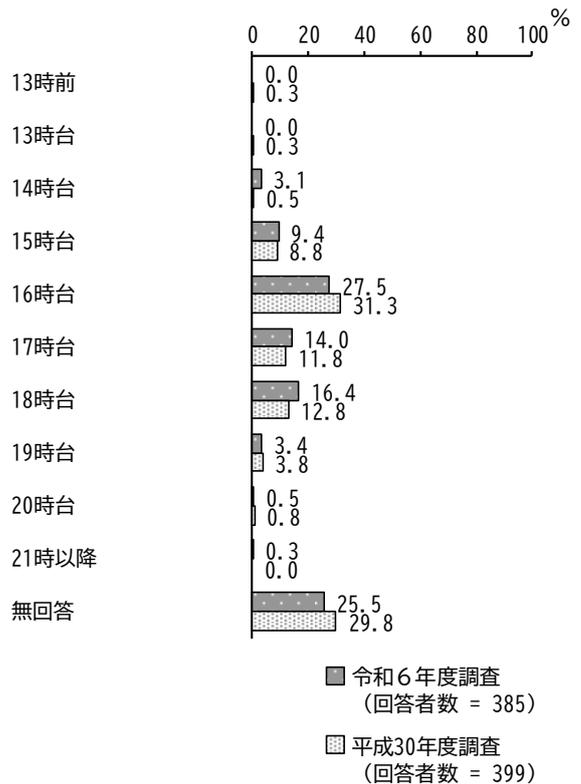
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 利用終了時刻

「16時台」の割合が27.5%と最も高く、次いで「18時台」の割合が16.4%、「17時台」の割合が14.0%となっています。

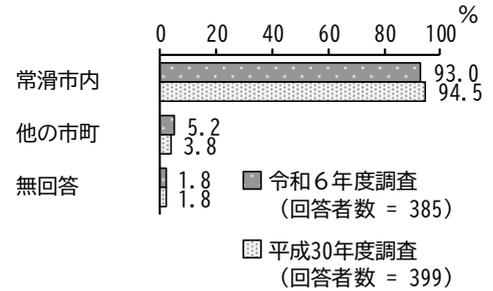
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 21-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。他の市町村の場合は、その市町名を（ ）内にご記入ください。

「常滑市内」の割合が93.0%、「他の市町」の割合が5.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

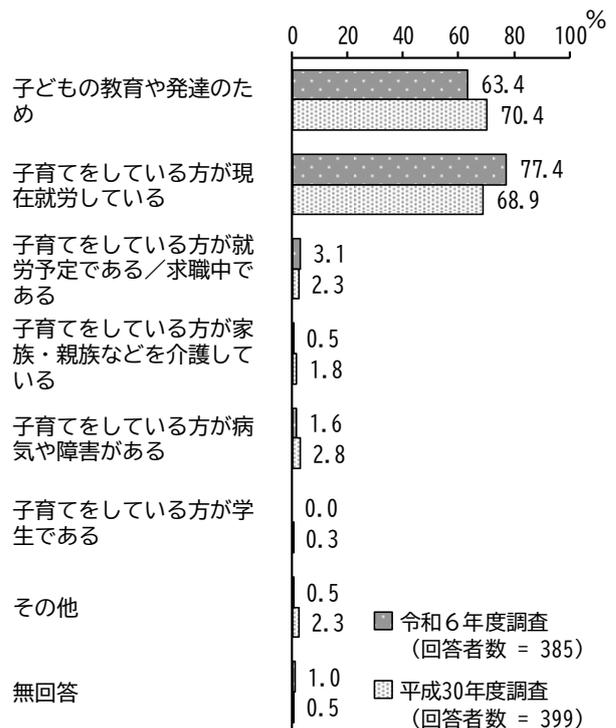


※前回調査では、「他の市町」の選択肢は「他の市町村」となっていました。

問 21-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子育てをしている方が現在就労している」の割合が77.4%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」の割合が63.4%となっています。

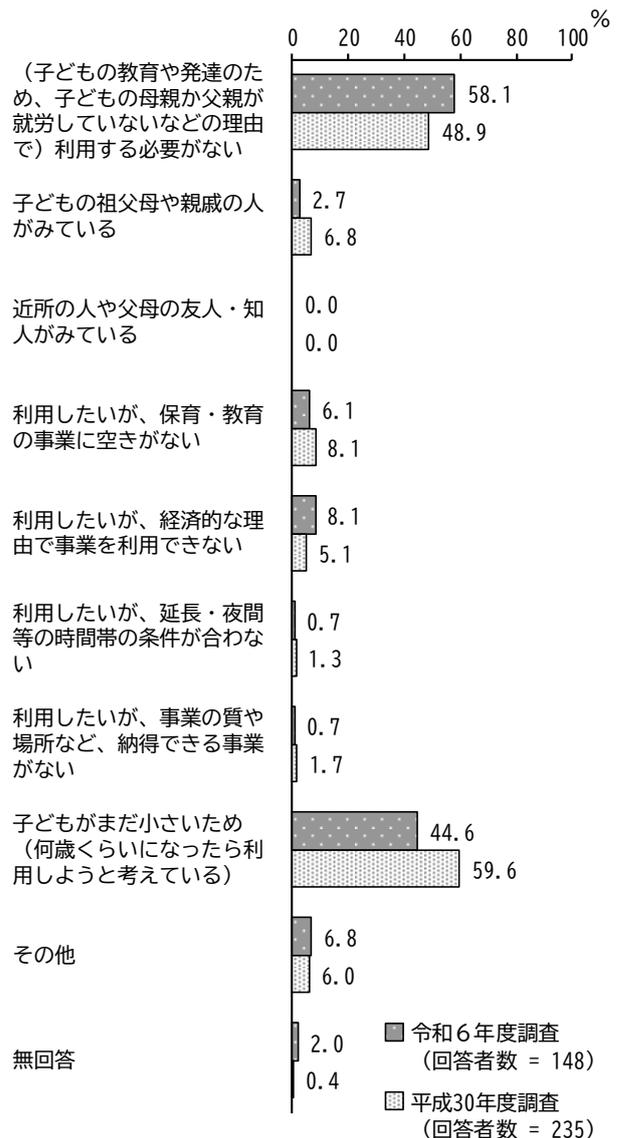
平成30年度調査と比較すると、「子育てをしている方が現在就労している」の割合が増加しています。一方、「子どもの教育や発達のため」の割合が減少しています。



問 21-5 問 21 で「2. 利用していない」に○をつけた方にかがいます。利用していない理由は何ですか。理由として、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」の割合が 58.1%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため(何歳くらいになったら利用しようと考えている)」の割合が 44.6%となっています。

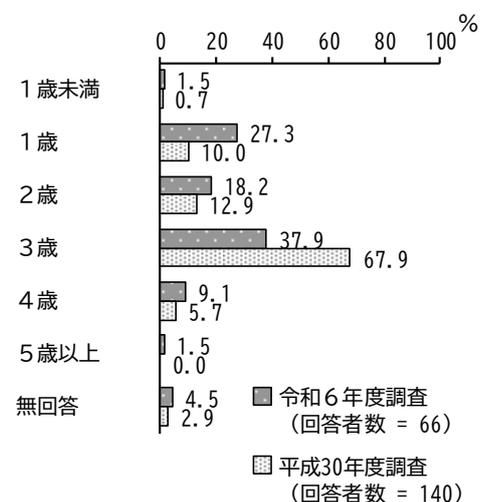
平成 30 年度調査と比較すると、「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」の割合が増加しています。一方、「子どもがまだ小さいため(何歳くらいになったら利用しようと考えている)」の割合が減少しています。



### 利用開始したい子どもの年齢

「3歳」の割合が 37.9%と最も高く、次いで「1歳」の割合が 27.3%、「2歳」の割合が 18.2%となっています。

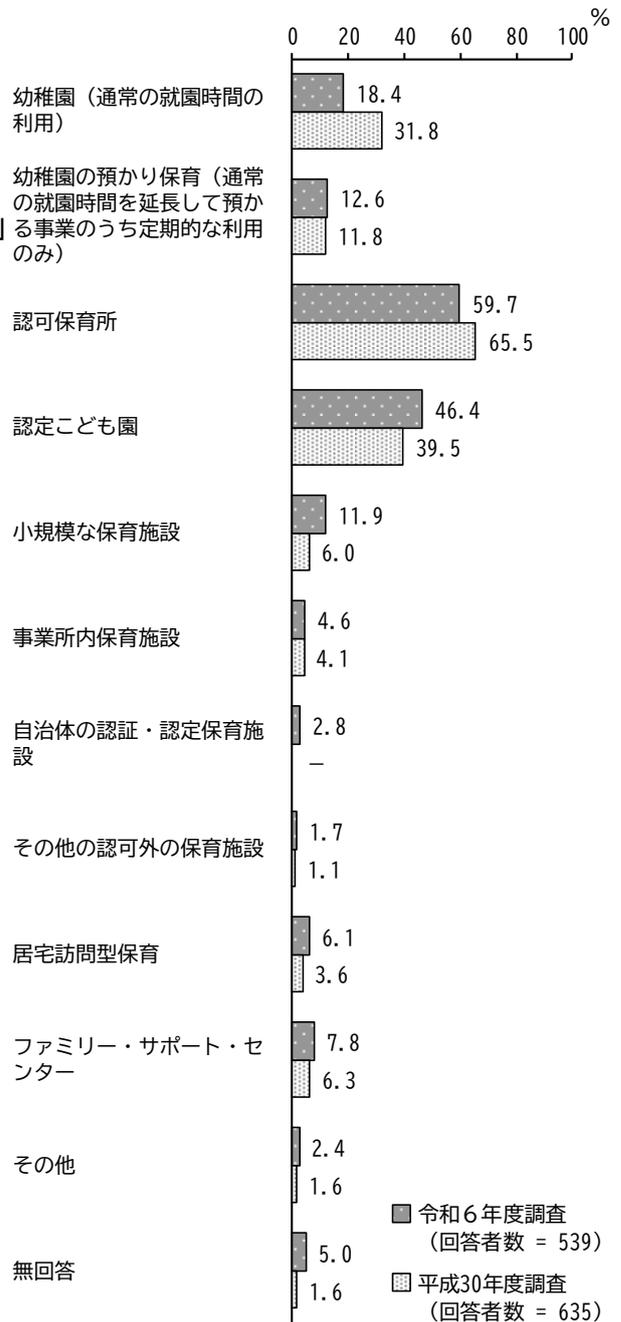
平成 30 年度調査と比較すると、「1歳」「2歳」の割合が増加しています。一方、「3歳」の割合が減少しています。



問 22 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた保育料が設定されています。

「認可保育所」の割合が 59.7%と最も高く、次いで「認定こども園」の割合が 46.4%、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が 18.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「認定こども園」「小規模な保育施設」の割合が増加しています。一方、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」「認可保育所」の割合が減少しています。



※前回調査では、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の選択肢は「幼稚園」、「認可保育所」の選択肢は「保育所」、「小規模な保育施設」の選択肢は「小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの）」、「事業所内保育施設」の選択肢は「事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）」、「居宅訪問型保育」の選択肢は「居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）」、「ファミリー・サポート・センター」の選択肢は「ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）」となっていました。

※前回調査では、「自治体の認証・認定保育施設」の選択肢はありませんでした。

### 【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、1歳で「認定こども園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園(通常の就園時間の利用)	幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全体	539	18.4	12.6	59.7	46.4	11.9	4.6	2.8	1.7	6.1	7.8	2.4	5.0
0歳	78	25.6	20.5	66.7	48.7	24.4	9.0	2.6	2.6	1.3	6.4	2.6	7.7
1歳	68	25.0	16.2	63.2	64.7	20.6	10.3	4.4	2.9	8.8	5.9	1.5	4.4
2歳	98	19.4	12.2	54.1	44.9	15.3	—	3.1	1.0	6.1	9.2	3.1	7.1
3歳	80	15.0	10.0	57.5	45.0	7.5	3.8	3.8	—	10.0	10.0	1.3	3.8
4歳	96	14.6	8.3	58.3	40.6	5.2	4.2	—	2.1	5.2	8.3	1.0	3.1
5歳	109	13.8	11.0	63.3	42.2	4.6	2.8	3.7	1.8	6.4	7.3	3.7	2.8

### 【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、日曜日に就労しているで「認定こども園」の割合が高くなっています。

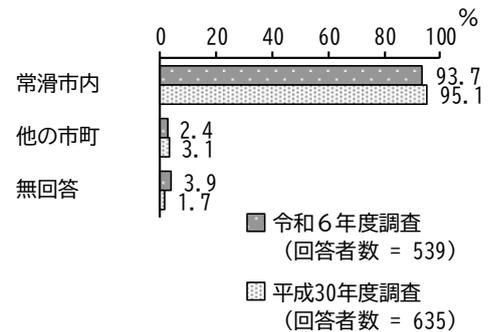
単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園(通常の就園時間の利用)	幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全体	388	13.1	11.6	63.1	45.4	12.9	2.8	3.4	2.3	6.2	7.7	1.3	4.6
休み	186	12.9	11.3	64.5	44.6	11.8	2.7	3.8	2.2	5.4	5.9	1.6	4.8
土曜日に就労している	136	13.2	12.5	62.5	47.8	15.4	3.7	2.9	2.2	7.4	12.5	0.7	3.7
日曜日に就労している	69	18.8	15.9	49.3	53.6	17.4	1.4	4.3	2.9	10.1	17.4	—	1.4
祝日に就労している	79	7.6	7.6	64.6	43.0	13.9	2.5	1.3	1.3	5.1	10.1	1.3	5.1
その他	39	10.3	10.3	69.2	56.4	12.8	—	5.1	5.1	10.3	7.7	2.6	—

問 22-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。他の市町の場合は、その市町名を（ ）内にご記入ください。

「常滑市内」の割合が93.7%、「他の市町」の割合が2.4%となっています。

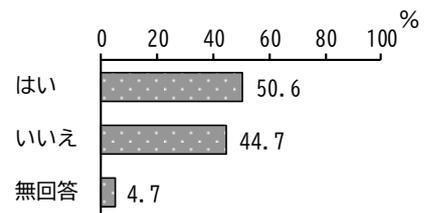
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※前回調査では、「他の市町」の選択肢は「他の市町村」となっていました。

問 22-2 問 22 で「1. 幼稚園（通常就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～11にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「はい」の割合が50.6%、「いいえ」の割合が44.7%となっています。 回答者数 = 85

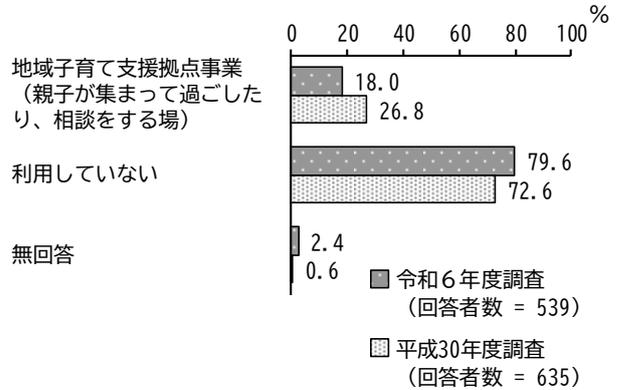


## (6) お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 23 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」の割合が18.0%、「利用していない」の割合が79.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が増加しています。一方、「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」の割合が減少しています。



### 【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、0～2歳で「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」の割合が高くなっています。

単位：％

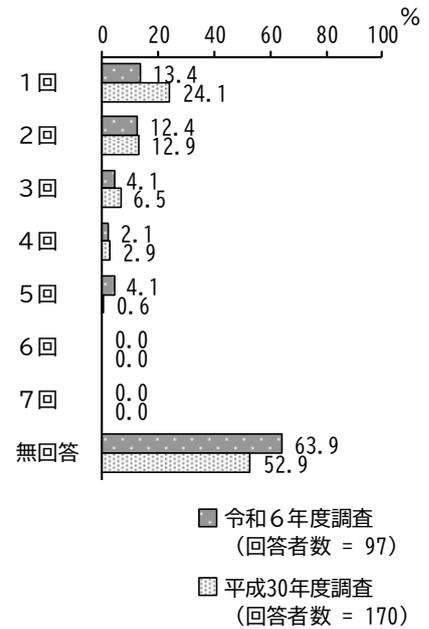
区分	回答者数 (件)	地域子育て支援拠点事業 (親子が集まって過ごしたり、相談をする場)	利用していない	無回答
全 体	539	18.0	79.6	2.4
0歳	78	37.2	59.0	3.8
1歳	68	36.8	61.8	1.5
2歳	98	35.7	62.2	2.0
3歳	80	3.8	92.5	3.8
4歳	96	3.1	92.7	4.2
5歳	109	1.8	98.2	—

## 1. 地域子育て支援拠点事業

### 1週当たりでの利用回数

「1回」の割合が13.4%と最も高く、次いで「2回」の割合が12.4%となっています。

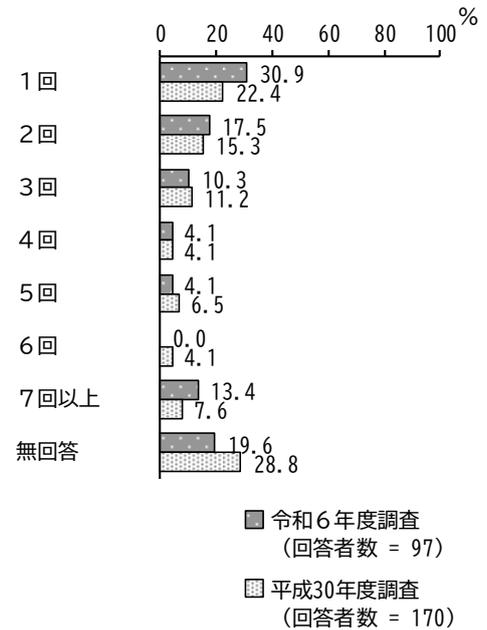
平成30年度調査と比較すると、「1回」の割合が減少しています。



### 1か月当たりでの利用回数

「1回」の割合が30.9%と最も高く、次いで「2回」の割合が17.5%、「7回以上」の割合が13.4%となっています。

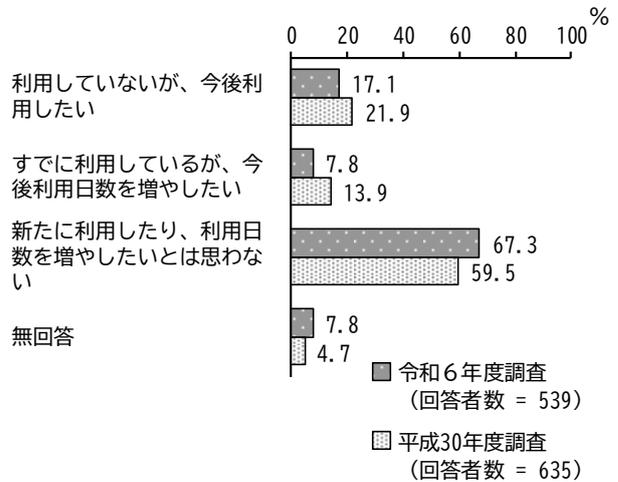
平成30年度調査と比較すると、「1回」「7回以上」の割合が増加しています。



問 24 問 23 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が 67.3%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が 17.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が増加しています。一方、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、0歳で「利用していないが、今後利用したい」の割合が高くなっています。

単位：%

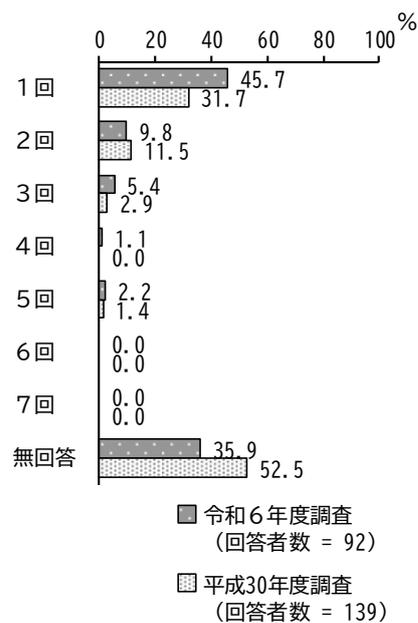
区分	回答者数 (件)	利用していないが、今後利用したい	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	無回答
全 体	539	17.1	7.8	67.3	7.8
0 歳	78	42.3	21.8	29.5	6.4
1 歳	68	23.5	22.1	51.5	2.9
2 歳	98	14.3	9.2	64.3	12.2
3 歳	80	13.8	—	80.0	6.3
4 歳	96	9.4	1.0	80.2	9.4
5 歳	109	5.5	—	87.2	7.3

## 1. 利用していないが、今後利用したい

### 1週当たりでの利用回数

「1回」の割合が45.7%と最も高くなっています。

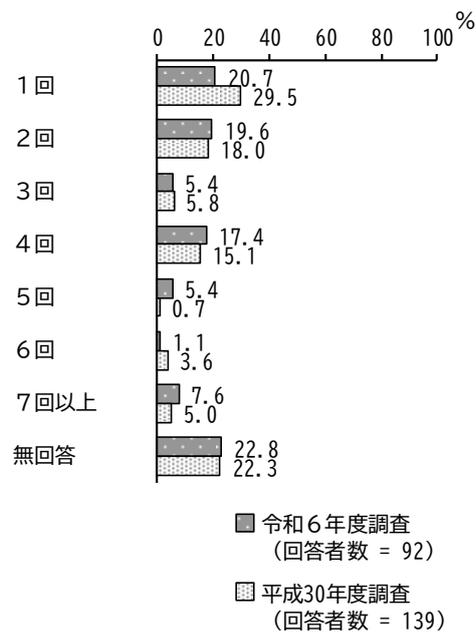
平成30年度調査と比較すると、「1回」の割合が増加しています。



### 1か月当たりでの利用回数

「1回」の割合が20.7%と最も高く、次いで「2回」の割合が19.6%、「4回」の割合が17.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1回」の割合が減少しています。

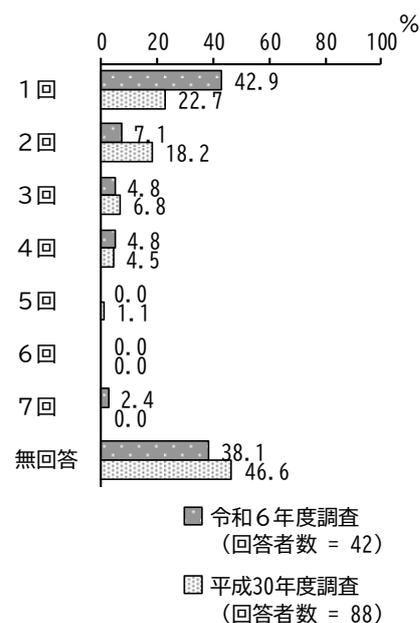


## 2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

### 1週当たりでの増やしたい利用回数

「1回」の割合が42.9%と最も高くなっています。

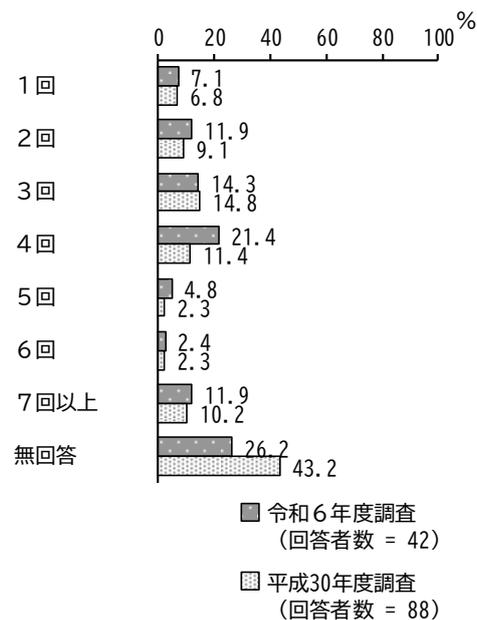
平成30年度調査と比較すると、「1回」の割合が増加しています。一方、「2回」の割合が減少しています。



### 1か月当たりでの増やしたい利用回数

「4回」の割合が21.4%と最も高く、次いで「3回」の割合が14.3%、「2回」、「7回以上」の割合が11.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4回」の割合が増加しています。

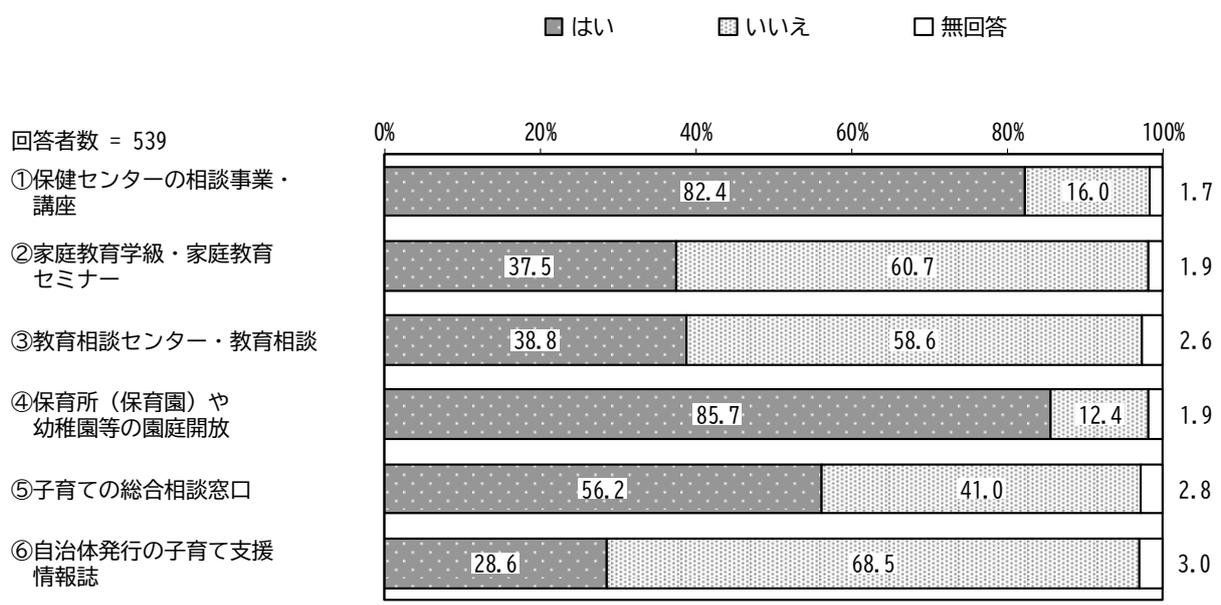


問 25 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑥の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

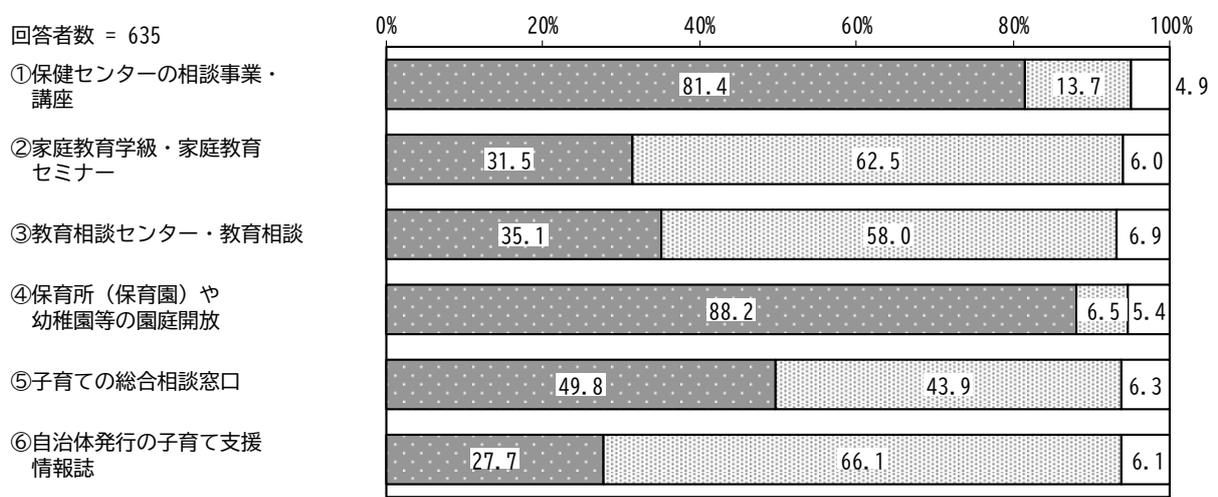
**A 知っている**

『①保健センターの相談事業・講座』、『④保育所（保育園）や幼稚園等の園庭開放』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『⑥自治体発行の子育て支援情報誌』で「いいえ」の割合が高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、『②家庭教育学級・家庭教育セミナー』『⑤子育ての総合相談窓口』で「はい」の割合が増加しています。



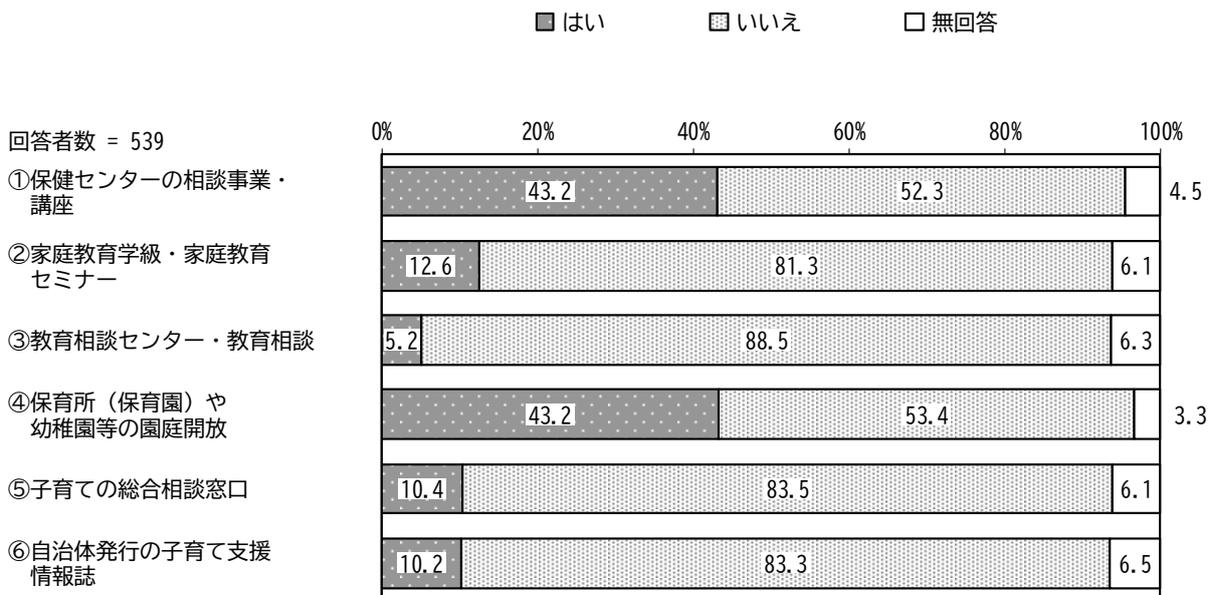
**【平成 30 年度調査】**



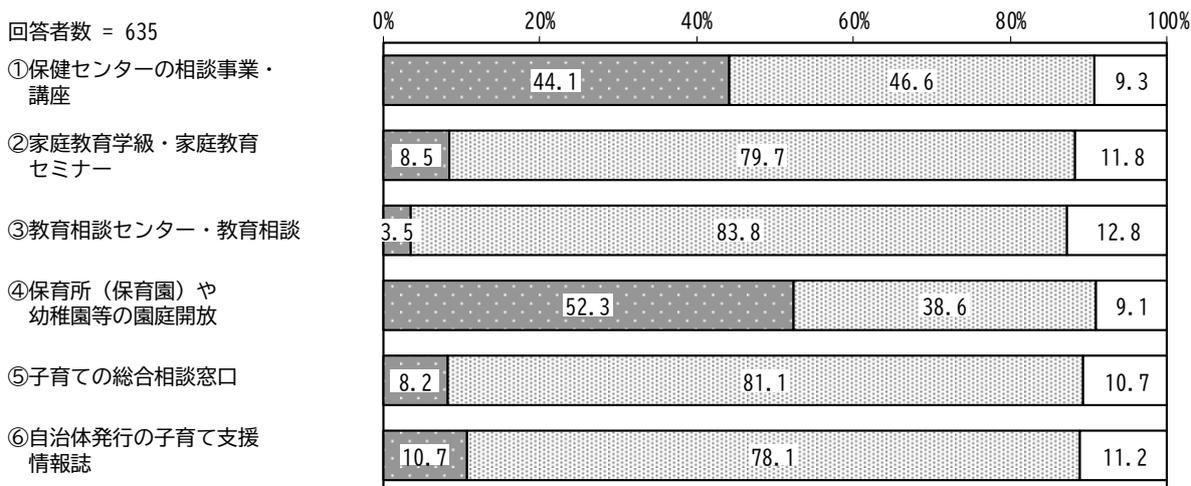
## B これまでに利用したことがある

『①保健センターの相談事業・講座』、『④保育所（保育園）や幼稚園等の園庭開放』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『③教育相談センター・教育相談』で「いいえ」の割合が高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、『④保育所（保育園）や幼稚園等の園庭開放』で「はい」の割合が減少しています。また、『⑥自治体発行の子育て支援情報誌』で「いいえ」の割合が増加しています。



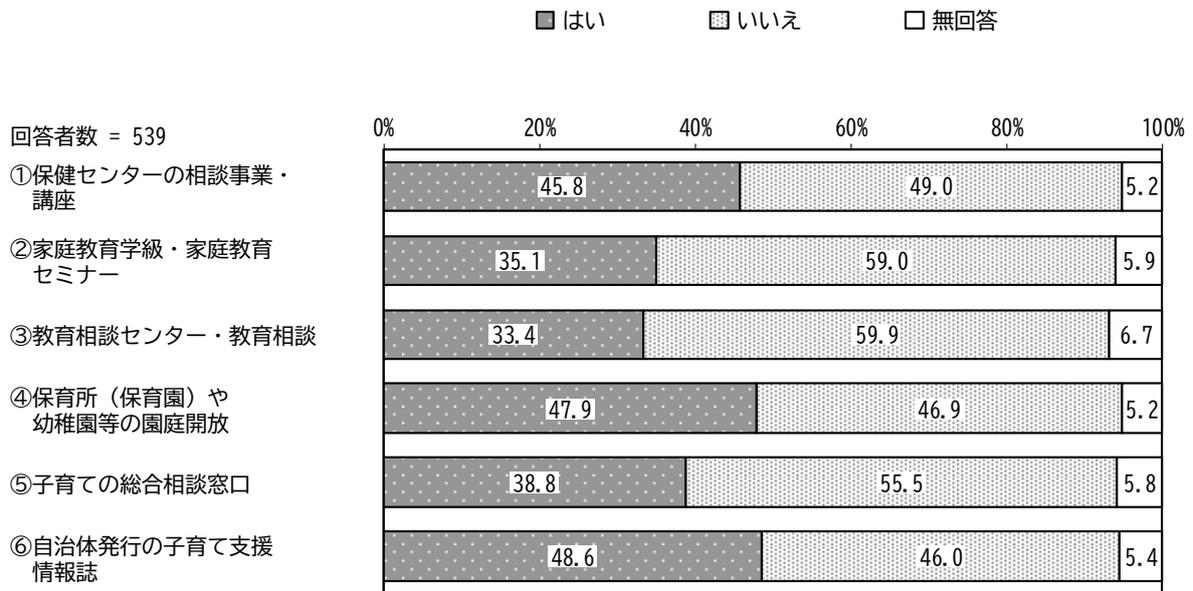
## 【平成 30 年度調査】



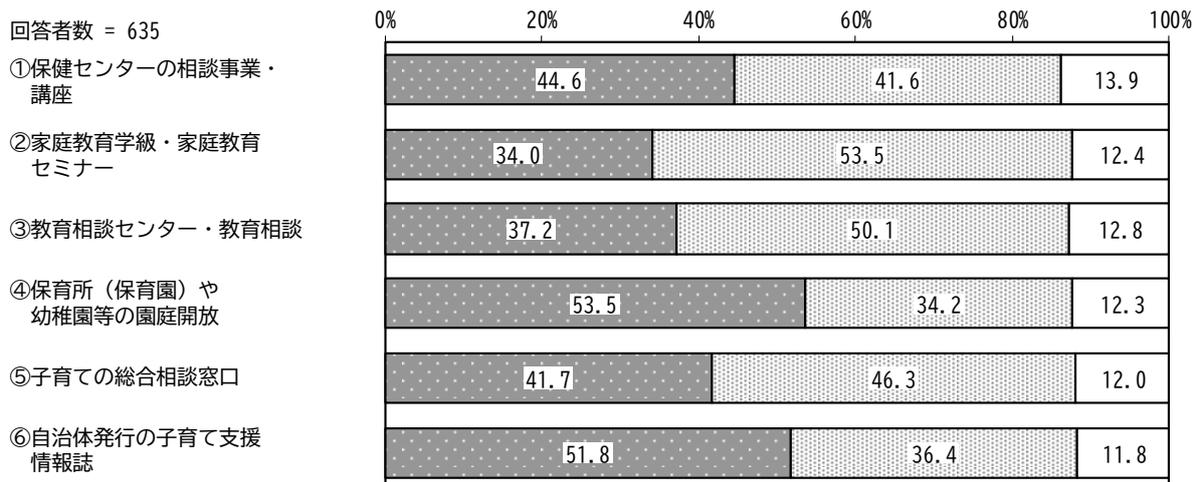
### C 今後利用したい

『②家庭教育学級・家庭教育セミナー』、『③教育相談センター・教育相談』で「いいえ」の割合が高くなっています。一方、『④保育所（保育園）や幼稚園等の園庭開放』、『⑥自治体発行の子育て支援情報誌』で「はい」の割合が高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、全ての項目で「いいえ」の割合が増加しています。



### 【平成 30 年度調査】



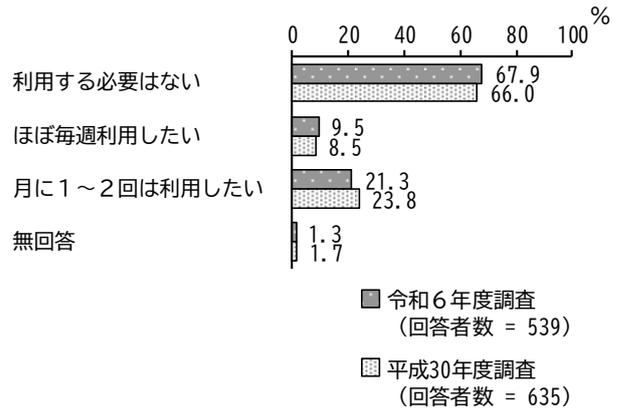
## (7) お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 26 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、「(例)08時～18時」のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。  
 ※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所（保育園）、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

### (1) 土曜日

「利用する必要はない」の割合が67.9%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が21.3%となっています。

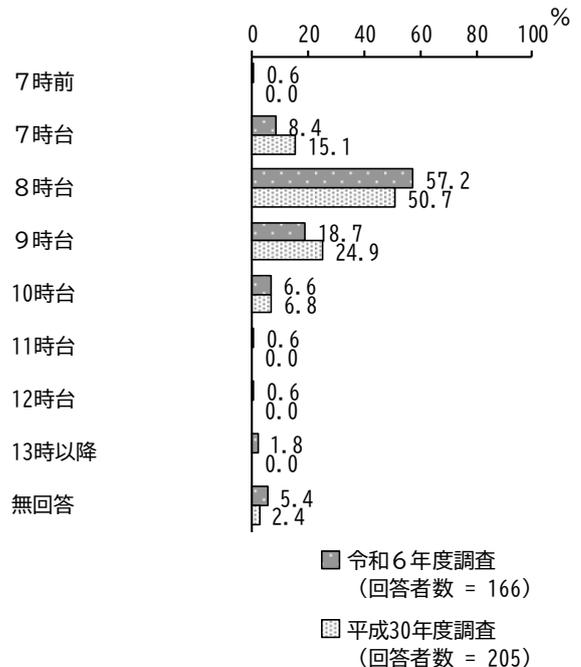
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 利用開始時刻

「8時台」の割合が57.2%と最も高く、次いで「9時台」の割合が18.7%となっています。

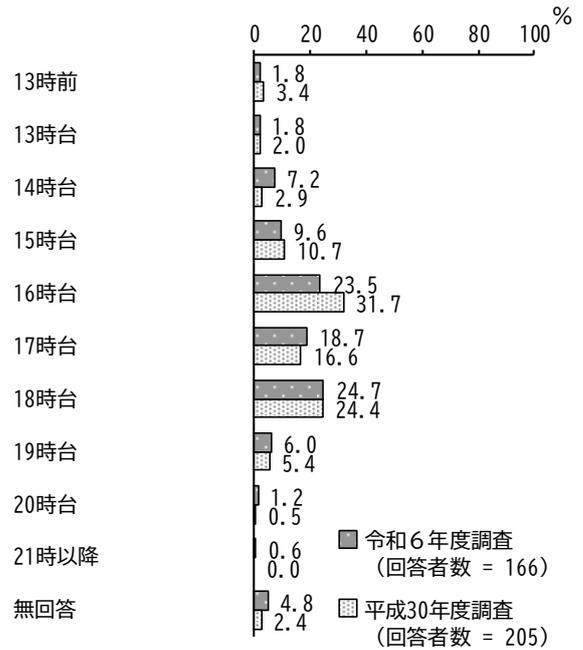
平成30年度調査と比較すると、「8時台」の割合が増加しています。一方、「7時台」「9時台」の割合が減少しています。



## 利用終了時刻

「18 時台」の割合が 24.7%と最も高く、次いで「16 時台」の割合が 23.5%、「17 時台」の割合が 18.7%となっています。

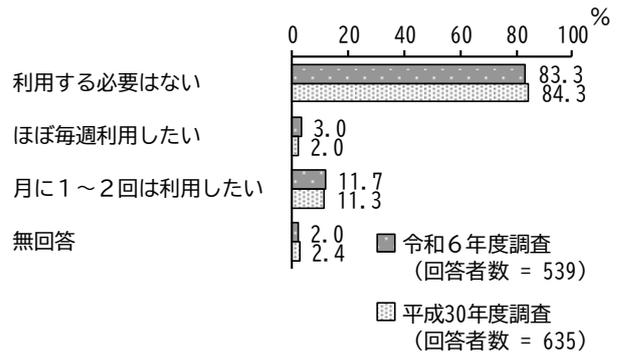
平成 30 年度調査と比較すると、「16 時台」の割合が減少しています。



## (2) 日曜日

「利用する必要はない」の割合が 83.3%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が 11.7%となっています。

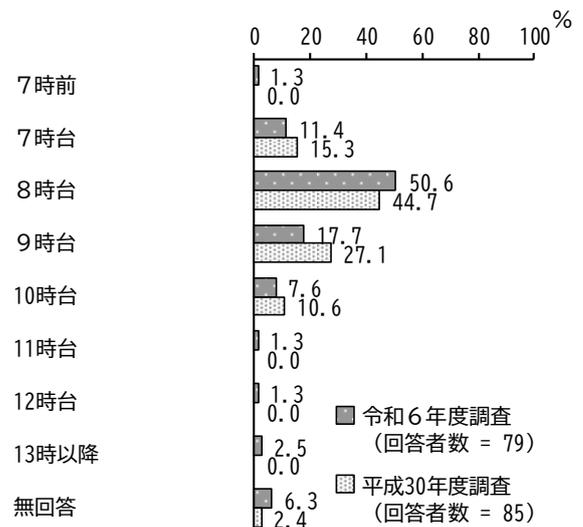
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



## 利用開始時刻

「8 時台」の割合が 50.6%と最も高く、次いで「9 時台」の割合が 17.7%、「7 時台」の割合が 11.4%となっています。

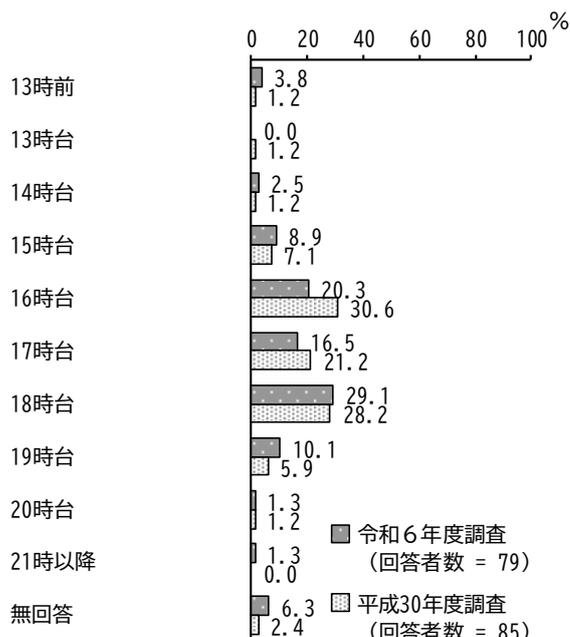
平成 30 年度調査と比較すると、「8 時台」の割合が増加しています。一方、「9 時台」の割合が減少しています。



### 利用終了時刻

「18 時台」の割合が 29.1%と最も高く、次いで「16 時台」の割合が 20.3%、「17 時台」の割合が 16.5%となっています。

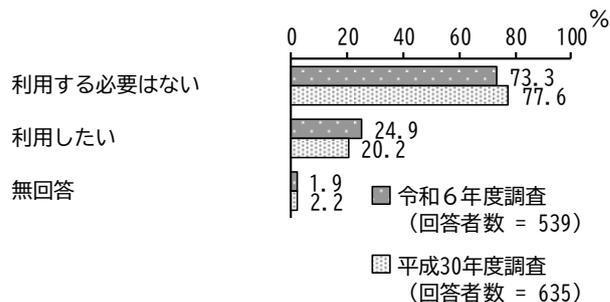
平成 30 年度調査と比較すると、「16 時台」の割合が減少しています。



### (3) 祝日

「利用する必要はない」の割合が 73.3%、「利用したい」の割合が 24.9%となっています。

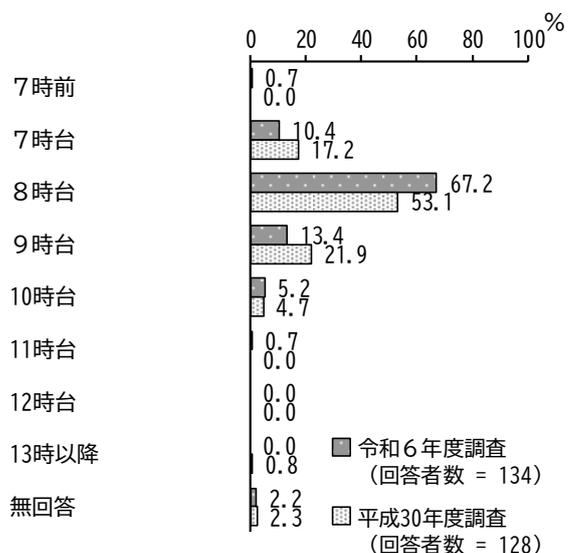
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 利用開始時刻

「8 時台」の割合が 67.2%と最も高く、次いで「9 時台」の割合が 13.4%、「7 時台」の割合が 10.4%となっています。

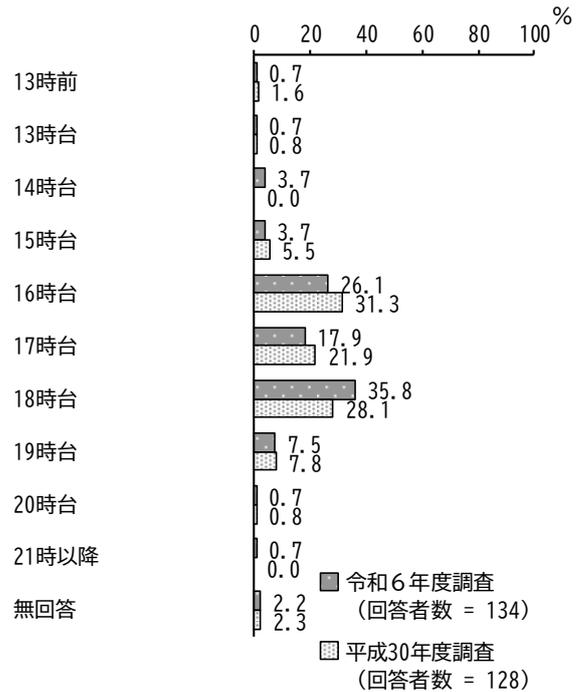
平成 30 年度調査と比較すると、「8 時台」の割合が増加しています。一方、「7 時台」「9 時台」の割合が減少しています。



## 利用終了時刻

「18 時台」の割合が 35.8%と最も高く、次いで「16 時台」の割合が 26.1%、「17 時台」の割合が 17.9%となっています。

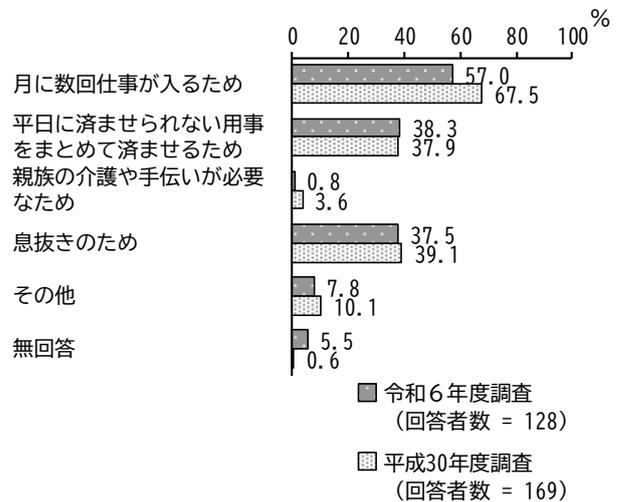
平成 30 年度調査と比較すると、「18 時台」の割合が増加しています。一方、「16 時台」の割合が減少しています。



問 26-1 問 26 (1) もしくは問 26 (2) で、「3. 月に1~2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「月に数回仕事が入るため」の割合が 57.0%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が 38.3%、「息抜きのため」の割合が 37.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「月に数回仕事が入るため」の割合が減少しています。



問 27 「1号認定児（幼稚園・保育園・こども園の幼稚園部）」を利用されている方に  
うかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の  
教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を  
「(例)08時～18時」のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。な  
お、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合  
が16.8%と最も高く、次いで「休みの期間中、週  
に数日利用したい」の割合が15.7%、「利用する  
必要はない」の割合が13.5%となっています。

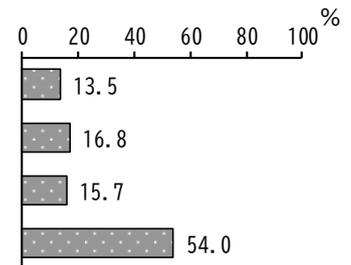
回答者数 = 274

利用する必要はない

休みの期間中、ほぼ毎日利  
用したい

休みの期間中、週に数日利  
用したい

無回答



#### 利用開始時刻

「8時台」の割合が56.2%と最も高く、次いで  
「9時台」の割合が33.7%となっています。

回答者数 = 89

7時前

7時台

8時台

9時台

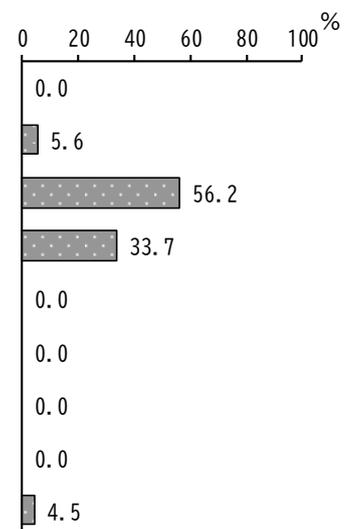
10時台

11時台

12時台

13時以降

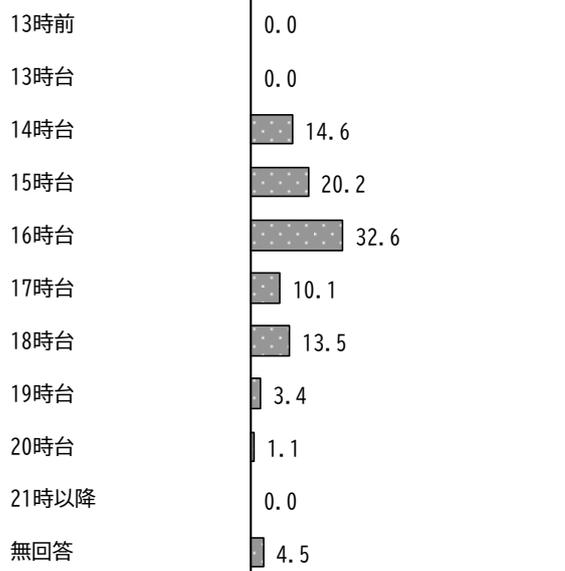
無回答



## 利用終了時刻

「16 時台」の割合が 32.6%と最も高く、次いで「15 時台」の割合が 20.2%、「14 時台」の割合が 14.6%となっています。

回答者数 = 89

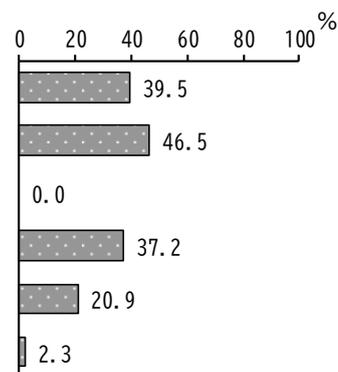


問 27-1 問 27 で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方いらっしゃいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「買い物等の用事をまとめて済ませるため」の割合が 46.5%と最も高く、次いで「週に数回仕事が入るため」の割合が 39.5%、「息抜きのため」の割合が 37.2%となっています。

回答者数 = 43

週に数回仕事が入るため  
 買い物等の用事をまとめて済ませるため  
 親等親族の介護や手伝いが必要なため  
 息抜きのため  
 その他  
 無回答

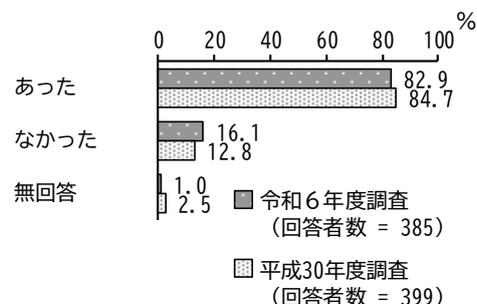


## (8) お子さんの病気の際の対応について (平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 28 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 21 で「1. 利用している」に○をつけた方）にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問 29 にお進みください。この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「あった」の割合が82.9%、「なかった」の割合が16.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、3歳で「なかった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	あった	なかった	無回答
全 体	385	82.9	16.1	1.0
0 歳	8	62.5	37.5	—
1 歳	31	74.2	22.6	3.2
2 歳	54	92.6	7.4	—
3 歳	80	68.8	30.0	1.3
4 歳	96	86.5	11.5	2.1
5 歳	108	88.9	11.1	—

### 【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、日曜日に就労しているで「なかった」の割合が高くなっています。

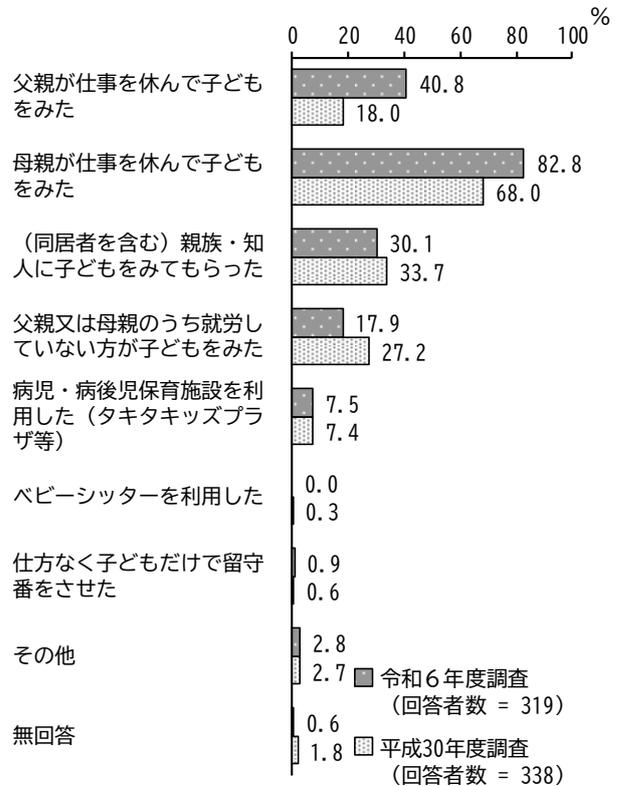
単位：%

区分	回答者数 (件)	あった	なかった	無回答
全 体	314	88.5	10.8	0.6
休み	155	89.7	9.7	0.6
土曜日に就労している	109	89.0	10.1	0.9
日曜日に就労している	60	81.7	16.7	1.7
祝日に就労している	62	83.9	14.5	1.6
その他	33	90.9	9.1	—

問 28-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください  
(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字)。

「母親が仕事を休んで子どもをみた」の割合が82.8%と最も高く、次いで「父親が仕事を休んで子どもをみた」の割合が40.8%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が30.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父親が仕事を休んで子どもをみた」「母親が仕事を休んで子どもをみた」の割合が増加しています。一方、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が減少しています。



※前回調査では、「父親が仕事を休んで子どもをみた」の選択肢は「父親が休んだ」、「母親が仕事を休んで子どもをみた」の選択肢は「母親が休んだ」となっていました。

### 【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、1歳、2歳で「母親が仕事を休んで子どもをみた」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	父親が仕事を休んで子どもをみた	母親が仕事を休んで子どもをみた	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児保育施設を利用した(タキタキッズプラザ等)	ベビーシッターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体	319	40.8	82.8	30.1	17.9	7.5	—	0.9	2.8	0.6
0歳	5	20.0	60.0	—	20.0	40.0	—	—	—	—
1歳	23	39.1	95.7	13.0	8.7	13.0	—	—	4.3	—
2歳	50	46.0	92.0	28.0	10.0	12.0	—	2.0	—	—
3歳	55	50.9	85.5	38.2	16.4	5.5	—	1.8	3.6	—
4歳	83	42.2	80.7	27.7	18.1	2.4	—	1.2	3.6	1.2
5歳	96	32.3	76.0	34.4	26.0	8.3	—	—	2.1	—

## 【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、祝日に就労しているで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が高くなっています。

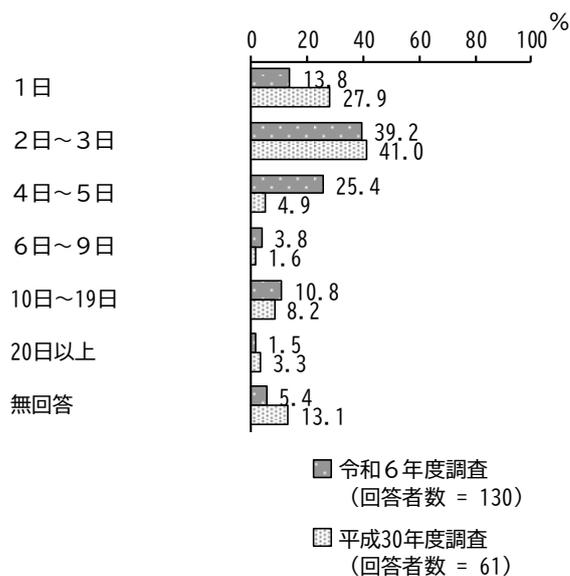
単位：％

区分	回答者数(件)	父親が仕事を休んで子どもをみた	母親が仕事を休んで子どもをみた	族・知人に子どもをみてもらった (同居者を含む)親	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児保育施設を利用した(タキタキッズプラザ等)	ベビーシッターを利用した	仕方なく子どもだけ留守番をさせた	その他	無回答
全体	278	43.9	92.1	33.1	8.3	8.3	—	1.1	2.5	0.7
休み	139	42.4	92.8	29.5	11.5	3.6	—	2.2	2.2	0.7
土曜日に就労している	97	44.3	92.8	34.0	5.2	14.4	—	—	2.1	1.0
日曜日に就労している	49	42.9	91.8	34.7	4.1	16.3	—	—	—	2.0
祝日に就労している	52	40.4	84.6	40.4	5.8	13.5	—	—	1.9	1.9
その他	30	50.0	96.7	50.0	3.3	16.7	—	—	3.3	—

### ア. 父親が仕事を休んで子どもをみた日数

「2日～3日」の割合が39.2%と最も高く、次いで「4日～5日」の割合が25.4%、「1日」の割合が13.8%となっています。

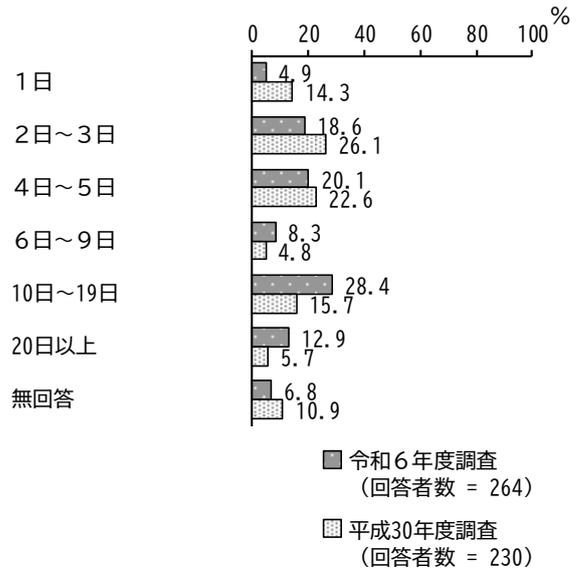
平成30年度調査と比較すると、「4日～5日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



### イ. 母親が仕事を休んで子どもをみた日数

「10日～19日」の割合が28.4%と最も高く、次いで「4日～5日」の割合が20.1%、「2日～3日」の割合が18.6%となっています。

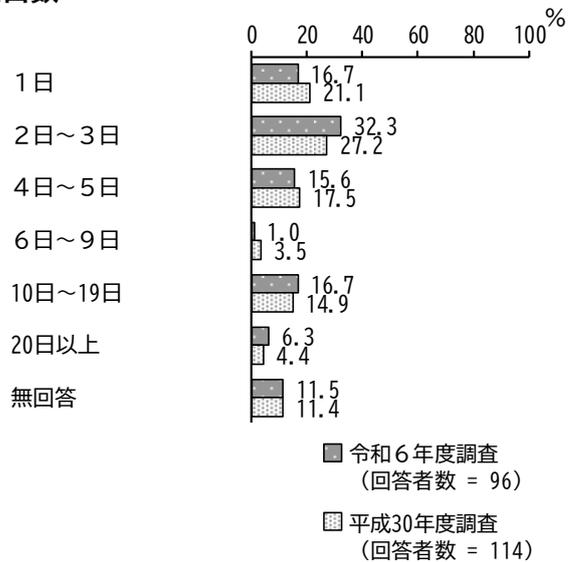
平成30年度調査と比較すると、「10日～19日」「20日以上」の割合が増加しています。一方、「1日」「2日～3日」の割合が減少しています。



### ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった日数

「2日～3日」の割合が32.3%と最も高く、次いで「1日」「10日～19日」の割合が16.7%となっています。

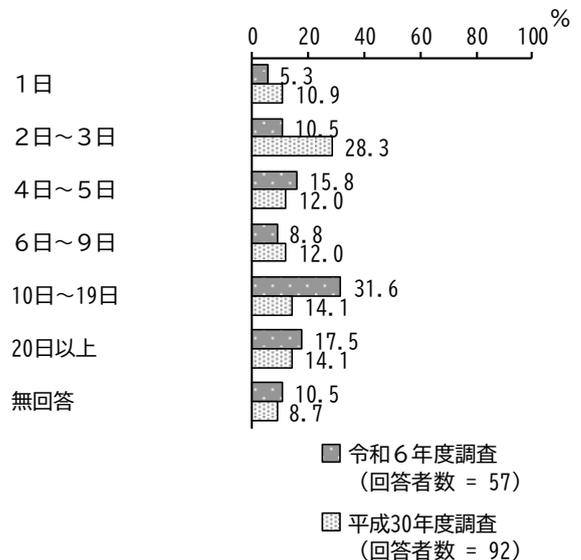
平成30年度調査と比較すると、「2日～3日」の割合が増加しています。



### エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた日数

「10日～19日」の割合が31.6%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が17.5%、「4日～5日」の割合が15.8%となっています。

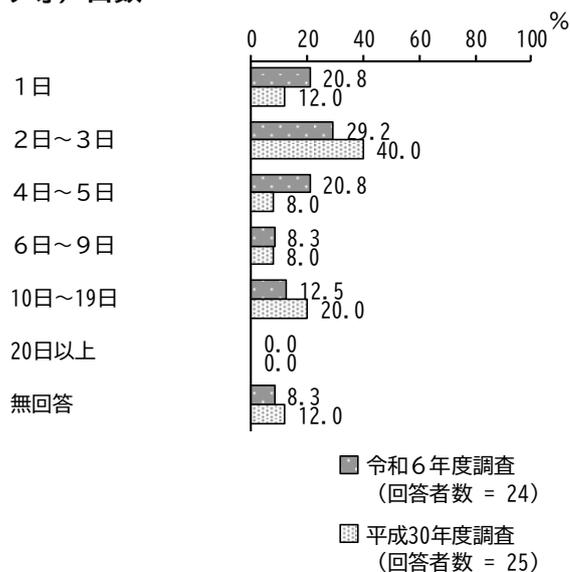
平成30年度調査と比較すると、「10日～19日」の割合が増加しています。一方、「1日」「2日～3日」の割合が減少しています。



### オ. 病児・病後児保育施設を利用した（タキタキッズプラザ等）日数

「2日～3日」の割合が29.2%と最も高く、次いで「1日」、「4日～5日」の割合が20.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」「4日～5日」の割合が増加しています。一方、「2日～3日」「10日～19日」の割合が減少しています。

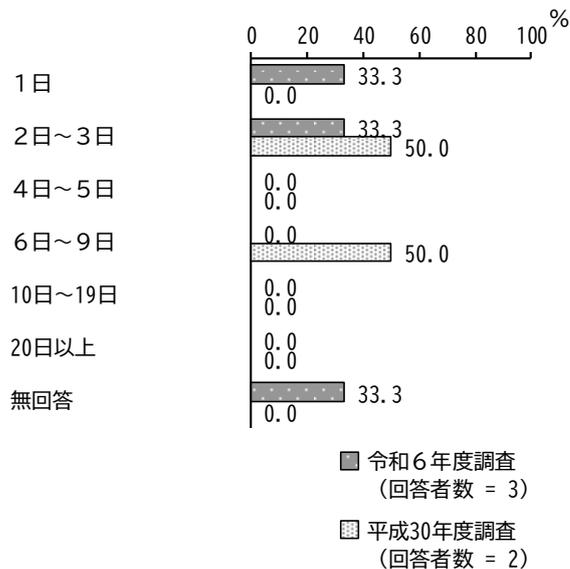


### カ. ベビーシッターを利用した日数

有効回答がありませんでした。

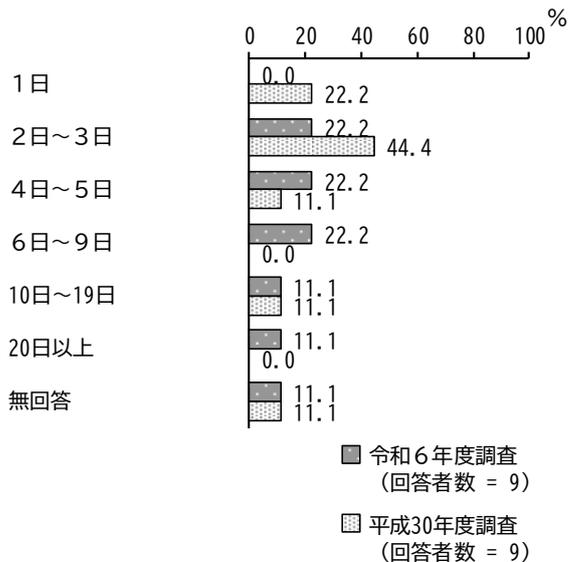
### キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数

「1日」、「2日～3日」が1件となっています。



ク. その他の日数

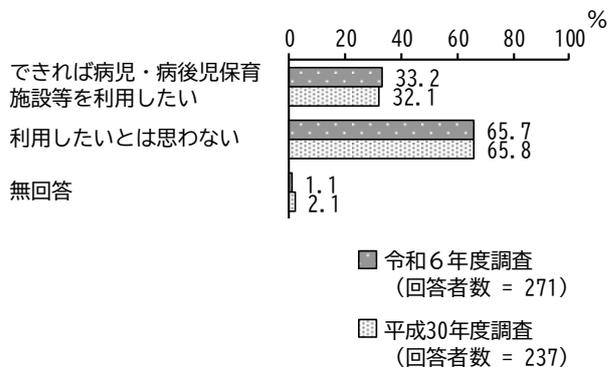
「2日～3日」、「4日～5日」、「6日～9日」  
が2件となっています。



問 28-2 問 28-1 で「ア. 父親が仕事を休んで子どもをみた」「イ. 母親が仕事を休んで子どもをみた」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が 33.2%、「利用したいとは思わない」の割合が 65.7%となっています。

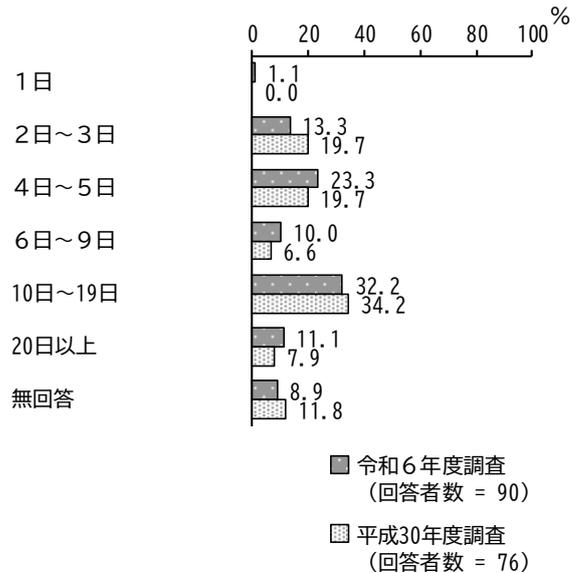
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数

「10日～19日」の割合が32.2%と最も高く、次いで「4日～5日」の割合が23.3%、「2日～3日」の割合が13.3%となっています。

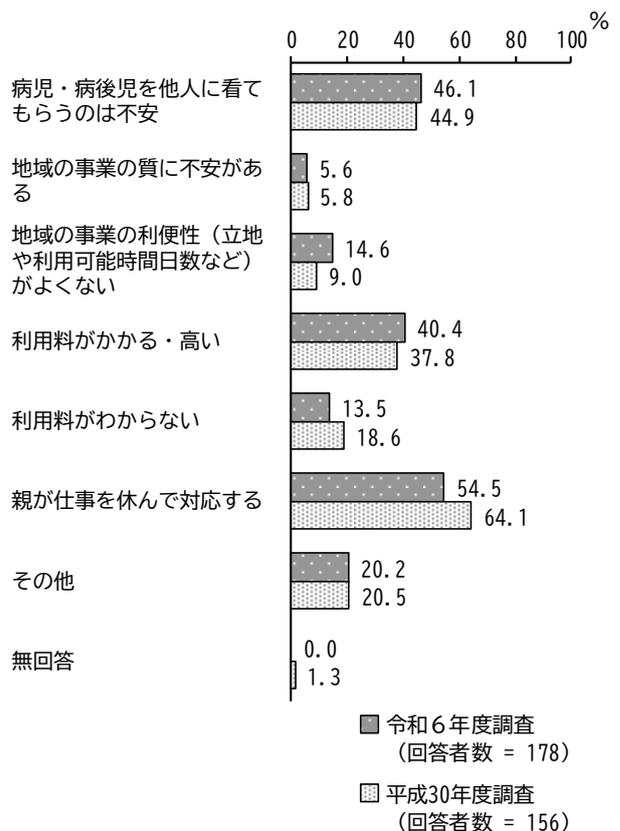
平成30年度調査と比較すると、「2日～3日」の割合が減少しています。



問28-3 問28-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

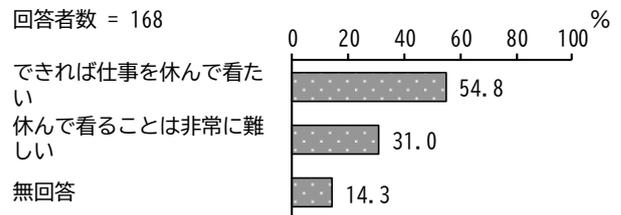
「親が仕事を休んで対応する」の割合が54.5%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安」の割合が46.1%、「利用料がかかる・高い」の割合が40.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない」の割合が増加しています。一方、「利用料がわからない」「親が仕事を休んで対応する」の割合が減少しています。



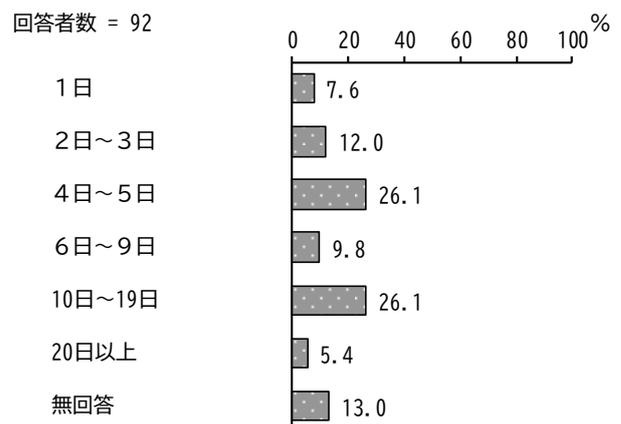
問 28-4 問 28-1 で「ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」～「ク. その他」のいずれかに回答した方にかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、「ウ」～「ク」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください (数字は一桁に一字)。

「できれば仕事を休んで看たい」の割合が 54.8%、「休んで看ることは非常に難しい」の割合が 31.0%となっています。



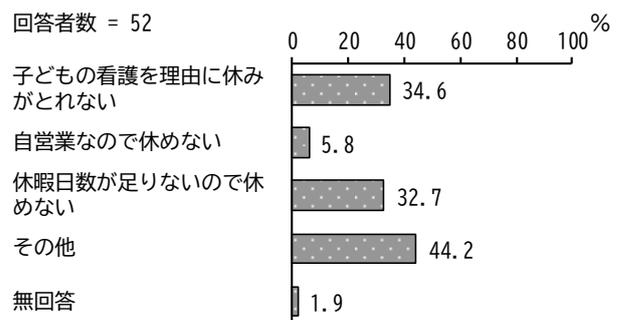
#### できれば仕事を休んで看たい日数

「4日～5日」、「10日～19日」の割合が 26.1%と最も高く、次いで「2日～3日」の割合が 12.0%となっています。



問 28-5 問 28-4 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が 34.6%と最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」の割合が 32.7%となっています。

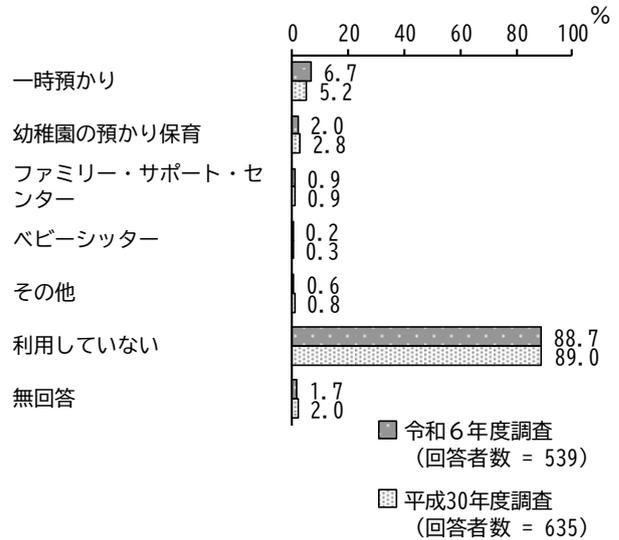


## (9) お子さんの不規則の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 29 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「利用していない」の割合が88.7%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※前回調査では、「一時預かり」の選択肢は「一時預かり（私用など理由を問わずに保育所（保育園）などで一時的に子どもを保育する事業）」、「幼稚園の預かり保育」の選択肢は「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不規則に利用する場合のみ）」、「ファミリー・サポート・センター」の選択肢は「ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）」となっていました。

### 【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、大きな差はみられません。

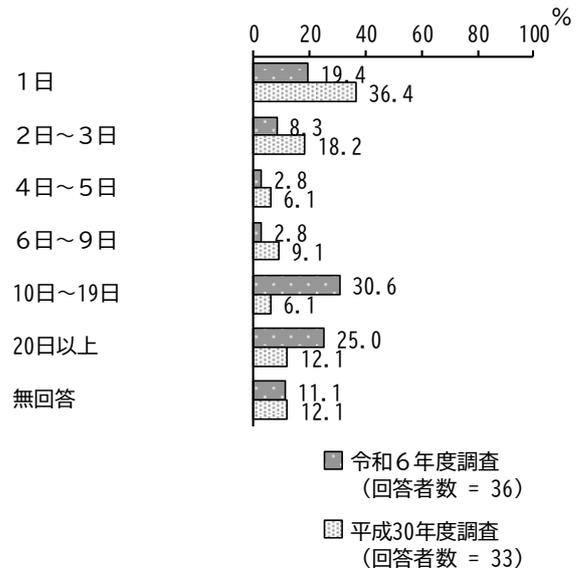
単位：%

区分	回答者数 (件)	一時預かり	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポート・センター	ベビーシッター	その他	利用していない	無回答
全体	388	5.9	2.1	0.8	0.3	0.8	89.4	1.5
休み	186	3.8	2.7	—	—	0.5	91.9	1.1
土曜日に就労している	136	9.6	1.5	1.5	—	0.7	84.6	2.9
日曜日に就労している	69	11.6	1.4	1.4	—	2.9	82.6	—
祝日に就労している	79	7.6	—	—	—	1.3	88.6	2.5
その他	39	5.1	—	2.6	2.6	—	94.9	—

### 1. 一時預かりの日数

「10日～19日」の割合が30.6%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が25.0%、「1日」の割合が19.4%となっています。

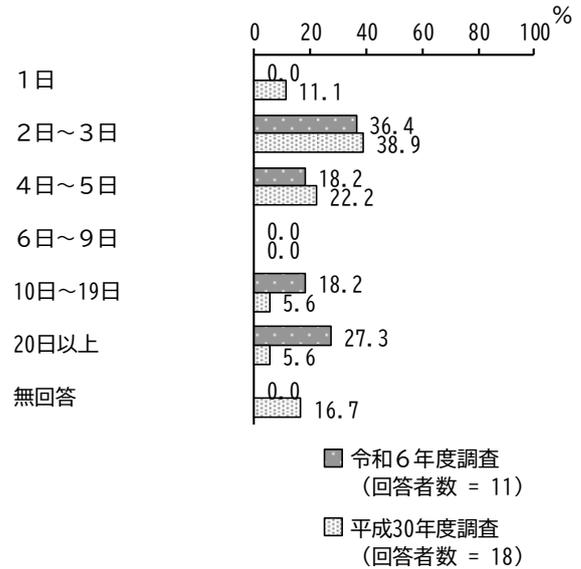
平成30年度調査と比較すると、「10日～19日」「20日以上」の割合が増加しています。一方、「1日」「2日～3日」「6日～9日」の割合が減少しています。



### 2. 幼稚園の預かり保育の日数

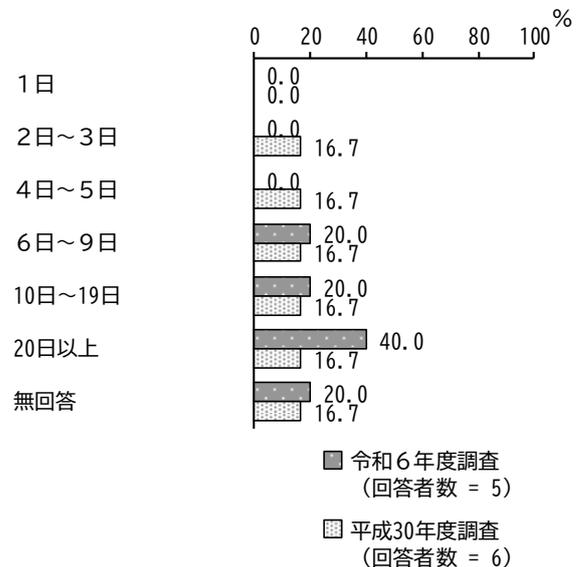
「2日～3日」の割合が36.4%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が27.3%、「4日～5日」の割合が18.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「10日～19日」「20日以上」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



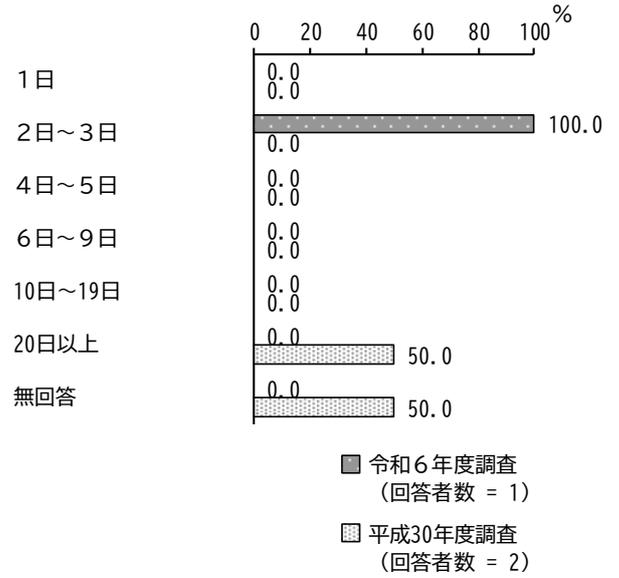
### 3. ファミリー・サポート・センターの日数

「20日以上」が2件となっています。「6日～9日」「10日～19日」が1件となっています。



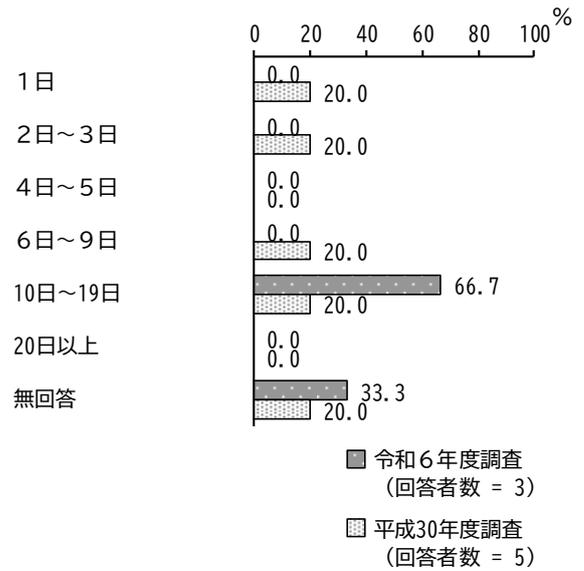
#### 4. ベビーシッターの日数

「2日～3日」が1件となっています。



#### 5. その他の日数

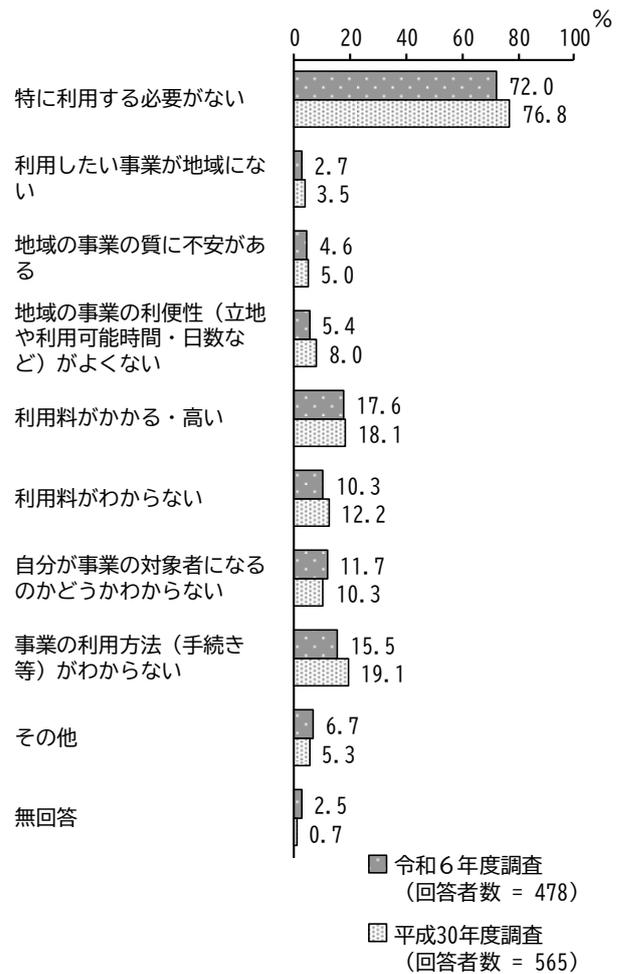
「10日～19日」が2件となっています。



問 29-1 問 29 で「6. 利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

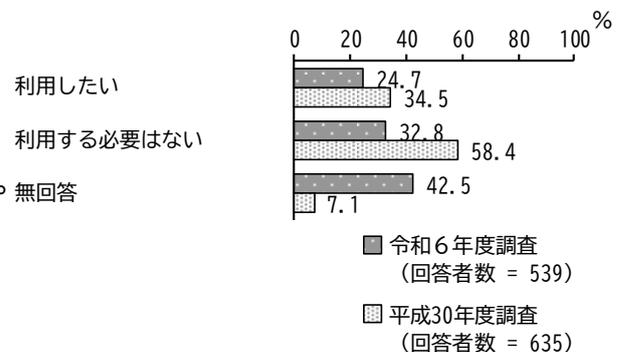
「特に利用する必要がない」の割合が 72.0%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」の割合が 17.6%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が 15.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 30 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

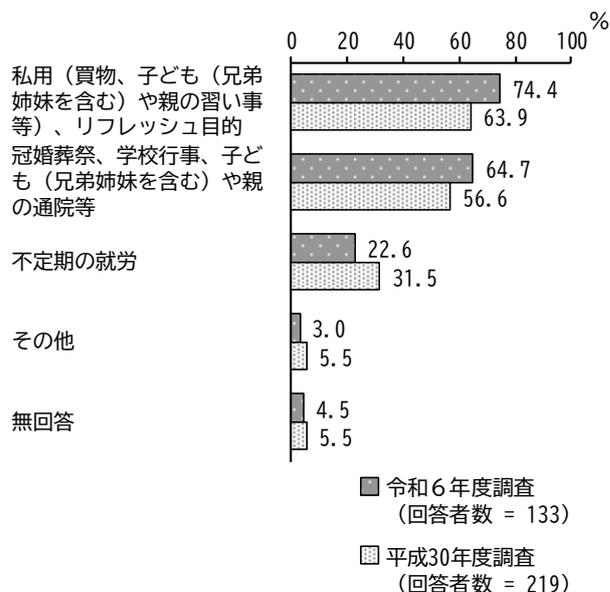
「利用したい」の割合が 24.7%、「利用する必要はない」の割合が 32.8%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「利用したい」「利用する必要はない」の割合が減少しています。



## 利用目的

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が74.4%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が64.7%、「不特定の就労」の割合が22.6%となっています。

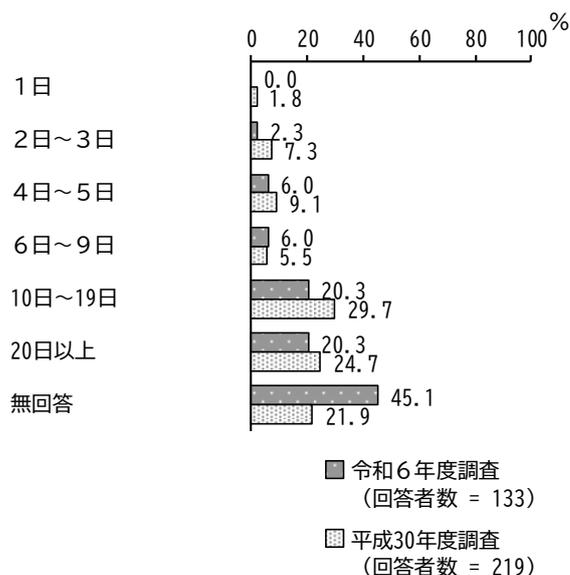
平成30年度調査と比較すると、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が増加しています。一方、「不特定の就労」の割合が減少しています。



## 合計日数

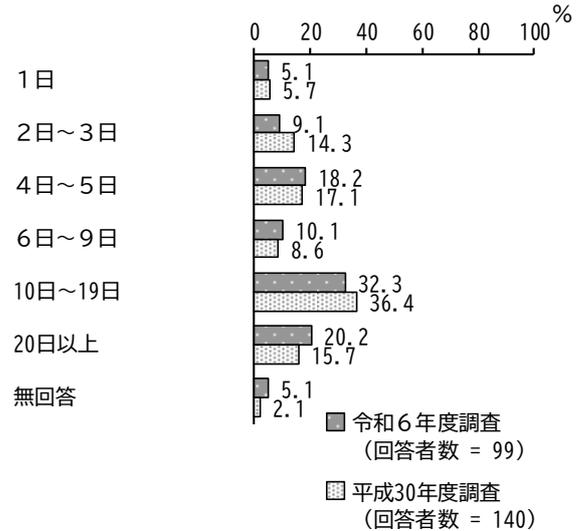
「10日～19日」、「20日以上」の割合が20.3%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「10日～19日」の割合が減少しています。



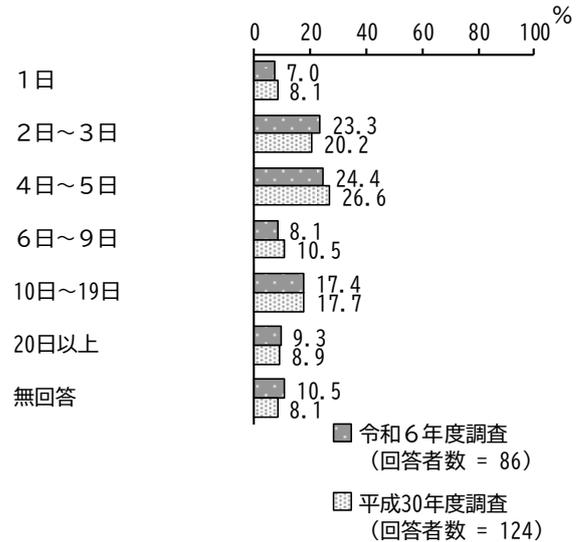
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的の日数

「10日～19日」の割合が32.3%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が20.2%、「4日～5日」の割合が18.2%となっています。  
 平成30年度調査と比較すると、「2日～3日」の割合が減少しています。



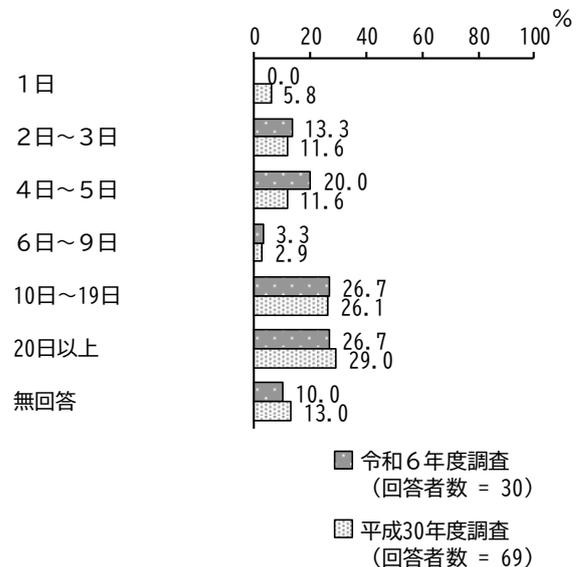
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等の日数

「4日～5日」の割合が24.4%と最も高く、次いで「2日～3日」の割合が23.3%、「10日～19日」の割合が17.4%となっています。  
 平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



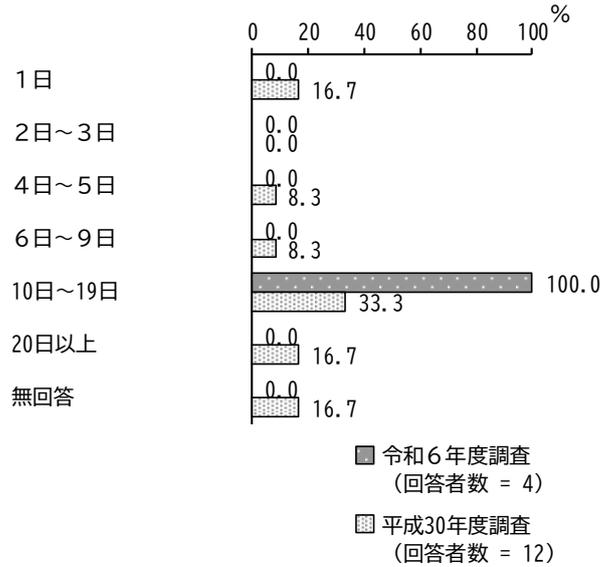
ウ. 不定期の就労の日数

「10日～19日」、「20日以上」の割合が26.7%と最も高く、次いで「4日～5日」の割合が20.0%となっています。  
 平成30年度調査と比較すると、「4日～5日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



エ. その他の日数

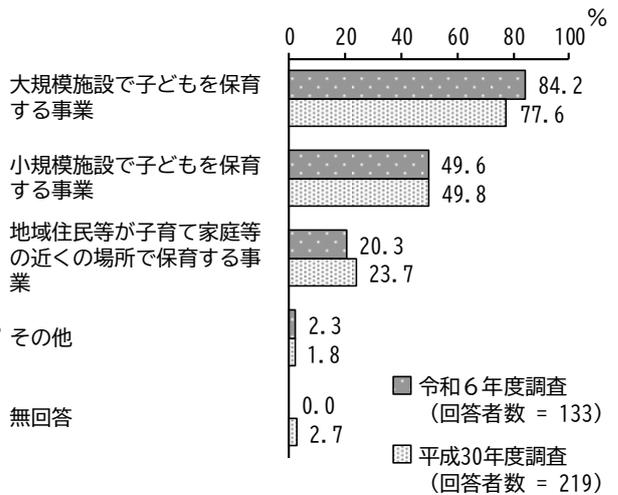
「10日～19日」が4件となっています。



問30-1 問30で「1.利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問30の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「大規模施設で子どもを保育する事業」の割合が84.2%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」の割合が49.6%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」の割合が20.3%となっています。

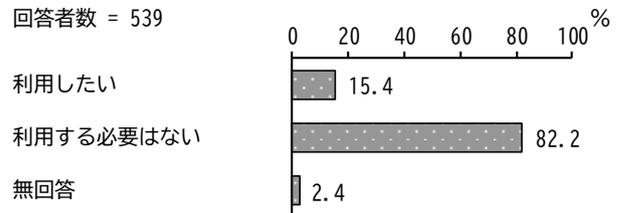
平成30年度調査と比較すると、「大規模施設で子どもを保育する事業」の割合が増加しています。



※前回調査では、「大規模施設で子どもを保育する事業」の選択肢は「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所（保育園）等）」、「小規模施設で子どもを保育する事業」の選択肢は「小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）」、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」の選択肢は「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」となっていました。

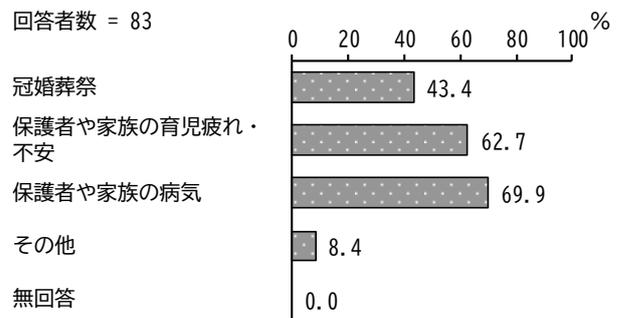
問 31 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください  
 （利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字）。なお事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が 15.4%、「利用する必要はない」の割合が 82.2%となっています。



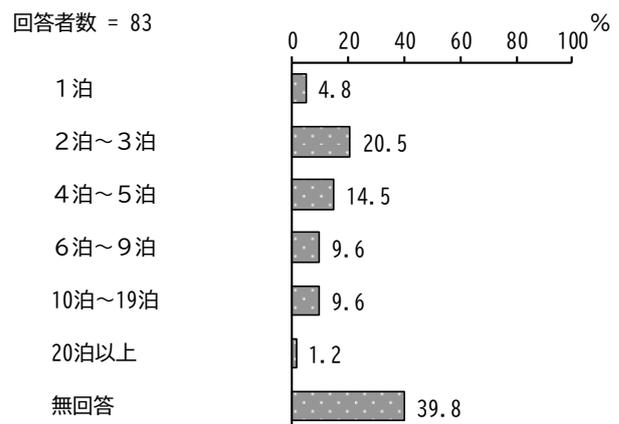
### 利用目的

「保護者や家族の病気」の割合が 69.9%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が 62.7%、「冠婚葬祭」の割合が 43.4%となっています。



### 合計泊数

「2泊～3泊」の割合が 20.5%と最も高く、次いで「4泊～5泊」の割合が 14.5%となっています。

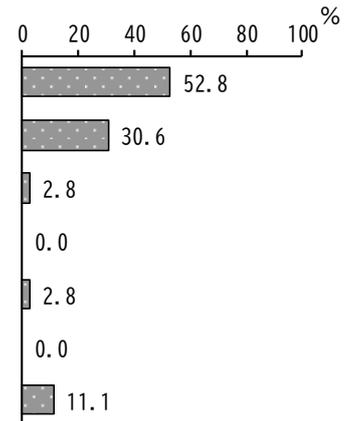


### ア. 冠婚葬祭の泊数

「1泊」の割合が52.8%と最も高く、次いで「2泊～3泊」の割合が30.6%となっています。

回答者数 = 36

1泊	52.8
2泊～3泊	30.6
4泊～5泊	2.8
6泊～9泊	0.0
10泊～19泊	2.8
20泊以上	0.0
無回答	11.1

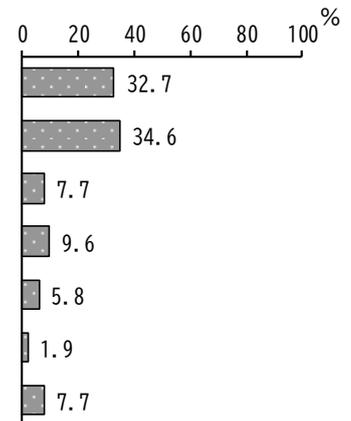


### イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安の泊数

「2泊～3泊」の割合が34.6%と最も高く、次いで「1泊」の割合が32.7%となっています。

回答者数 = 52

1泊	32.7
2泊～3泊	34.6
4泊～5泊	7.7
6泊～9泊	9.6
10泊～19泊	5.8
20泊以上	1.9
無回答	7.7

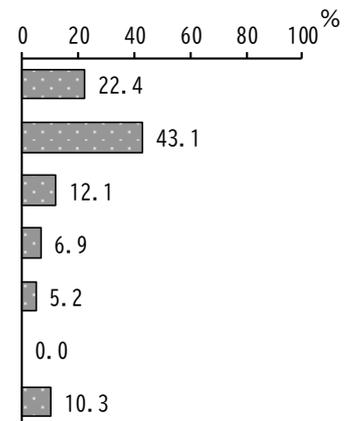


### ウ. 保護者や家族の病気の泊数

「2泊～3泊」の割合が43.1%と最も高く、次いで「1泊」の割合が22.4%、「4泊～5泊」の割合が12.1%となっています。

回答者数 = 58

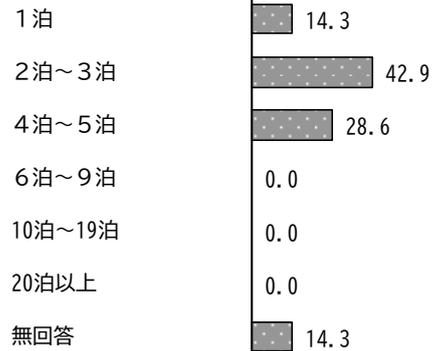
1泊	22.4
2泊～3泊	43.1
4泊～5泊	12.1
6泊～9泊	6.9
10泊～19泊	5.2
20泊以上	0.0
無回答	10.3



## エ. その他の泊数

「2泊～3泊」が3件となっています。「4泊～5泊」が2件、「1泊」が1件となっています。

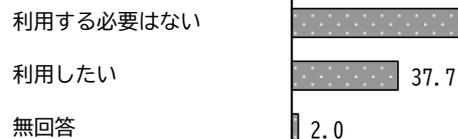
回答者数 = 7



問 32 全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備することを目的とし、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位などで、6か月から2歳までの子どもを預けられるようにする新しい通園制度（通称「子ども誰でも通園制度」）の創設が検討されています。この制度の利用希望はありますか。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

「利用する必要はない」の割合が60.3%、「利用したい」の割合が37.7%となっています。

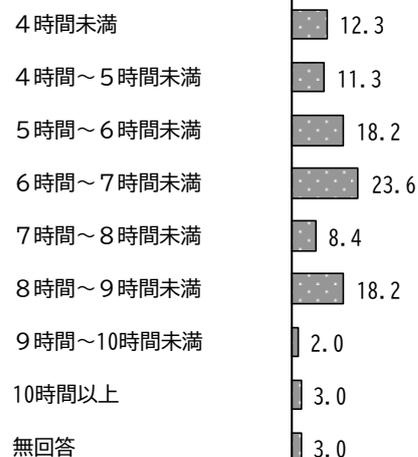
回答者数 = 539



## 1日あたりの利用時間

「6時間～7時間未満」の割合が23.6%と最も高く、次いで「5時間～6時間未満」、「8時間～9時間未満」の割合が18.2%となっています。

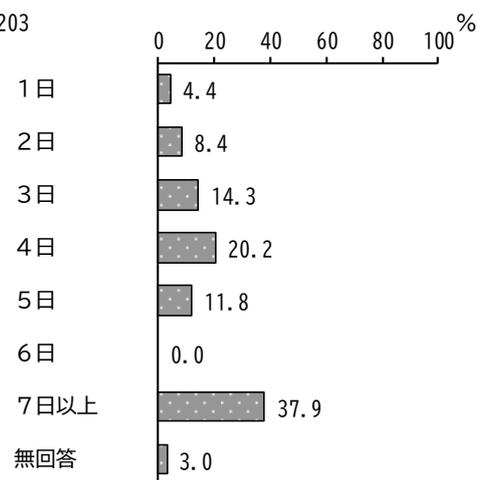
回答者数 = 203



### 1月あたりの利用日数

「7日以上」の割合が37.9%と最も高く、次いで「4日」の割合が20.2%、「3日」の割合が14.3%となっています。

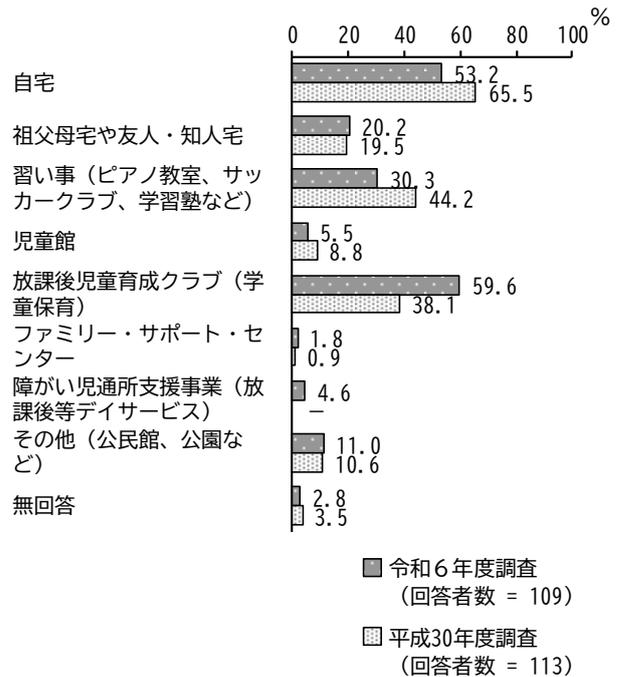
回答者数 = 203



## (10) お子さんが来年度小学校1年生になる方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 33 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「5. 放課後児童育成クラブ」、「7. 障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず「(例) 18時」のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

「放課後児童育成クラブ（学童保育）」の割合が59.6%と最も高く、次いで「自宅」の割合が53.2%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が30.3%となっています。平成30年度調査と比較すると、「放課後児童育成クラブ（学童保育）」の割合が増加しています。一方、「自宅」「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が減少しています。

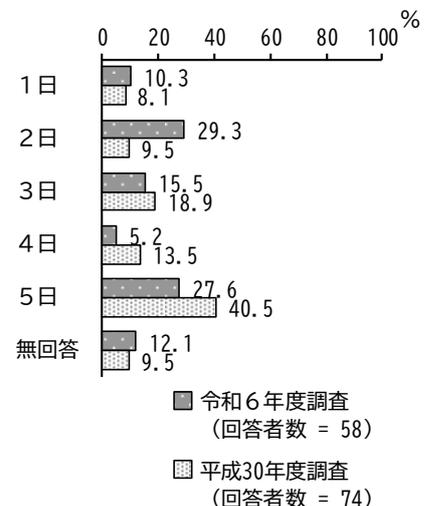


※前回調査では、「障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）」の選択肢はありませんでした。

### 1. 自宅の日数

「2日」の割合が29.3%と最も高く、次いで「5日」の割合が27.6%、「3日」の割合が15.5%となっています。

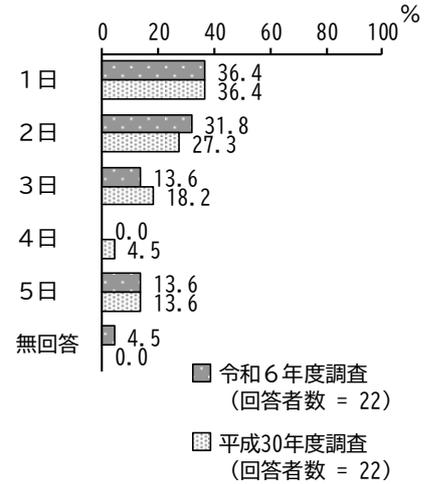
平成30年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。一方、「4日」「5日」の割合が減少しています。



## 2. 祖父母宅や友人・知人宅の日数

「1日」の割合が36.4%と最も高く、次いで「2日」の割合が31.8%、「3日」、「5日」の割合が13.6%となっています。

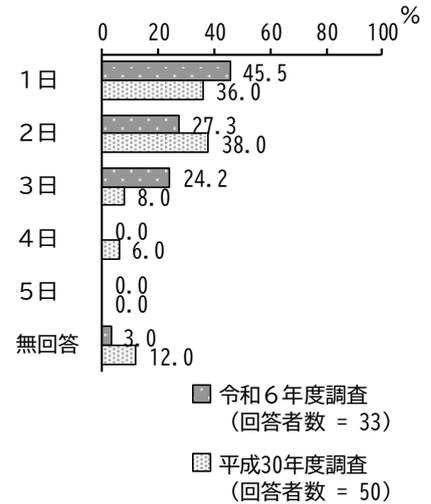
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



## 3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）の日数

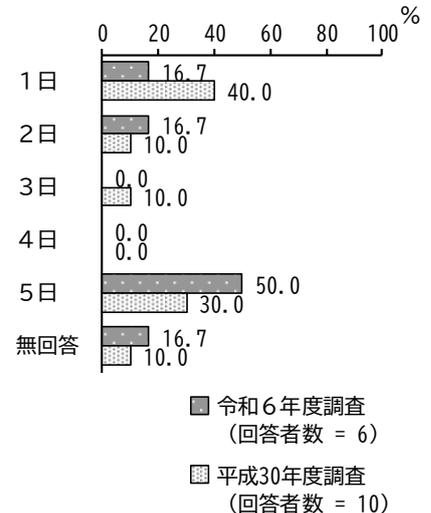
「1日」の割合が45.5%と最も高く、次いで「2日」の割合が27.3%、「3日」の割合が24.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」「3日」の割合が増加しています。一方、「2日」「4日」の割合が減少しています。



## 4. 児童館の日数

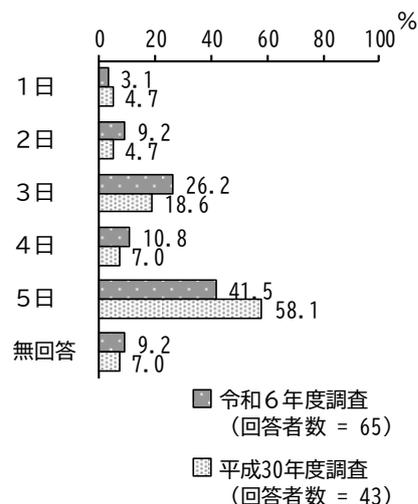
「5日」が3件となっています。「1日」、「2日」が1件となっています。



## 5. 放課後児童育成クラブ（学童保育）の日数

「5日」の割合が41.5%と最も高く、次いで「3日」の割合が26.2%、「4日」の割合が10.8%となっています。

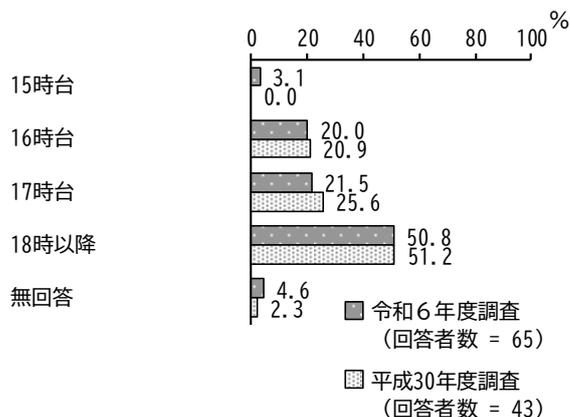
平成30年度調査と比較すると、「3日」の割合が増加しています。一方、「5日」の割合が減少しています。



## 利用終了時刻

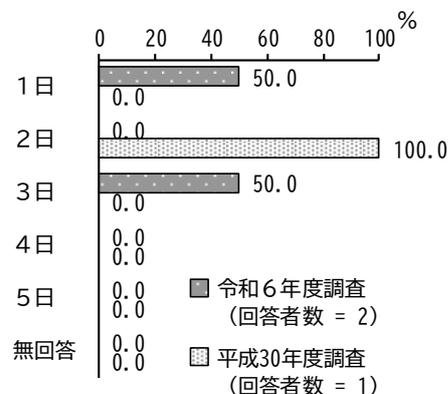
「18時以降」の割合が50.8%と最も高く、次いで「17時台」の割合が21.5%、「16時台」の割合が20.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



## 6. ファミリー・サポート・センターの日数

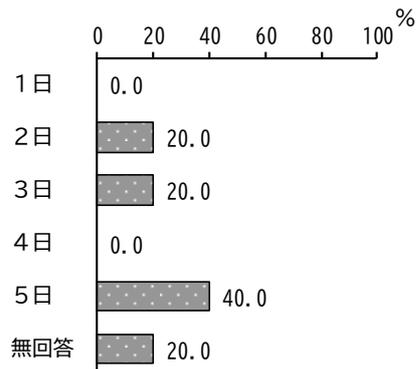
「1日」、「3日」が1件となっています。



### 7. 障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）の日数

「5日」が2件となっています。「2日」、「3日」が1件となっています。

回答者数 = 5

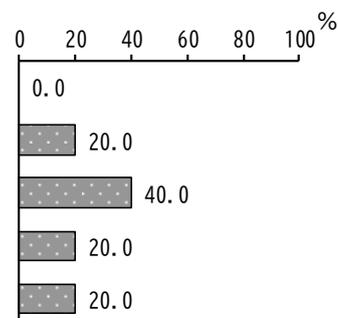


### 利用終了時刻

「17時台」が2件となっています。「16時台」、「18時以降」が1件となっています。

回答者数 = 5

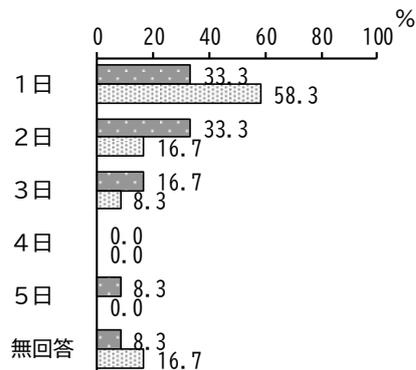
15時台  
16時台  
17時台  
18時以降  
無回答



### 8. その他（公民館、公園など）の日数

「1日」、「2日」の割合が33.3%と最も高く、次いで「3日」の割合が16.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「2日」「3日」「5日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。

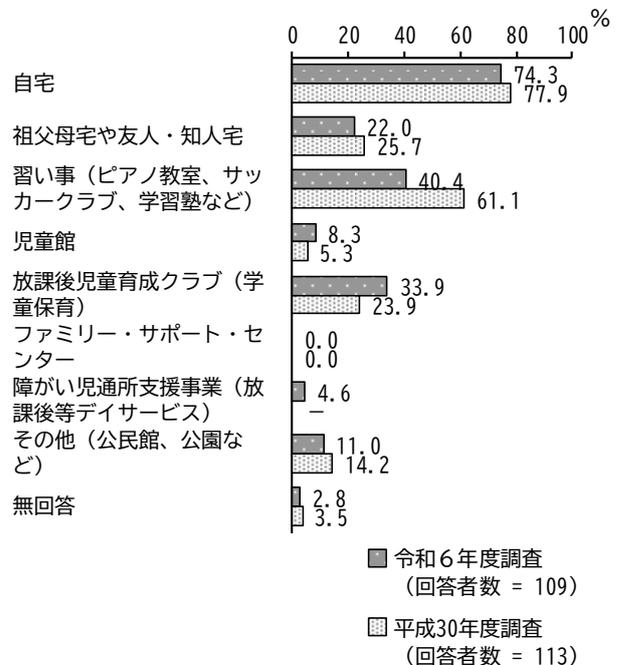


■ 令和6年度調査  
(回答者数 = 12)

▨ 平成30年度調査  
(回答者数 = 12)

問 34 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童育成クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず「(例)18時」のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。  
※だいが先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

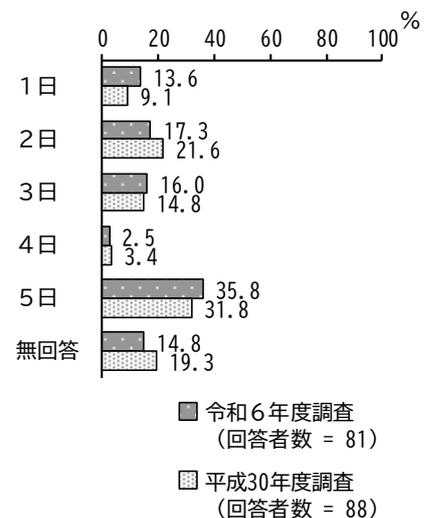
「自宅」の割合が74.3%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が40.4%、「放課後児童育成クラブ（学童保育）」の割合が33.9%となっています。平成30年度調査と比較すると、「放課後児童育成クラブ（学童保育）」の割合が増加しています。一方、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が減少しています。



※前回調査では、「障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）」の選択肢はありませんでした。  
※前回調査では、「その他（公民館、公園など）」の選択肢は「その他」となっていました。

### 1. 自宅の日数

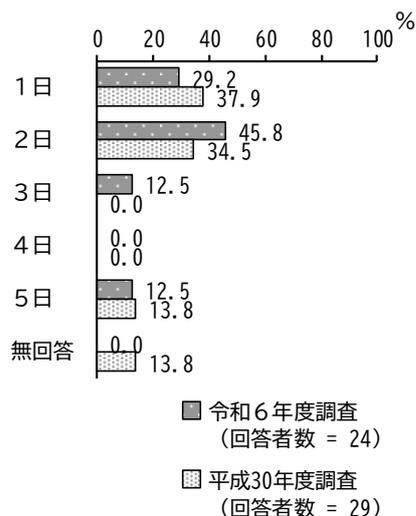
「5日」の割合が35.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が17.3%、「3日」の割合が16.0%となっています。平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



## 2. 祖父母宅や友人・知人宅の日数

「2日」の割合が45.8%と最も高く、次いで「1日」の割合が29.2%、「3日」、「5日」の割合が12.5%となっています。

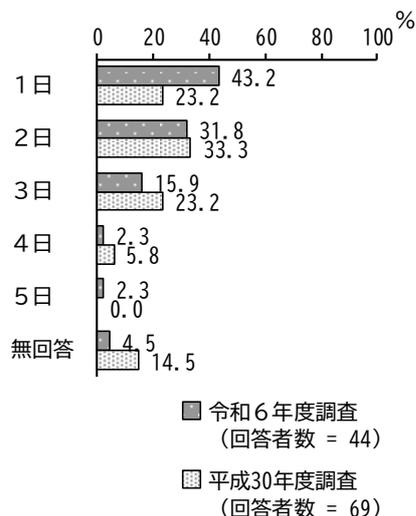
平成30年度調査と比較すると、「2日」「3日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



## 3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）の日数

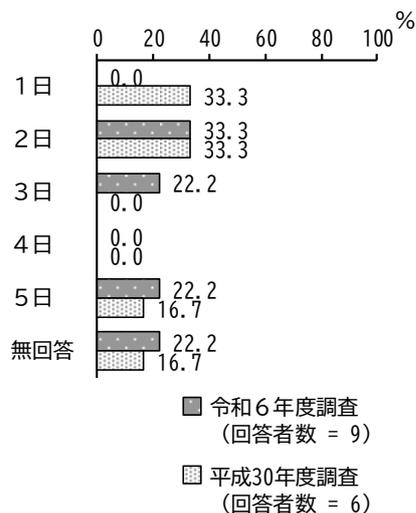
「1日」の割合が43.2%と最も高く、次いで「2日」の割合が31.8%、「3日」の割合が15.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。一方、「3日」の割合が減少しています。



## 4. 児童館の日数

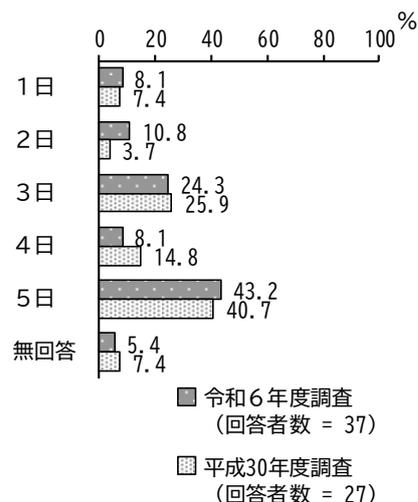
「2日」が3件となっています。「3日」、「5日」が2件となっています。



## 5. 放課後児童育成クラブ（学童保育）の日数

「5日」の割合が43.2%と最も高く、次いで「3日」の割合が24.3%、「2日」の割合が10.8%となっています。

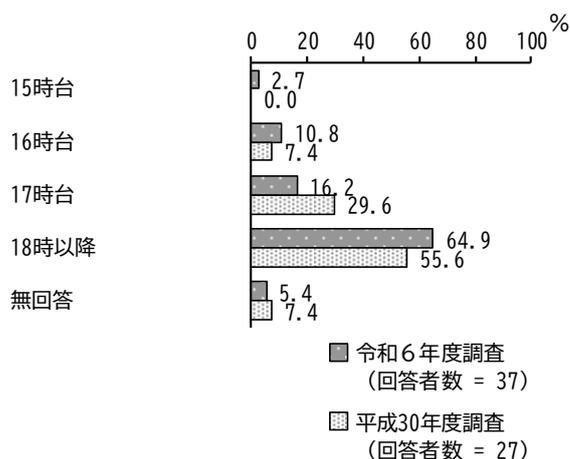
平成30年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。一方、「4日」の割合が減少しています。



## 利用終了時刻

「18時以降」の割合が64.9%と最も高く、次いで「17時台」の割合が16.2%、「16時台」の割合が10.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「18時以降」の割合が増加しています。一方、「17時台」の割合が減少しています。

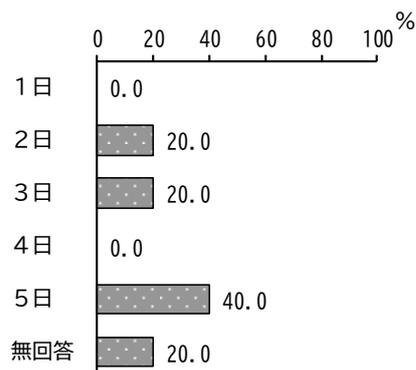


## 6. ファミリー・サポート・センターの日数

有効回答がありませんでした。

### 7. 障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）の日数

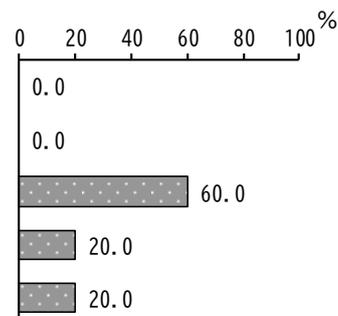
「5日」が2件となっています。「2日」、「3日」が1件となっています。  
回答者数 = 5



### 利用終了時刻

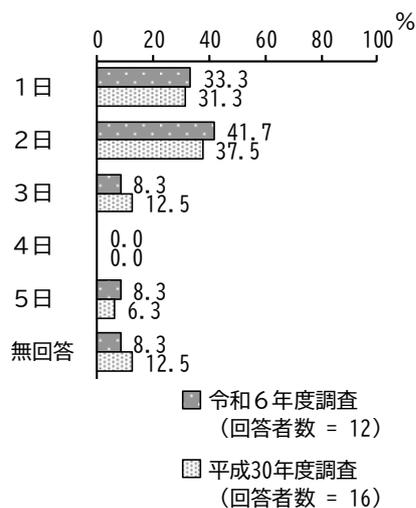
「17時台」が3件となっています。「18時以降」が1件となっています。  
回答者数 = 5

15時台  
 16時台  
 17時台  
 18時以降  
 無回答



### 8. その他（公民館、公園など）の日数

「2日」の割合が41.7%と最も高く、次いで「1日」の割合が33.3%となっています。  
 平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

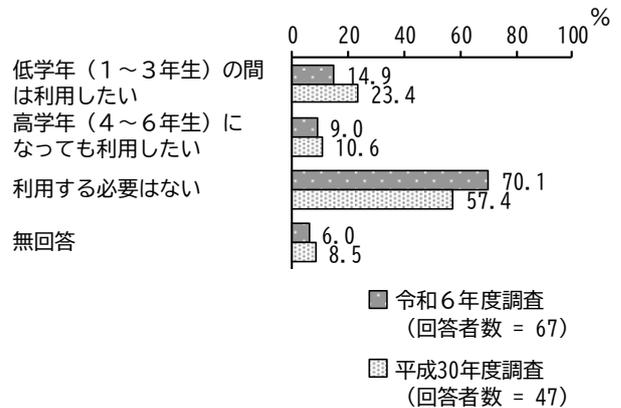


問 35 問 33 または問 34 で「5. 放課後児童育成クラブ（学童保育）」に○をつけた方  
 にかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童  
 育成クラブの利用希望はありますか。(1)、(2)、(3) それぞれについて、当ては  
 まる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に「(例)09時  
 ～18時」のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。なお、事業の  
 利用には、一定の保育料がかかります。

### (1) 土曜日

「利用する必要はない」の割合が70.1%と最も  
 高く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用  
 したい」の割合が14.9%となっています。

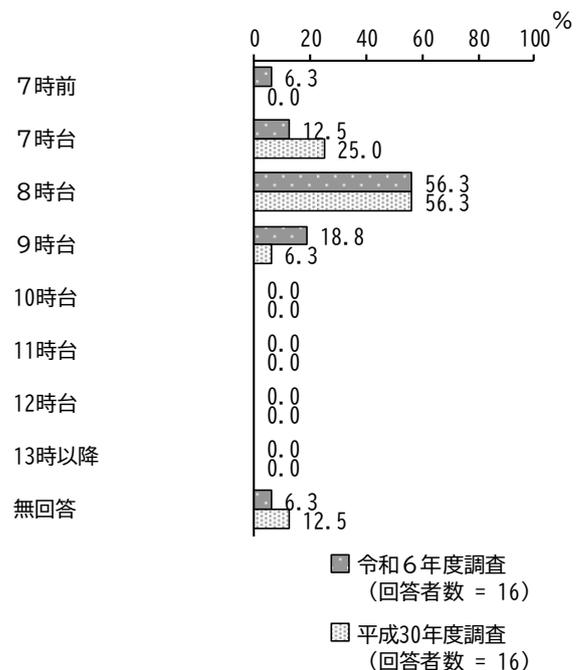
平成30年度調査と比較すると、「利用する必要  
 はない」の割合が増加しています。一方、「低学年  
 (1～3年生)の間は利用したい」の割合が減少  
 しています。



### 利用開始時刻

「8時台」の割合が56.3%と最も高く、次いで  
 「9時台」の割合が18.8%、「7時台」の割合が  
 12.5%となっています。

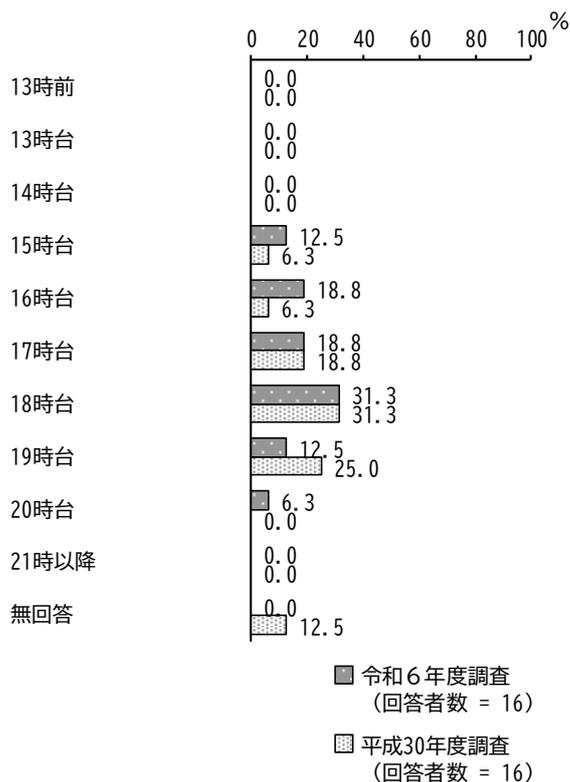
平成30年度調査と比較すると、「7時前」「9  
 時台」の割合が増加しています。一方、「7時台」  
 の割合が減少しています。



## 利用終了時刻

「18 時台」の割合が 31.3%と最も高く、次いで「16 時台」、「17 時台」の割合が 18.8%となっています。

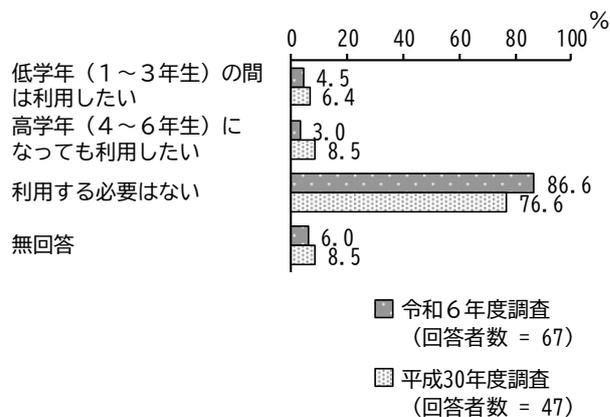
平成 30 年度調査と比較すると、「15 時台」「16 時台」「20 時台」の割合が増加しています。一方、「19 時台」の割合が減少しています。



## (2) 日曜日

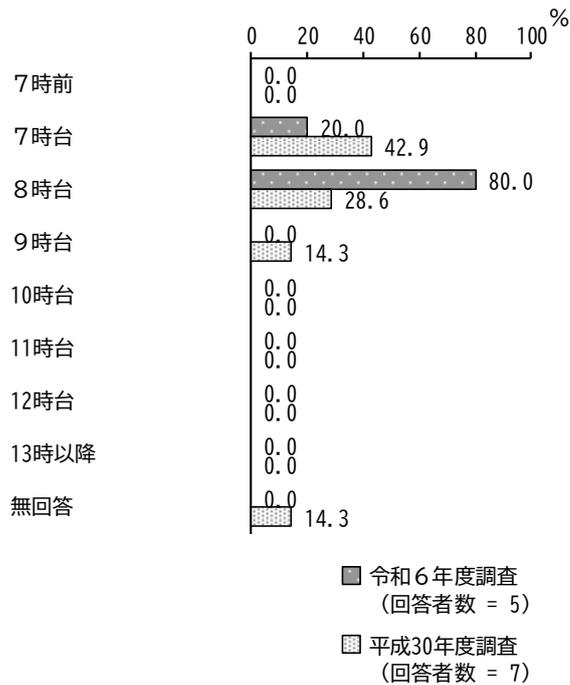
「利用する必要はない」の割合が 86.6%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が減少しています。



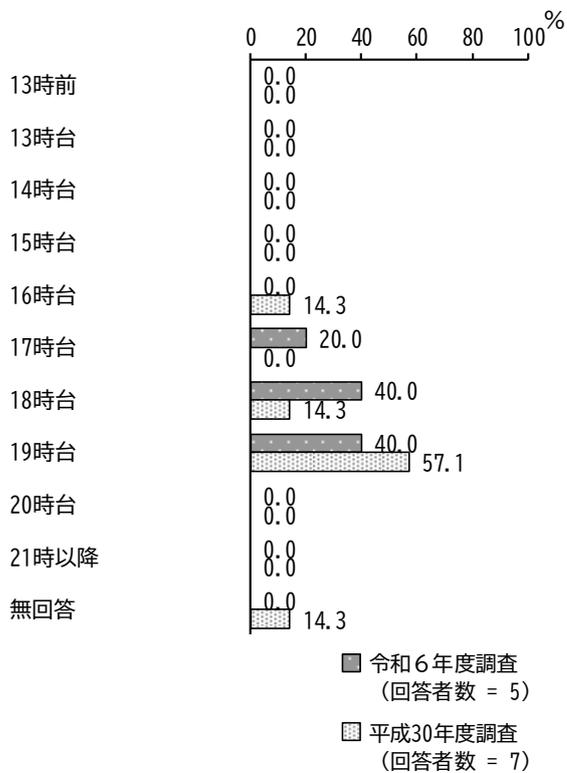
### 利用開始時刻

「8時台」が4件となっています。「7時台」が1件となっています。



### 利用終了時刻

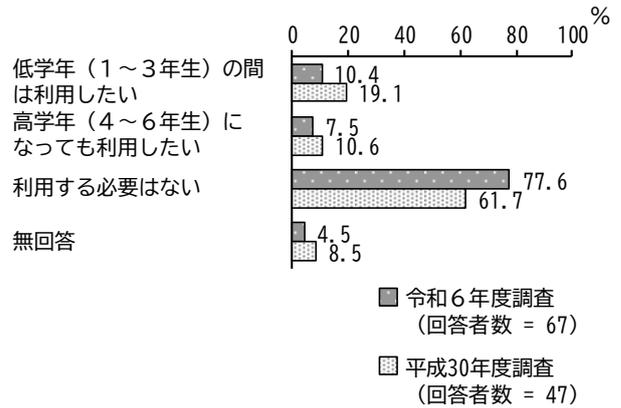
「18時台」、「19時台」が2件となっています。「17時台」が1件となっています。



### (3) 祝日

「利用する必要はない」の割合が77.6%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が10.4%となっています。

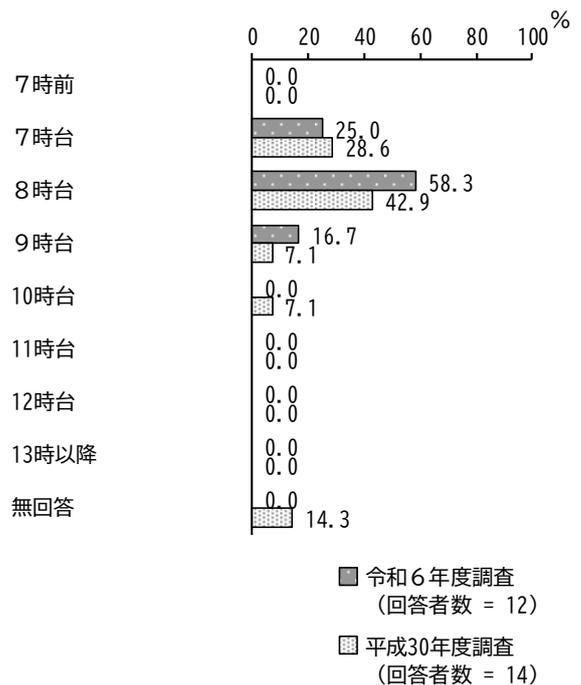
平成30年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が減少しています。



### 利用開始時刻

「8時台」の割合が58.3%と最も高く、次いで「7時台」の割合が25.0%、「9時台」の割合が16.7%となっています。

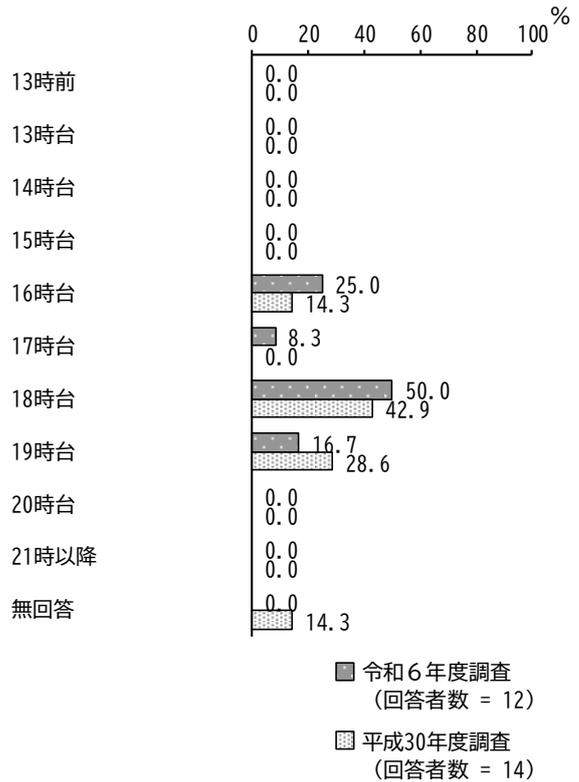
平成30年度調査と比較すると、「8時台」「9時台」の割合が増加しています。一方、「10時台」の割合が減少しています。



## 利用終了時刻

「18 時台」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「16 時台」の割合が 25.0%、「19 時台」の割合が 16.7%となっています。

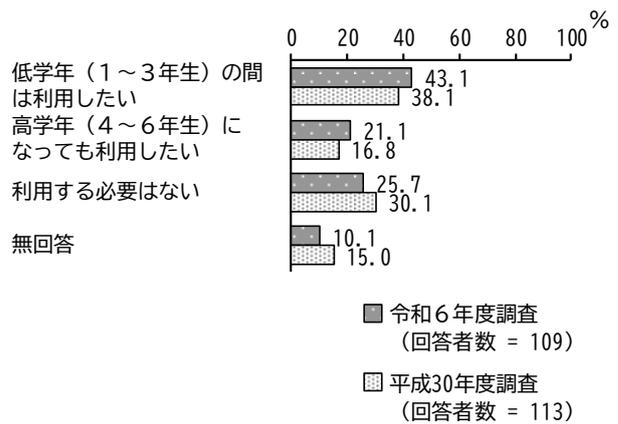
平成 30 年度調査と比較すると、「16 時台」「17 時台」「18 時台」の割合が増加しています。一方、「19 時台」の割合が減少しています。



問 36 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童育成クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に「(例)09時～18時」のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。なお、事業の利用には、一定の保育料がかかります。

「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が 43.1%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が 25.7%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が 21.1%となっています。

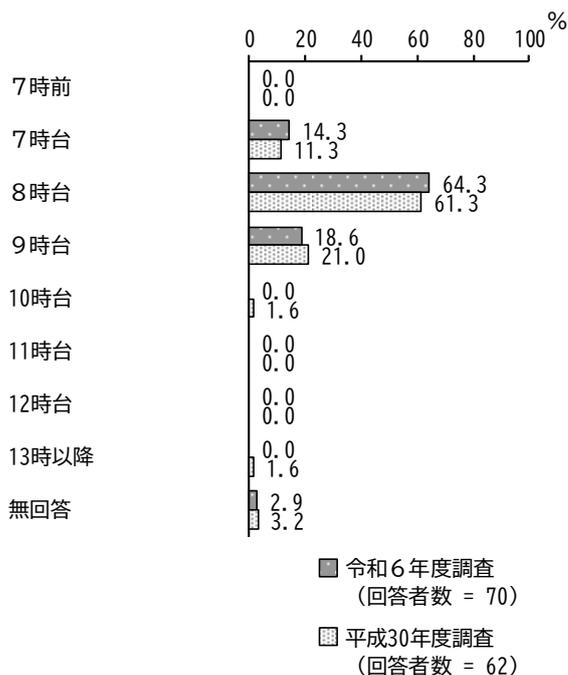
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 利用開始時刻

「8時台」の割合が64.3%と最も高く、次いで「9時台」の割合が18.6%、「7時台」の割合が14.3%となっています。

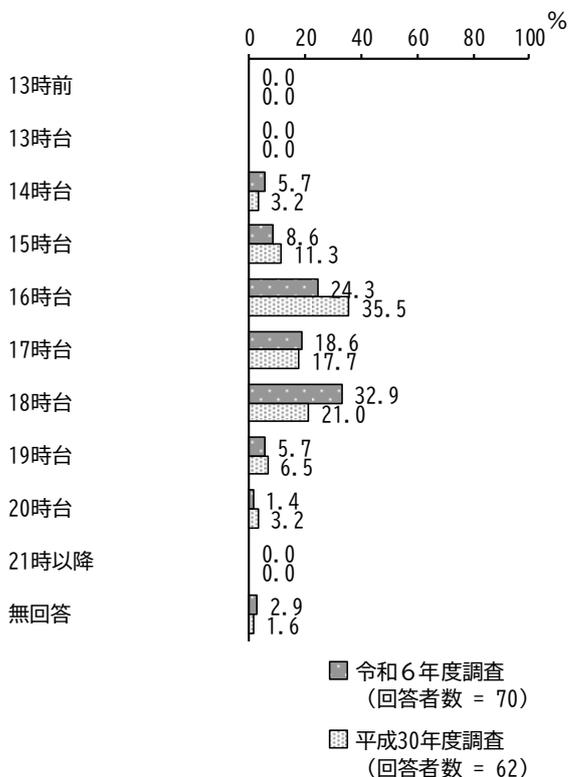
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 利用終了時刻

「18時台」の割合が32.9%と最も高く、次いで「16時台」の割合が24.3%、「17時台」の割合が18.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「18時台」の割合が増加しています。一方、「16時台」の割合が減少しています。



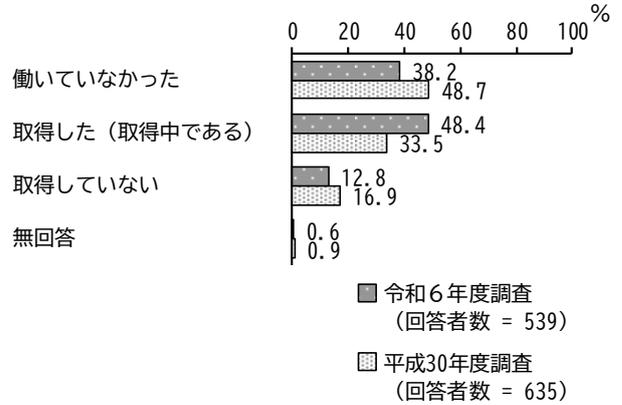
## (11) すべての方に、育児休業など職場の両立支援制度について

問 37 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

### (1) 母親

「取得した（取得中である）」の割合が48.4%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が38.2%、「取得していない」の割合が12.8%となっています。

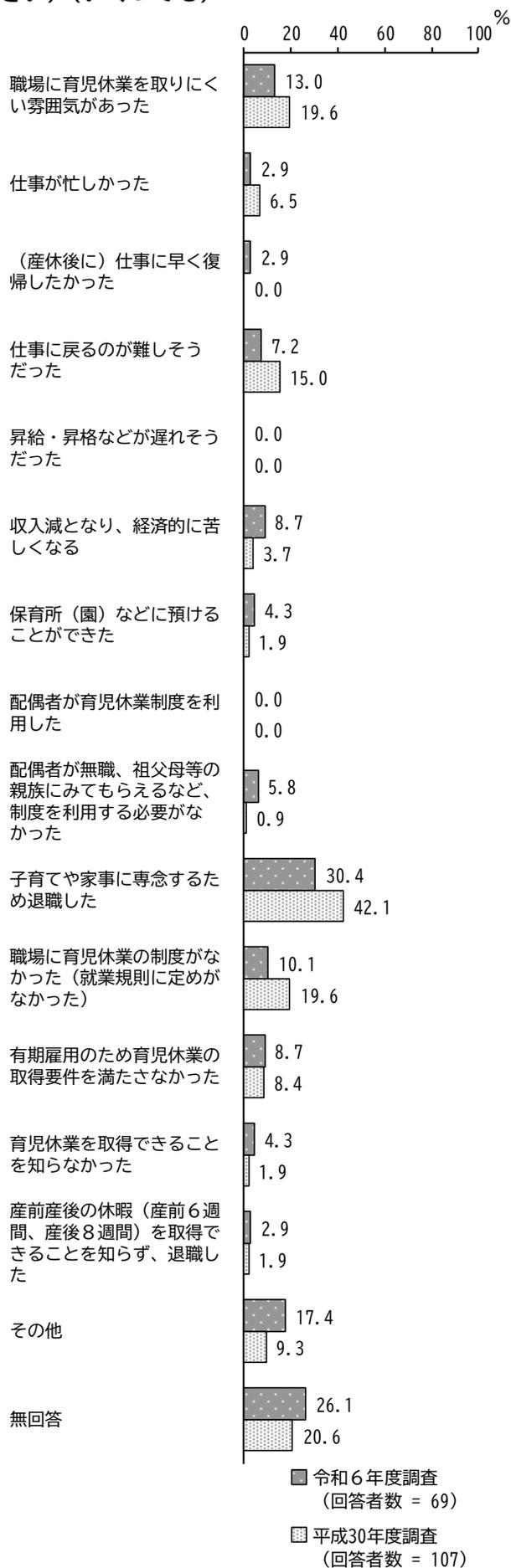
平成30年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」の割合が増加しています。一方、「働いていなかった」の割合が減少しています。



取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が30.4%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が13.0%、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が10.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事に戻るのが難しそうだった」「子育てや家事に専念するため退職した」「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が減少しています。



## (2) 父親

「取得していない」の割合が 77.0%と最も高く、次いで「取得した(取得中である)」の割合が 18.7%となっています。

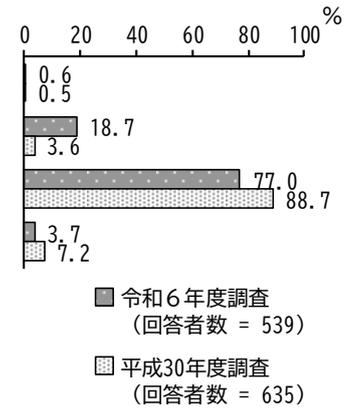
平成 30 年度調査と比較すると、「取得した(取得中である)」の割合が増加しています。一方、「取得していない」の割合が減少しています。

働いていなかった

取得した(取得中である)

取得していない

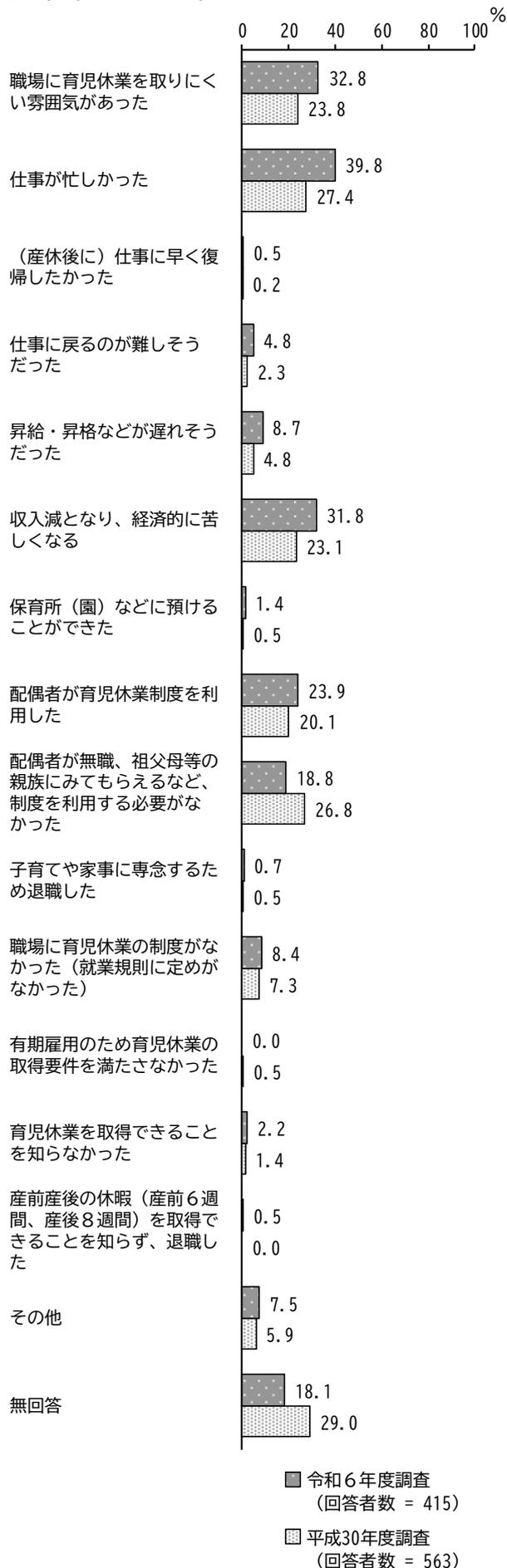
無回答



取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

「仕事が忙しかった」の割合が39.8%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が32.8%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が31.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が増加しています。一方、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が減少しています。

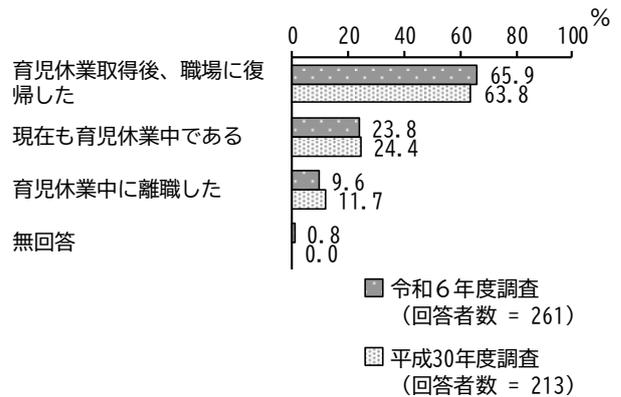


問 37-1 問 37 で「2. 取得した（取得中である）」と答えた方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 65.9%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が 23.8%となっています。

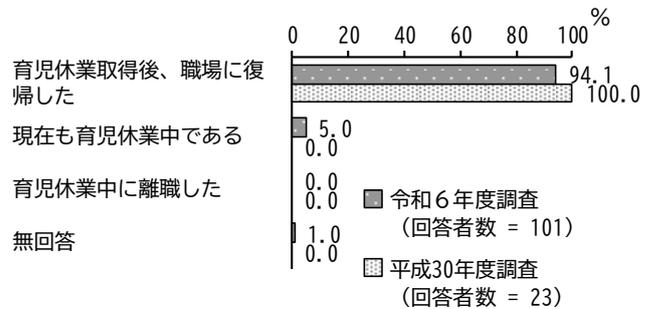
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 父親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 94.1%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が減少しています。



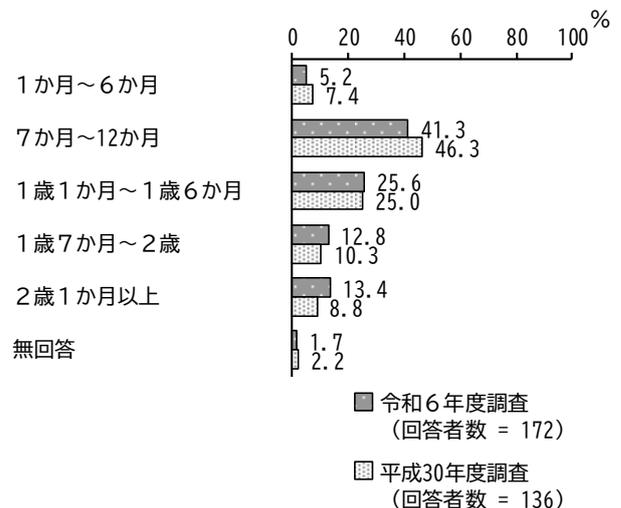
問 37-2 問 37-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と答えた方にうかがいます。育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

実際の取得期間

「7か月～12か月」の割合が 41.3%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が 25.6%、「2歳1か月以上」の割合が 13.4%となっています。

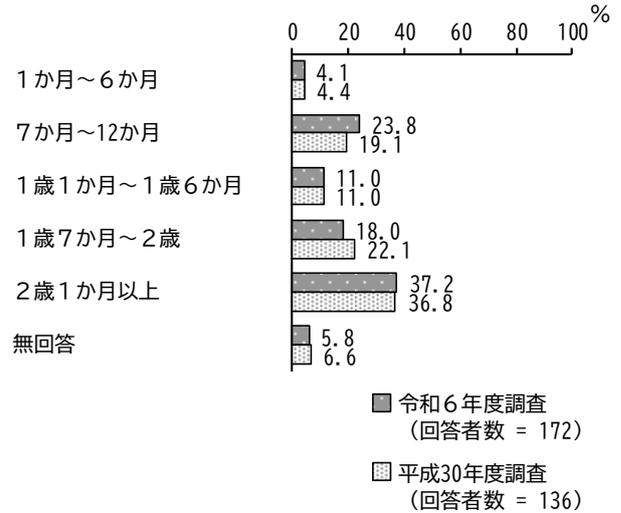
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



## 希望

「2歳1か月以上」の割合が37.2%と最も高く、次いで「7か月～12か月」の割合が23.8%、「1歳7か月～2歳」の割合が18.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

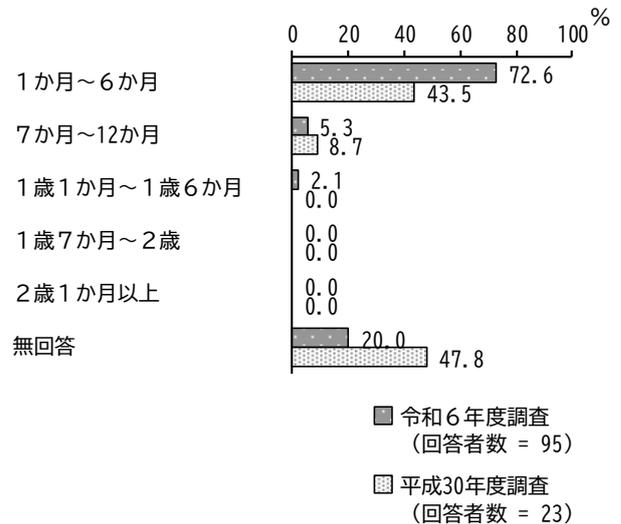


## (2) 父親

### 実際の取得期間

「1か月～6か月」の割合が72.6%と最も高くなっています。

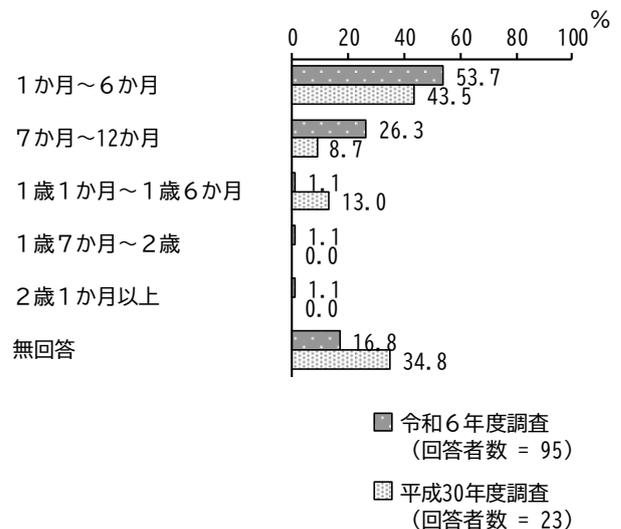
平成30年度調査と比較すると、「1か月～6か月」の割合が増加しています。



## 希望

「1か月～6か月」の割合が53.7%と最も高く、次いで「7か月～12か月」の割合が26.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1か月～6か月」「7か月～12か月」の割合が増加しています。一方、「1歳1か月～1歳6か月」の割合が減少しています。

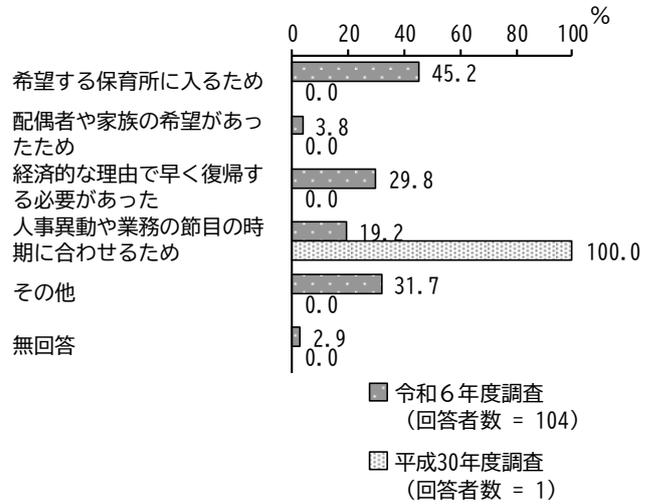


問 37-3 問 37-2 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

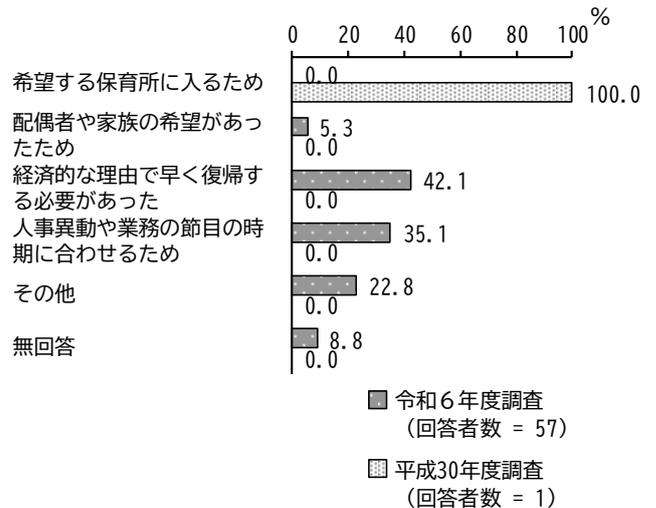
①母親

「希望する保育所に入るため」の割合が 45.2%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 29.8%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 19.2%となっています。



②父親

「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 42.1%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 35.1%となっています。



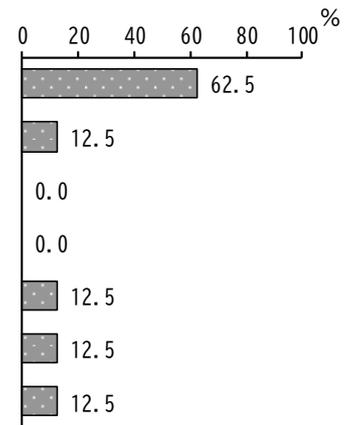
(2)「希望」より遅く復帰した方※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

「希望する保育所に入れなかったため」の割合が62.5%と最も高く、次いで「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」、「子どもをみてくれる人がいなかったため」の割合が12.5%となっています。

回答者数 = 16

希望する保育所に入れなかったため  
自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため  
配偶者や家族の希望があったため  
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため  
子どもをみてくれる人がいなかったため  
その他  
無回答

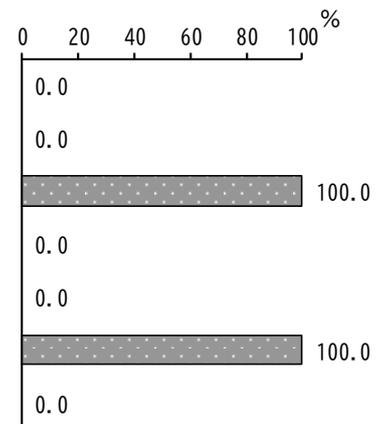


②父親

「配偶者や家族の希望があったため」が1件となっています。

回答者数 = 1

希望する保育所に入れなかったため  
自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため  
配偶者や家族の希望があったため  
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため  
子どもをみてくれる人がいなかったため  
その他  
無回答

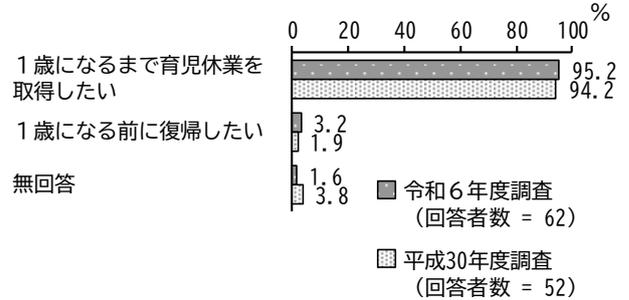


問 37-4 問 37-1 で「2. 現在も育児休業中である」と答えた方にうかがいます。宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

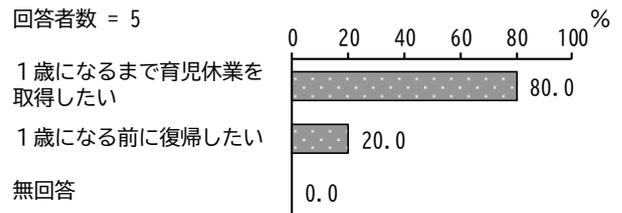
「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が95.2%、「1歳になる前に復帰したい」の割合が3.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 父親

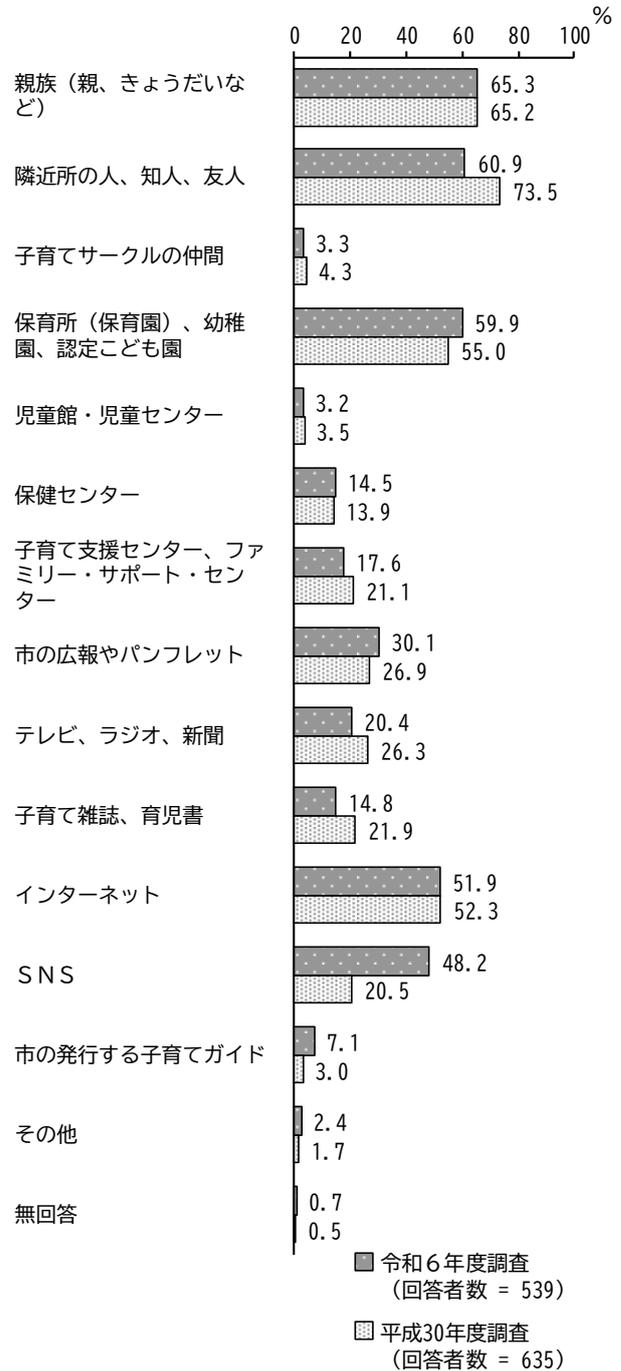
「1歳になるまで育児休業を取得したい」が4件、「1歳になる前に復帰したい」が1件となっています。



## (12) 子育ての環境や支援について

問 38 子育てに関する情報を誰から（どのように）入手されていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「親族（親、きょうだいなど）」の割合が 65.3% と最も高く、次いで「隣近所の人、知人、友人」の割合が 60.9%、「保育所（保育園）、幼稚園、認定こども園」の割合が 59.9%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「SNS」の割合が増加しています。一方、「隣近所の人、知人、友人」「テレビ、ラジオ、新聞」「子育て雑誌、育児書」の割合が減少しています。

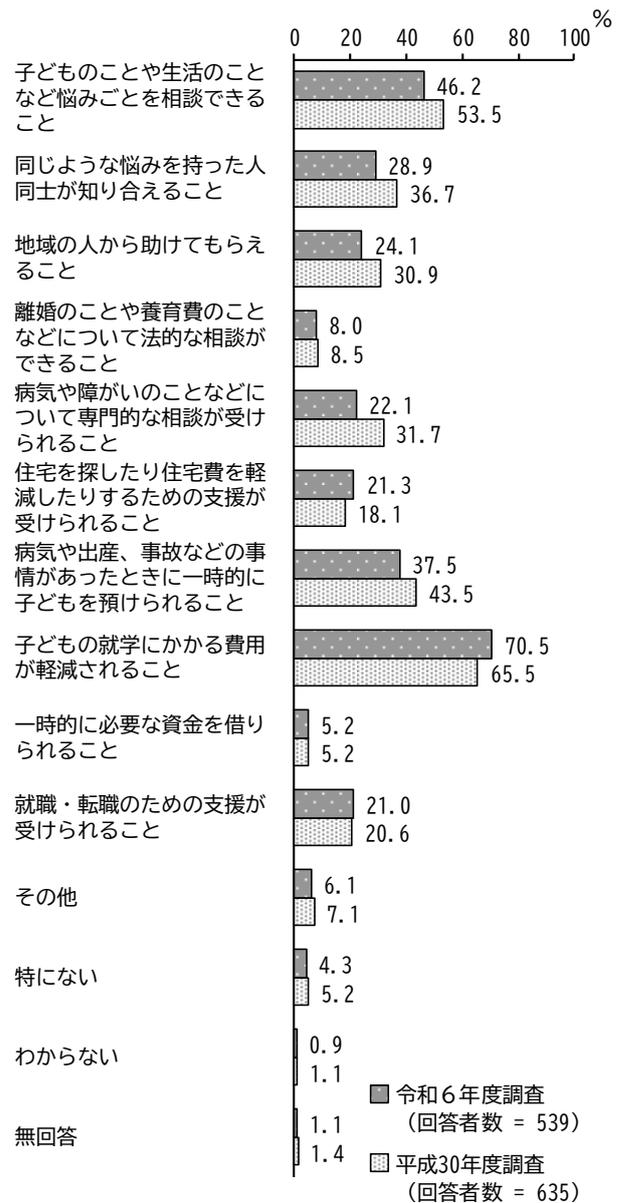


※前回調査では、「親族（親、きょうだいなど）」の選択肢は「親族（親、兄弟など）」となっていました。

問 39 あなたが現在必要としていること、重要だと思う支援等はどのようなものですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が70.5%と最も高く、次いで「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」の割合が46.2%、「病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること」の割合が37.5%となっています。

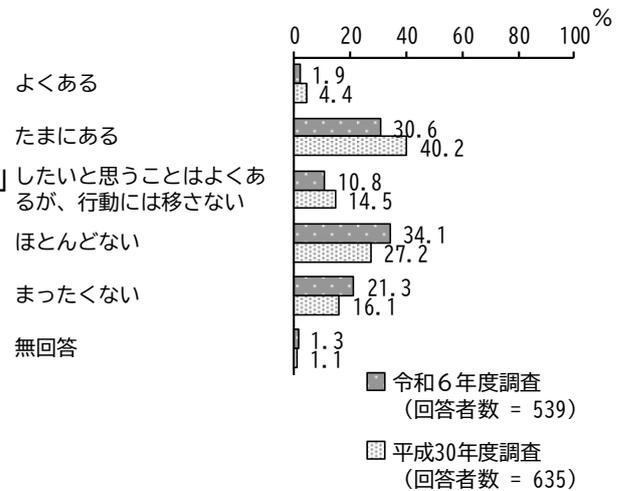
平成30年度調査と比較すると、「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」「同じような悩みを持った人同士が知り合えること」「地域の人から助けられること」「病気や障がいのことなどについて専門的な相談が受けられること」「病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること」の割合が減少しています。



※前回調査では、「病気や障がいのことなどについて専門的な相談が受けられること」の選択肢は「病気や障害のことなどについて専門的な相談が受けられること」となっていました。

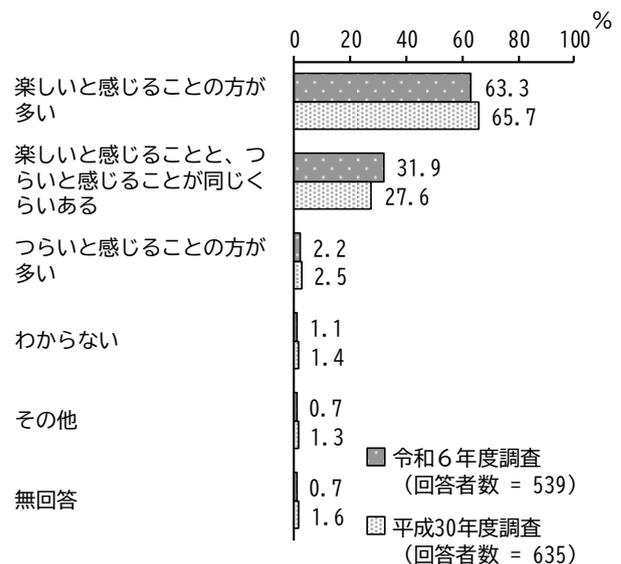
問 40 子どもに対して、思わずたいたり、子どもの心を傷つけてしまうような言動をしたり、子どもの相手や世話をしないことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「ほとんどない」の割合が34.1%と最も高く、次いで「たまにある」の割合が30.6%、「まったくない」の割合が21.3%となっています。平成30年度調査と比較すると、「ほとんどない」「まったくない」の割合が増加しています。一方、「たまにある」の割合が減少しています。



問 41 あなたは、子育てを楽しんでいることが多いと思いますか、それともつらいと感じていることが多いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「楽しいと感じることの方が多い」の割合が63.3%と最も高く、次いで「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらいある」の割合が31.9%となっています。平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

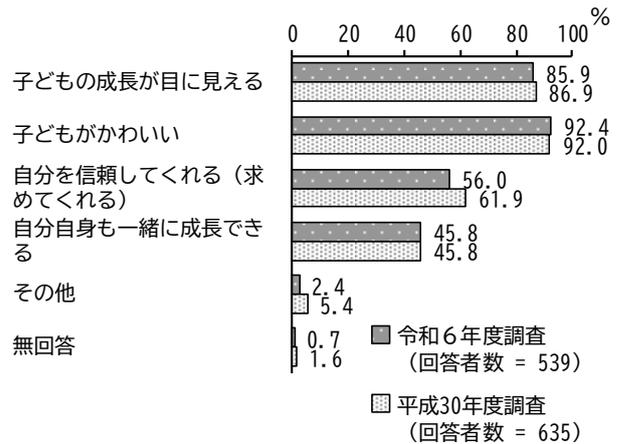


※前回調査では、「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらいある」の選択肢は「楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらいある」、「つらいと感じることの方が多い」の選択肢は「辛いと感じることの方が多い」となっていました。

問 42 あなたが子育てを楽しんでいる理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもがかわいい」の割合が 92.4%と最も高く、次いで「子どもの成長が目に見える」の割合が 85.9%、「自分を信頼してくれる（求めてくれる）」の割合が 56.0%となっています。

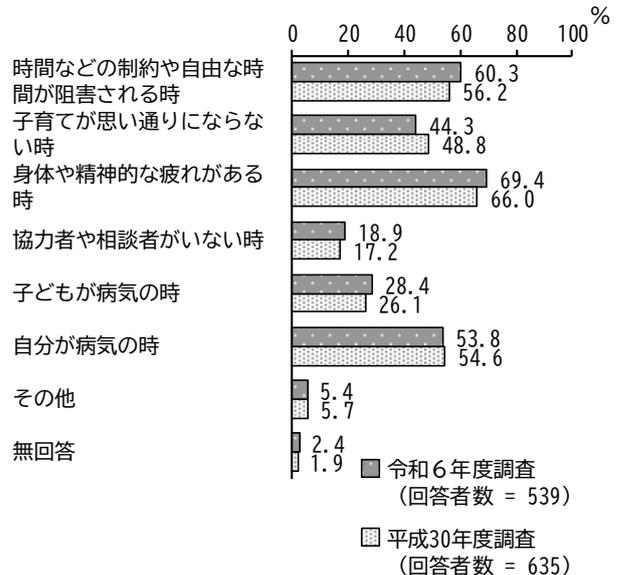
平成 30 年度調査と比較すると、「自分を信頼してくれる（求めてくれる）」の割合が減少しています。



問 43 あなたが子育てが辛いと思う時はどのような時ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

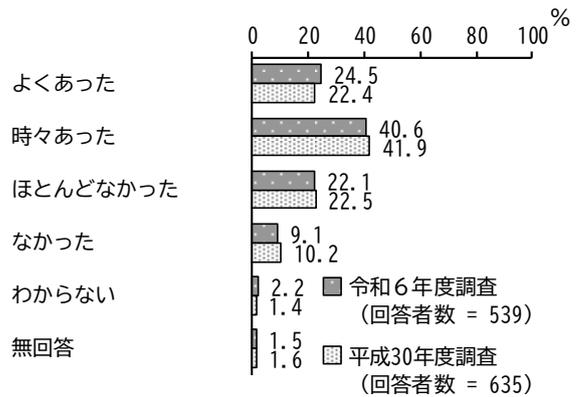
「身体や精神的な疲れがある時」の割合が 69.4%と最も高く、次いで「時間などの制約や自由な時間が阻害される時」の割合が 60.3%、「自分が病気の時」の割合が 53.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



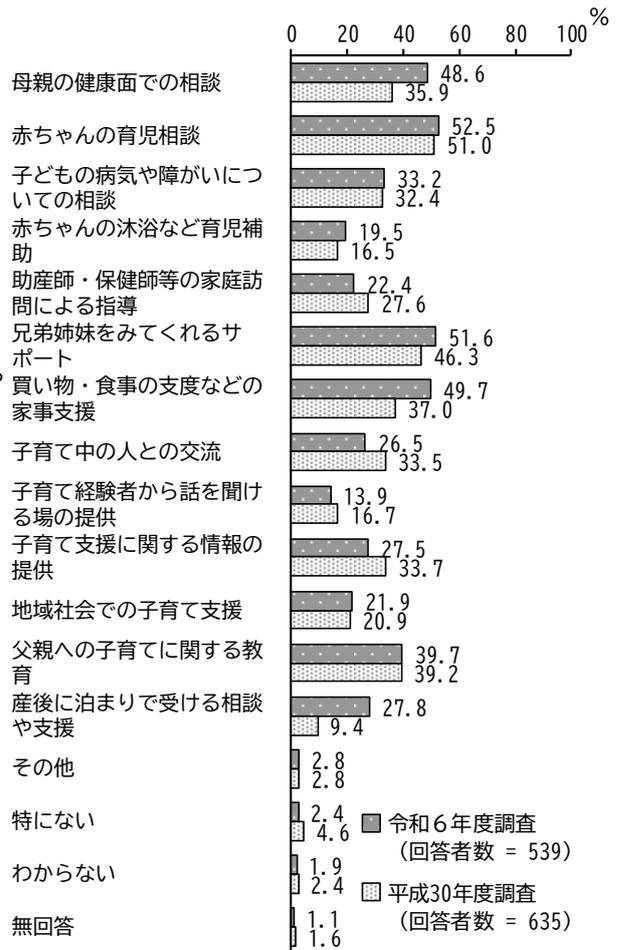
問 44 妊娠中、あるいは出産後おおむね1年程度の間に、宛名のお子さんの母親がいら  
いらしたりストレスを抱え誰かに助けしてほしいと思ったりしたことはありました  
か。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「時々あった」の割合が40.6%と最も高く、次  
いで「よくあった」の割合が24.5%、「ほとんど  
なかった」の割合が22.1%となっています。  
平成30年度調査と比較すると、大きな変化は  
みられません。



問 45 妊娠中や出産後のサポートとして、特にどのようなサービスが必要だと思います  
か。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

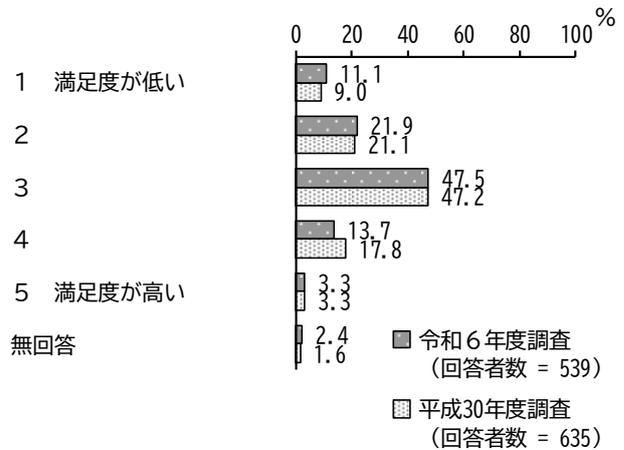
「赤ちゃんの育児相談」の割合が52.5%と最も  
高く、次いで「兄弟姉妹をみてるサポート」  
の割合が51.6%、「買い物・食事の支度などの家  
事支援」の割合が49.7%となっています。  
平成30年度調査と比較すると、「母親の健康面  
での相談」「兄弟姉妹をみてるサポート」「買  
い物・食事の支度などの家事支援」「産後に泊ま  
りで受ける相談や支援」の割合が増加してい  
ます。一方、「助産師・保健師等の家庭訪問による指導」  
「子育て中の人との交流」「子育て支援に関する  
情報の提供」の割合が減少しています。



※前回調査では、「子どもの病気や障がいについての相談」の選択肢は「子どもの病気や障害についての相談」となっていました。

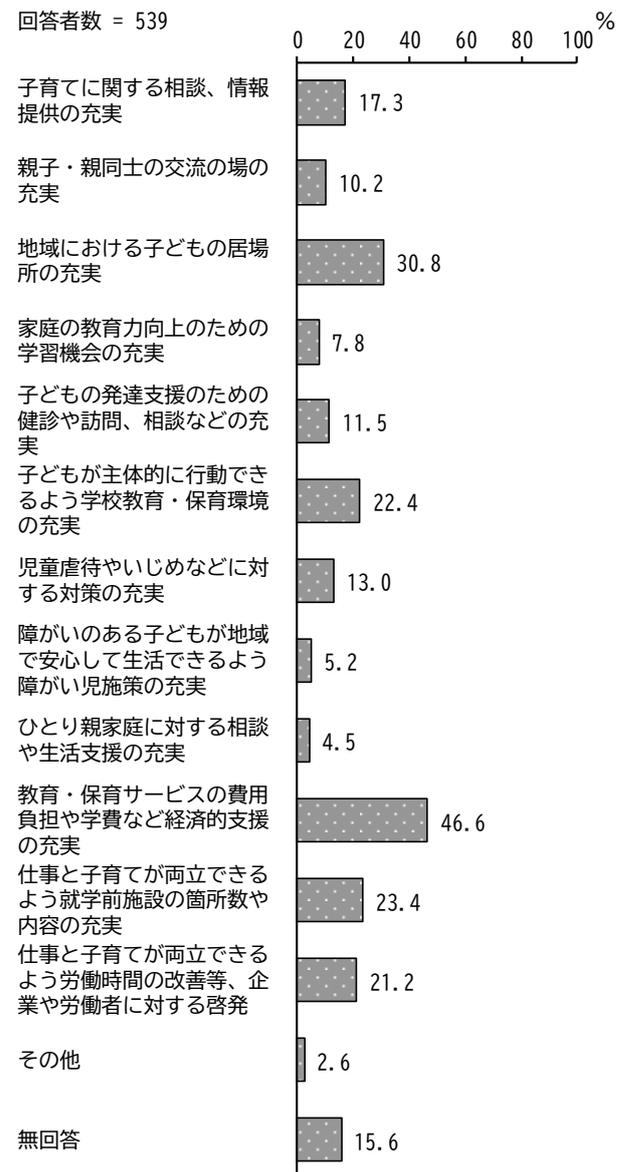
問 46 現在、本市においては、様々な子育て支援の取り組みを行っておりますが、本市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

「3」の割合が47.5%と最も高く、次いで「2」の割合が21.9%、「4」の割合が13.7%となっています。  
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 47 お子さんの子育てに関して、常滑市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実」の割合が46.6%と最も高く、次いで「地域における子どもの居場所の充実」の割合が30.8%、「仕事と子育てが両立できるよう就学前施設の箇所数や内容の充実」の割合が23.4%となっています。



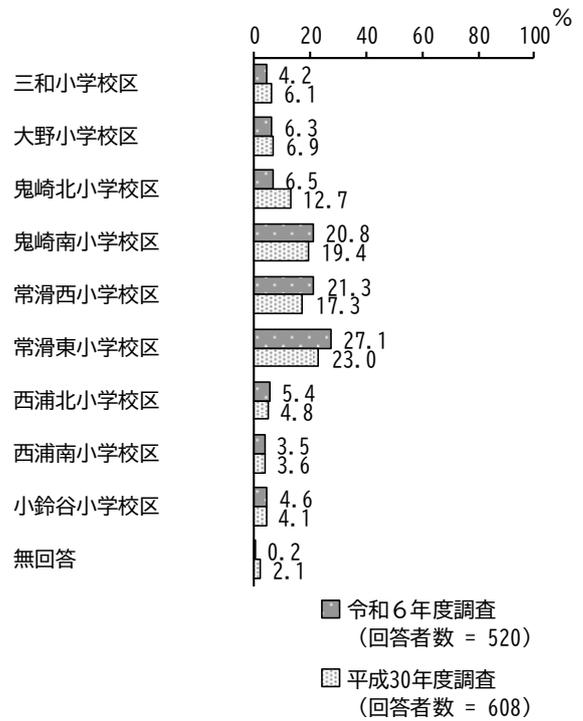
## 2 小学生保護者

### (1) お住まいの地域について

問1 宛名のお子さんの現在の小学校区の番号1つに○をつけてください。

「常滑東小学校区」の割合が27.1%と最も高く、次いで「常滑西小学校区」の割合が21.3%、「鬼崎南小学校区」の割合が20.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「鬼崎北小学校区」の割合が減少しています。

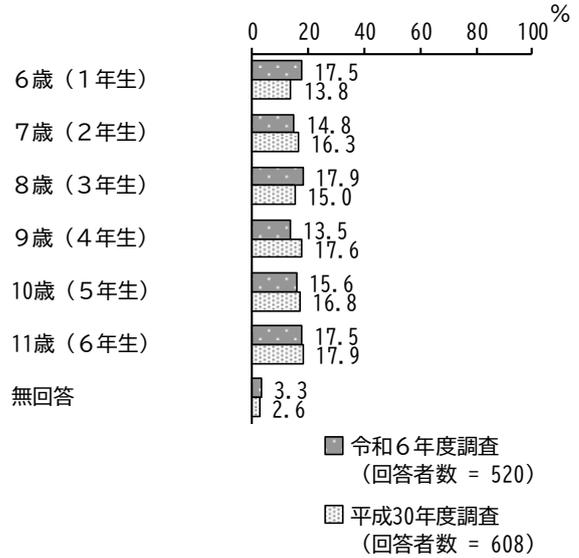


## (2) お子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください  
(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)。

「8歳(3年生)」の割合が17.9%と最も高く、次いで「6歳(1年生)」、「11歳(6年生)」の割合が17.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

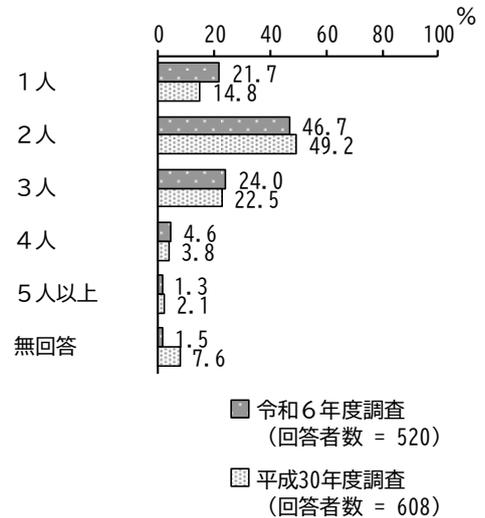


問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

### きょうだい数

「2人」の割合が46.7%と最も高く、次いで「3人」の割合が24.0%、「1人」の割合が21.7%となっています。

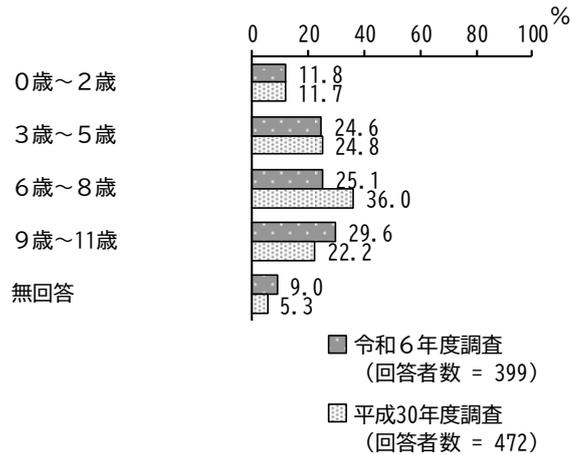
平成30年度調査と比較すると、「1人」の割合が増加しています。



## 未子の年齢

「9歳～11歳」の割合が29.6%と最も高く、次いで「6歳～8歳」の割合が25.1%、「3歳～5歳」の割合が24.6%となっています。

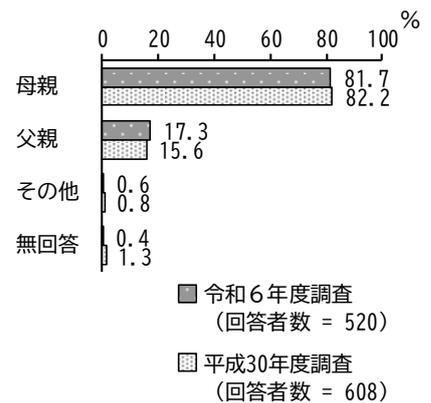
平成30年度調査と比較すると、「9歳～11歳」の割合が増加しています。一方、「6歳～8歳」の割合が減少しています。



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が81.7%、「父親」の割合が17.3%となっています。

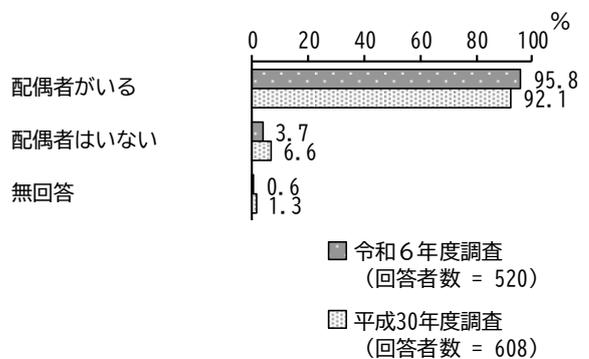
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

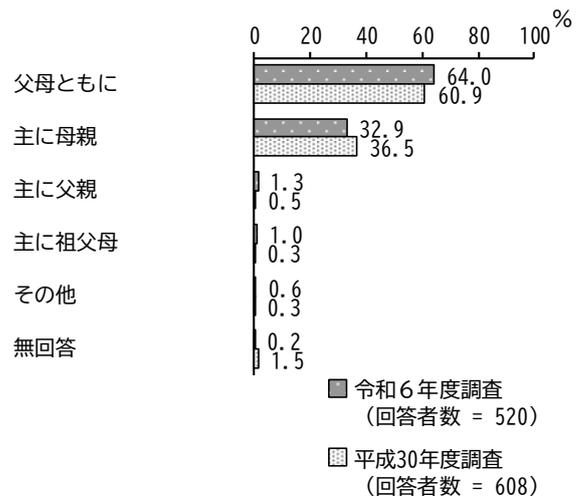
「配偶者がいる」の割合が95.8%、「配偶者がいない」の割合が3.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

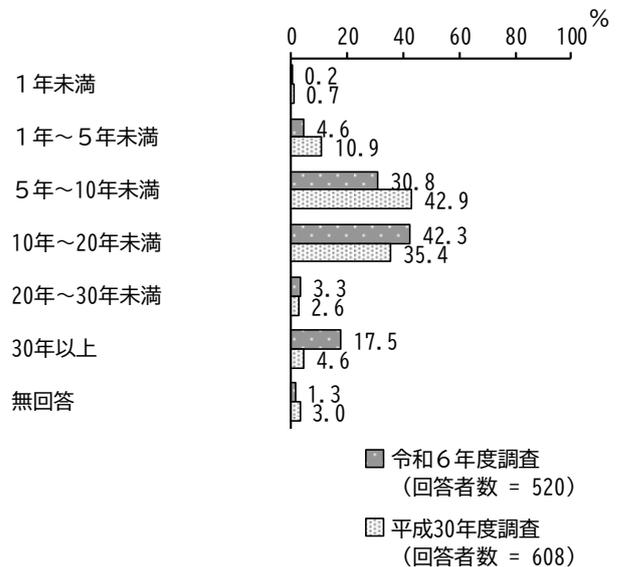
「父母ともに」の割合が64.0%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が32.9%となっています。平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問7 この調査票にご回答いただいている方について、現在の地域にお住まいの年数をお答えください。また、生まれた時から現在の地域にお住まいかどうかをお答えください。(居住年数は数字で記入、選択肢の1つに○)

現在の地域での居住年数

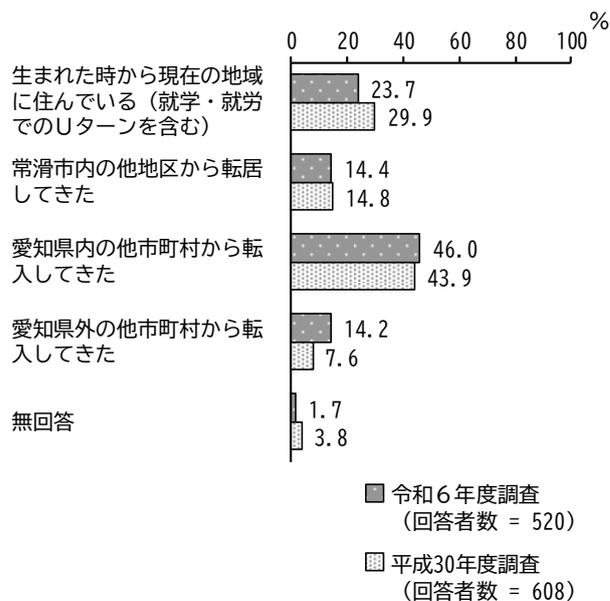
「10年～20年未満」の割合が42.3%と最も高く、次いで「5年～10年未満」の割合が30.8%、「30年以上」の割合が17.5%となっています。平成30年度調査と比較すると、「10年～20年未満」「30年以上」の割合が増加しています。一方、「1年～5年未満」「5年～10年未満」の割合が減少しています。



## いつから住んでいるか

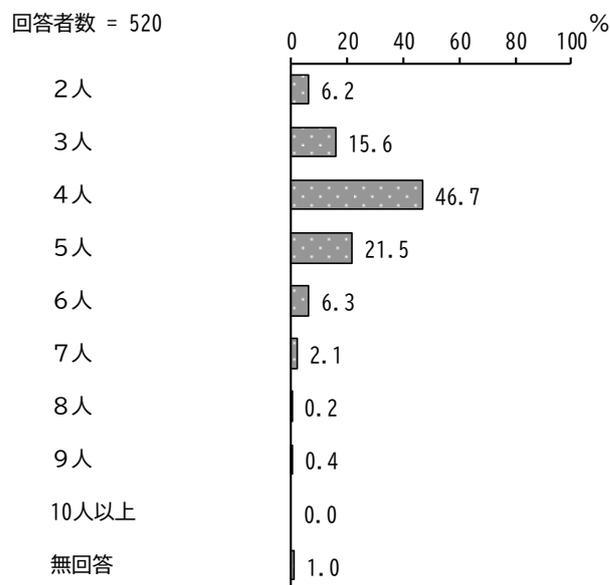
「愛知県内の他市町村から転入してきた」の割合が46.0%と最も高く、次いで「生まれた時から現在の地域に住んでいる（就学・就労でのUターンを含む）」の割合が23.7%、「常滑市内の他地区から転居してきた」の割合が14.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「愛知県外の他市町村から転入してきた」の割合が増加しています。一方、「生まれた時から現在の地域に住んでいる（就学・就労でのUターンを含む）」の割合が減少しています。



問8 宛名のお子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。  
 （単身赴任や学業のために世帯を離れている方がいる場合には、その方を含めたご家族の人数を教えてください。）

「4人」の割合が46.7%と最も高く、次いで「5人」の割合が21.5%、「3人」の割合が15.6%となっています。

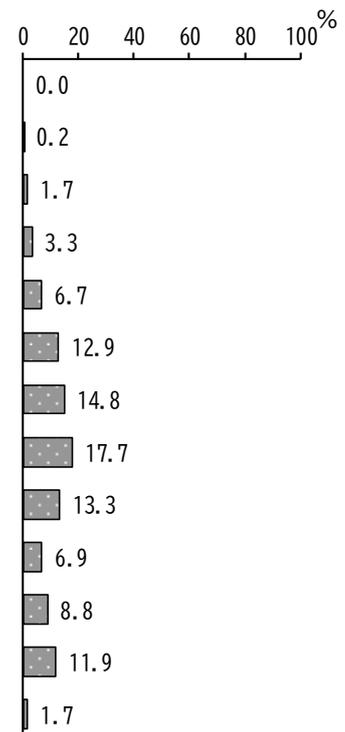


問9 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「600～700万円未満」の割合が17.7%と最も高く、次いで「500～600万円未満」の割合が14.8%、「700～800万円未満」の割合が13.3%となっています。

回答者数 = 520

50万円未満  
50～100万円未満  
100～200万円未満  
200～300万円未満  
300～400万円未満  
400～500万円未満  
500～600万円未満  
600～700万円未満  
700～800万円未満  
800～900万円未満  
900～1,000万円未満  
1,000万円以上  
無回答

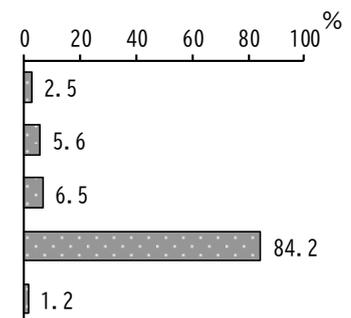


問10 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「まったくなかった」の割合が84.2%と最も高くなっています。

回答者数 = 520

よくあった  
ときどきあった  
まれにあった  
まったくなかった  
無回答

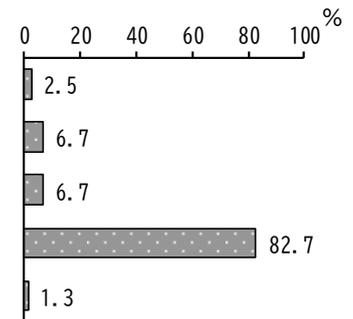


問11 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「まったくなかった」の割合が82.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 520

よくあった  
ときどきあった  
まれにあった  
まったくなかった  
無回答

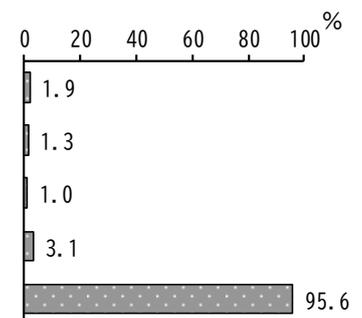


問12 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「無回答」の割合が95.6%と最も高くなっています。

回答者数 = 520

電気料金  
ガス料金  
水道料金  
携帯電話料金  
無回答

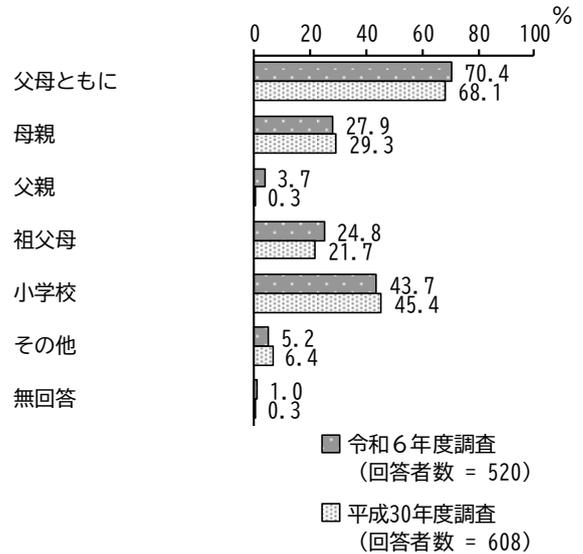


### (3) 子どもの育ちをめぐる環境について

問13 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「父母ともに」の割合が70.4%と最も高く、次いで「小学校」の割合が43.7%、「母親」の割合が27.9%となっています。

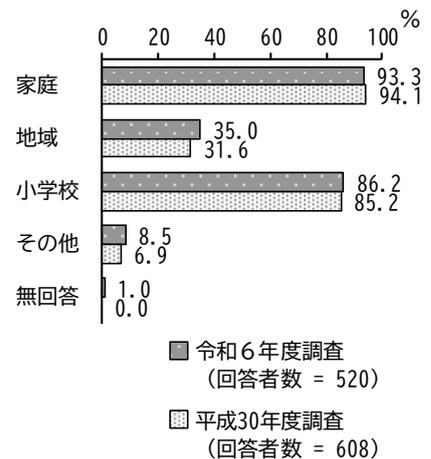
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問14 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

「家庭」の割合が93.3%と最も高く、次いで「小学校」の割合が86.2%、「地域」の割合が35.0%となっています。

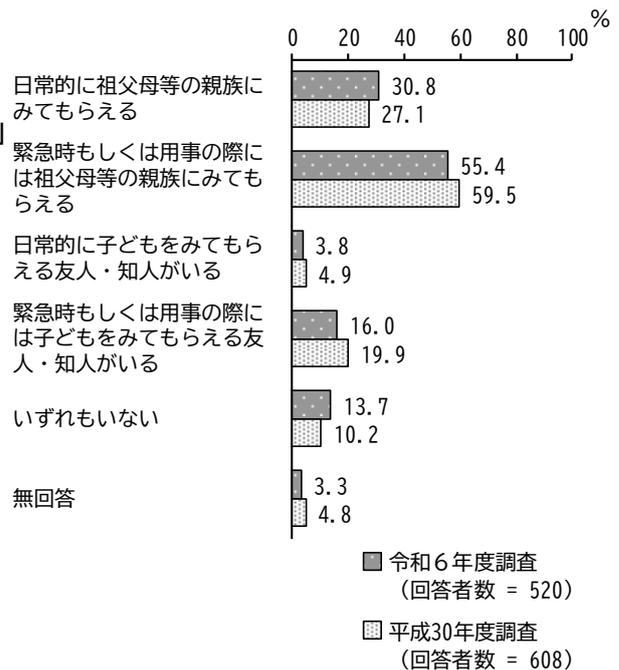
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問15 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が55.4%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が30.8%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が16.0%となっています。

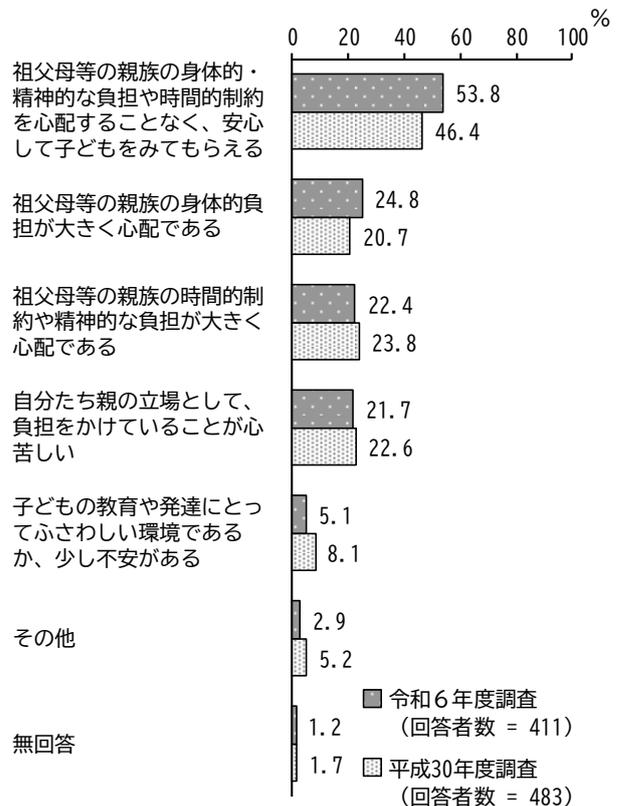
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問15-1 問15で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が53.8%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が24.8%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が22.4%となっています。

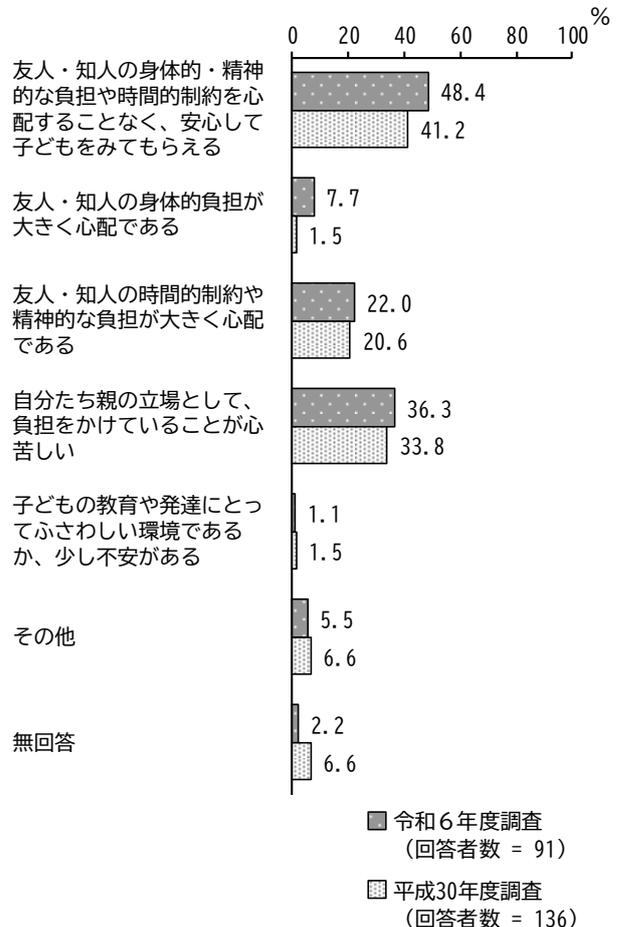
平成30年度調査と比較すると、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が増加しています。



問 15-2 問 15 で「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が 48.4%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が 36.3%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が 22.0%となっています。

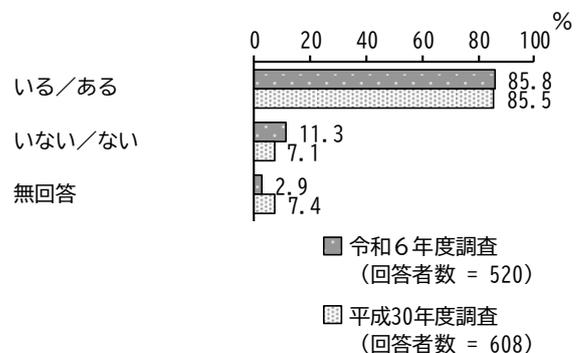
平成 30 年度調査と比較すると、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」の割合が増加しています。



問 16 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いる／ある」の割合が 85.8%、「いない／ない」の割合が 11.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、7歳（2年生）で「いる／ある」の割合が高くなっています。

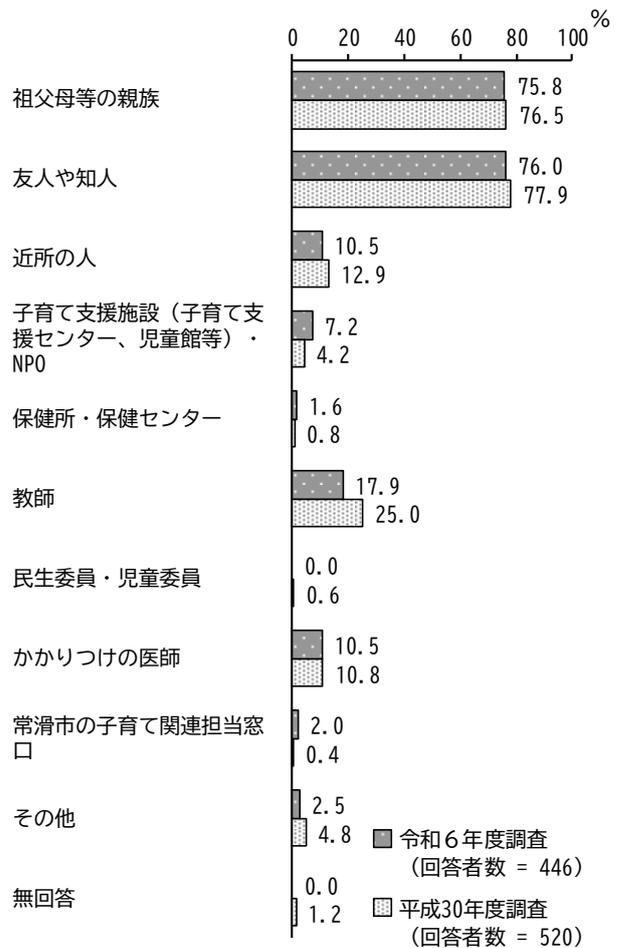
単位：％

区分	回答者数 (件)	いる／ある	いない／ない	無回答
全 体	520	85.8	11.3	2.9
6歳（1年生）	91	89.0	8.8	2.2
7歳（2年生）	77	93.5	6.5	—
8歳（3年生）	93	83.9	11.8	4.3
9歳（4年生）	70	81.4	17.1	1.4
10歳（5年生）	81	84.0	12.3	3.7
11歳（6年生）	91	83.5	13.2	3.3

問16-1 問16で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人や知人」の割合が76.0%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が75.8%、「教師」の割合が17.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「教師」の割合が減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、7歳（2年生）で「祖父母等の親族」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	子育て支援施設（子育て支援センター、児童館等）・NPO	保健所・保健センター	教師	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	常滑市の子育て関連担当窓口	その他	無回答
全 体	446	75.8	76.0	10.5	7.2	1.6	17.9	－	10.5	2.0	2.5	－
6歳（1年生）	81	72.8	80.2	14.8	11.1	3.7	14.8	－	9.9	3.7	1.2	－
7歳（2年生）	72	86.1	77.8	18.1	12.5	4.2	11.1	－	12.5	2.8	2.8	－
8歳（3年生）	78	76.9	65.4	10.3	5.1	－	14.1	－	7.7	－	2.6	－
9歳（4年生）	57	80.7	71.9	7.0	5.3	－	19.3	－	8.8	－	1.8	－
10歳（5年生）	68	63.2	82.4	4.4	4.4	－	23.5	－	13.2	2.9	2.9	－
11歳（6年生）	76	76.3	76.3	9.2	3.9	1.3	23.7	－	11.8	1.3	2.6	－

問 17 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。自由にお書きください。

<主な意見>

- ・子供達が主となるイベントがもっとあるといいと思います。
- ・子育て支援センターで気軽に相談できているので充分助かっています。
- ・悩みがある時に相談できる体制があればよいと思います。
- ・学校での様子がもっと知りたい。様子が分かれば家で褒めたり注意したりできるから。保育園の時は先生たちから様子を聞く機会が多かったが、小学生になると途端に減ってしまう。
- ・宿題をサポートしてくれる場所があれば良いと思います。
- ・病児保育をしている病院がもっと増えるといいと思います。
- ・夏休み期間学童を利用しているが自分の仕事の変則的な勤務の為にお弁当を作るのが大変です。早番だと3時半に起きて作らないと間に合わず。夜勤明けではお弁当は作れないためお昼にはお迎えに行ったりしている。そんな日は保育園の様な簡易的な食事を提供してもらえるといいなと思う。お弁当が作れる日はお弁当を持たせるので難しい時にはどちらかを選択できる様にするとか。
- ・安心して預けられる学童の環境。宿題をサポートしてくれる。高学年になっても預けられる。大規模ではなく、もう少し小規模で目が行き届いた環境。
- ・仕事をさがしている人でも利用できるような学童（公共の）をして欲しい。学童の先生をもっと増やして欲しい（人員の増加）。定員いっぱい近くで学童へ入れないので。
- ・小学校高学年や中学生でも、学校終了後に預かってもらえる場所があるとよいと思う（希望する児童クラブに入れなため）。親が帰宅するまでの時間留守番しているが、災害時心配な面がある。津波などがきた場合に子どもだけで逃げられるか心配。

#### (4) お子さんの保護者の就労状況について

宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

問 18 (1) 母親 【父子家庭の場合は記入不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 40.9%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 33.9%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 20.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。一方、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が減少しています。

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

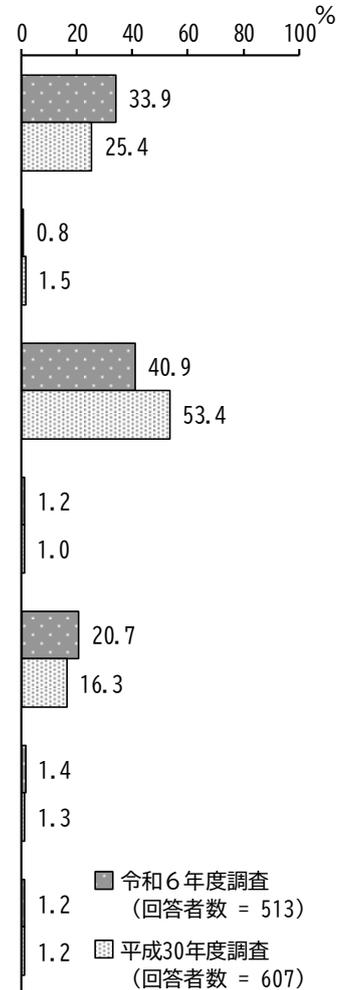
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない

パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

以前は就労していたが、現在は就労していない

これまで就労したことがない

無回答



問 18 (1) - 1 問 18 (1) で「1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」～「4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。土曜日、日曜日、祝日の就労状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「休み」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「土曜日に就労している」の割合が 32.5%、「祝日に就労している」の割合が 25.4%となっています。

回答者数 = 394

休み

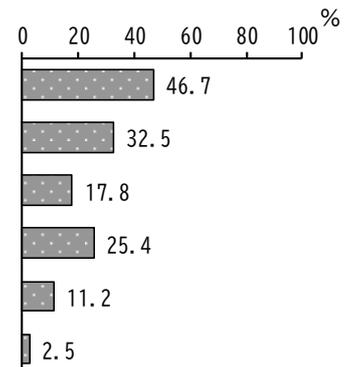
土曜日に就労している

日曜日に就労している

祝日に就労している

その他

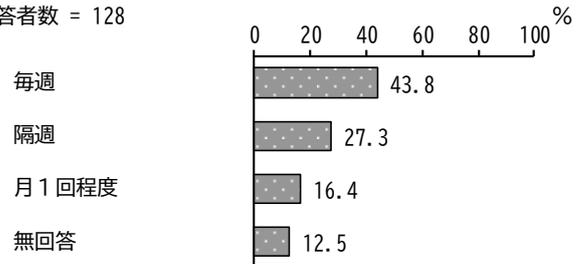
無回答



### 土曜日頻度

「毎週」の割合が 43.8%と最も高く、次いで「隔週」の割合が 27.3%、「月1回程度」の割合が 16.4%となっています。

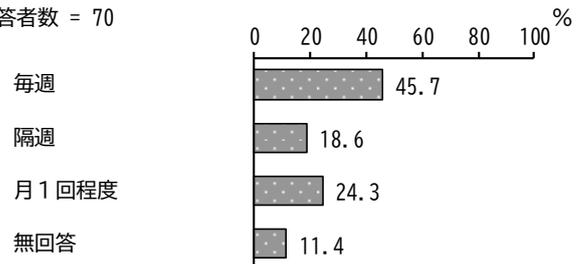
回答者数 = 128



### 日曜日頻度

「毎週」の割合が 45.7%と最も高く、次いで「月1回程度」の割合が 24.3%、「隔週」の割合が 18.6%となっています。

回答者数 = 70

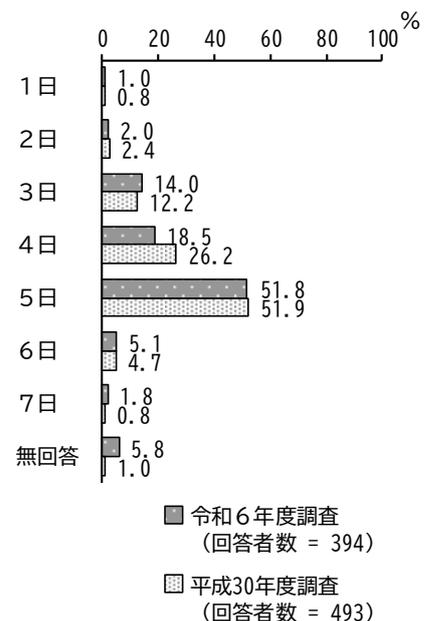


問 18 (1) - 2 問 18 (1) で「1. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」～「4. パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外の就労) で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間 (残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください (□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)。

### 1週当たりの就労日数

「5日」の割合が 51.8%と最も高く、次いで「4日」の割合が 18.5%、「3日」の割合が 14.0%となっています。

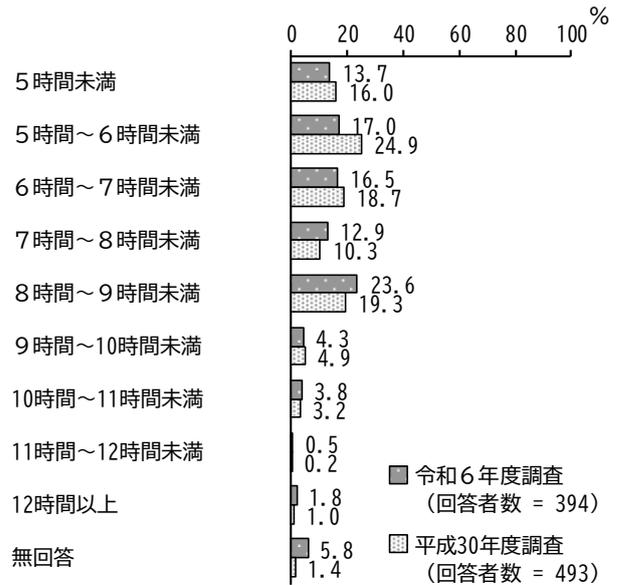
平成 30 年度調査と比較すると、「4日」の割合が減少しています。



## 1日当たりの就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が23.6%と最も高く、次いで「5時間～6時間未満」の割合が17.0%、「6時間～7時間未満」の割合が16.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「5時間～6時間未満」の割合が減少しています。

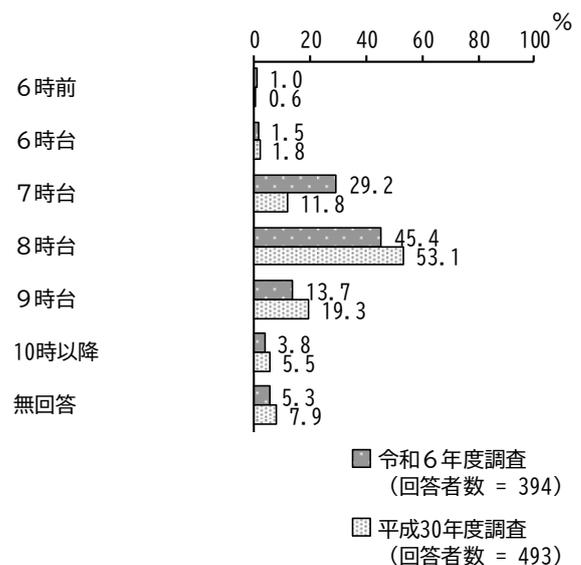


問18(1) - 3 問18(1)で「1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」～「4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず「(例)08時、18時」のように、24時間制でお答えください(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)。

## 家を出る時刻

「8時台」の割合が45.4%と最も高く、次いで「7時台」の割合が29.2%、「9時台」の割合が13.7%となっています。

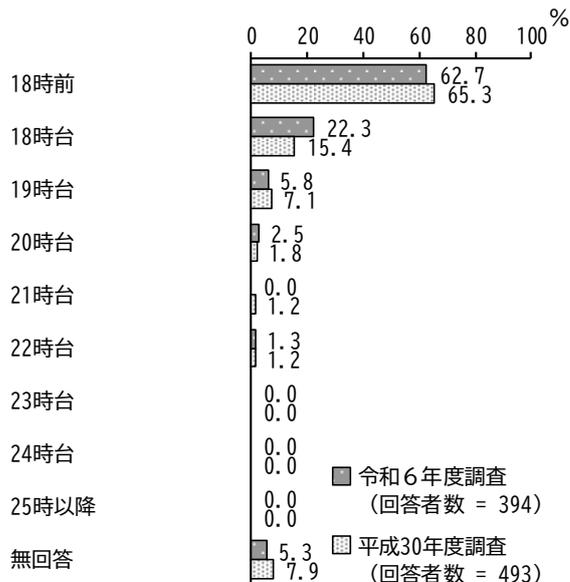
平成30年度調査と比較すると、「7時台」の割合が増加しています。一方、「8時台」「9時台」の割合が減少しています。



## 帰宅時刻

「18 時前」の割合が 62.7%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 22.3%となっています。

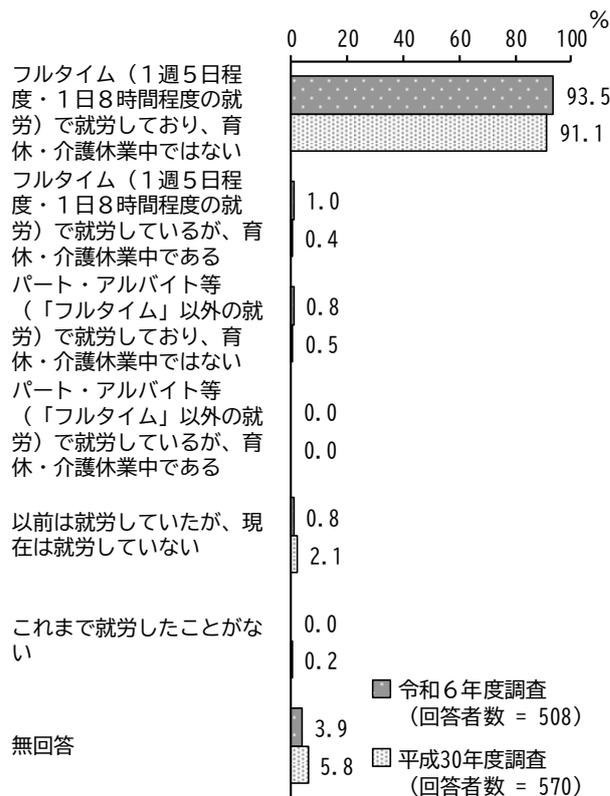
平成 30 年度調査と比較すると、「18 時台」の割合が増加しています。



問 18 (2) 父親 【母子家庭の場合は記入不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が 93.5%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

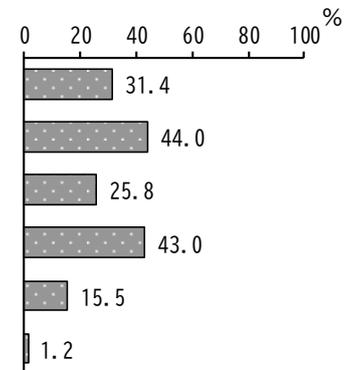


問18(2)-1 問18(2)で「1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない」～「4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。土曜日、日曜日、祝日の就労状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「土曜日に就労している」の割合が44.0%と最も高く、次いで「祝日に就労している」の割合が43.0%、「休み」の割合が31.4%となっています。

回答者数 = 484

休み  
土曜日に就労している  
日曜日に就労している  
祝日に就労している  
その他  
無回答

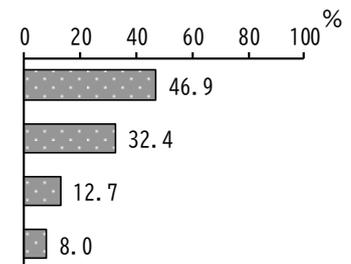


#### 土曜日頻度

「毎週」の割合が46.9%と最も高く、次いで「隔週」の割合が32.4%、「月1回程度」の割合が12.7%となっています。

回答者数 = 213

毎週  
隔週  
月1回程度  
無回答

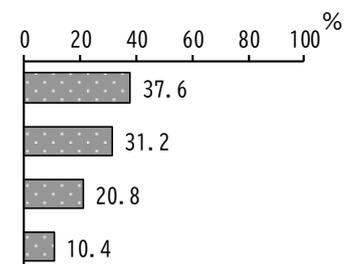


#### 日曜日頻度

「毎週」の割合が37.6%と最も高く、次いで「隔週」の割合が31.2%、「月1回程度」の割合が20.8%となっています。

回答者数 = 125

毎週  
隔週  
月1回程度  
無回答



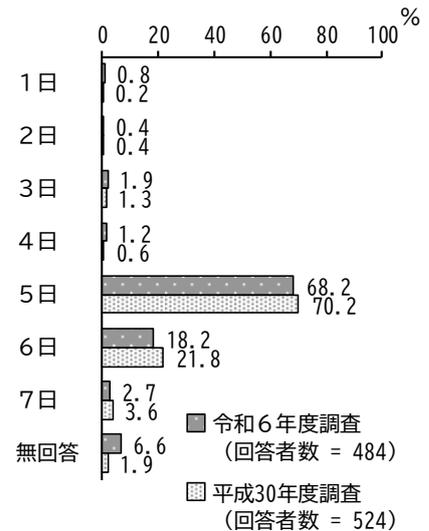
問18(2)-2 問18(2)で「1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない」～「4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)。

### 1週当たりの就労日数

「5日」の割合が68.2%と最も高く、次いで

「6日」の割合が18.2%となっています。

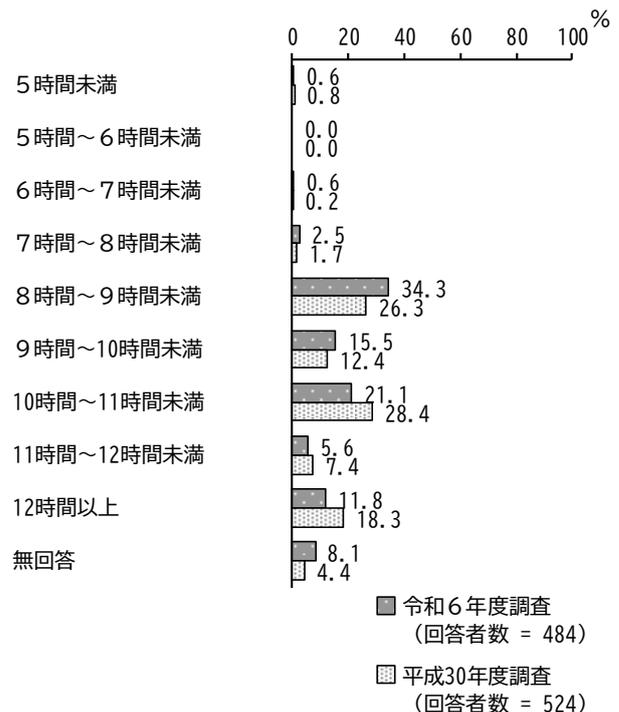
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 1日当たりの就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が34.3%と最も高く、次いで「10時間～11時間未満」の割合が21.1%、「9時間～10時間未満」の割合が15.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8時間～9時間未満」の割合が増加しています。一方、「10時間～11時間未満」「12時間以上」の割合が減少しています。

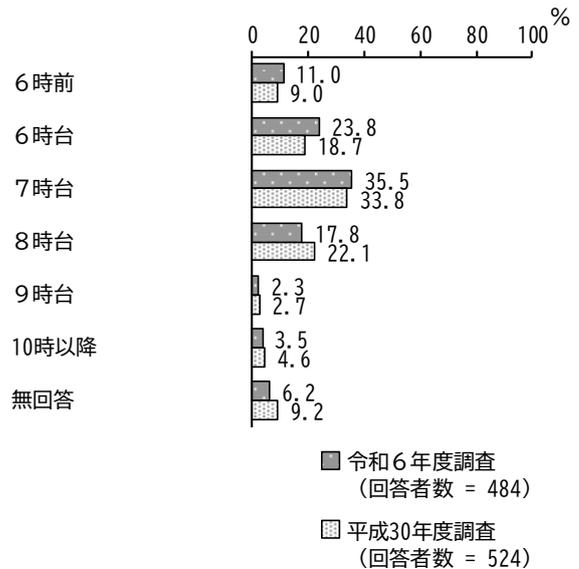


問18(2)-3 問18(2)で「1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない」～「4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず「(例)08時、18時」のように、24時間制でお答えください(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)。

### 家を出る時刻

「7時台」の割合が35.5%と最も高く、次いで「6時台」の割合が23.8%、「8時台」の割合が17.8%となっています。

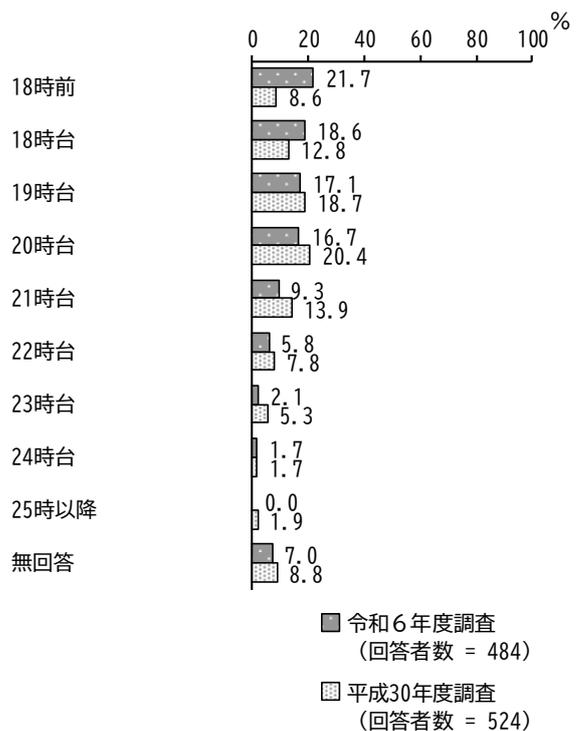
平成30年度調査と比較すると、「6時台」の割合が増加しています。



### 帰宅時刻

「18時前」の割合が21.7%と最も高く、次いで「18時台」の割合が18.6%、「19時台」の割合が17.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「18時前」「18時台」の割合が増加しています。

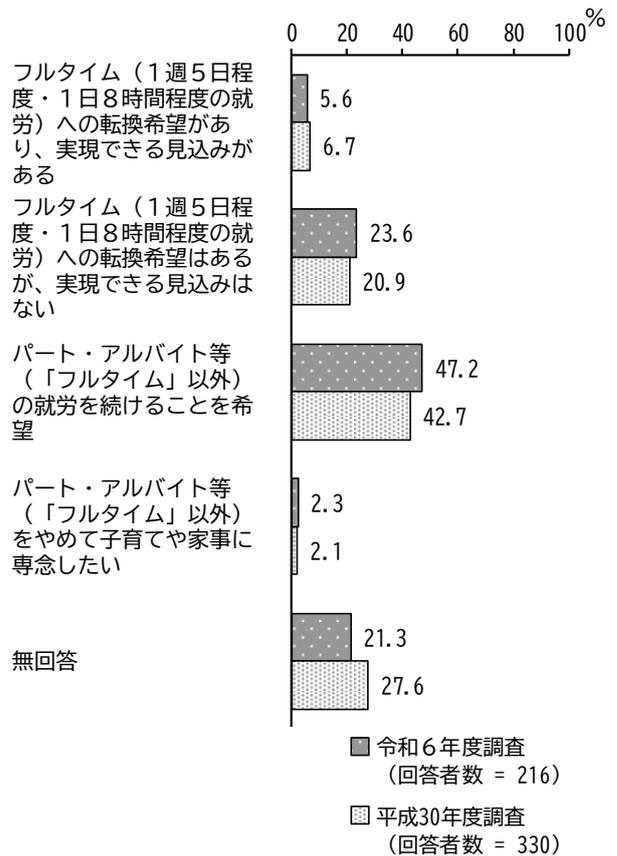


問19 問18(1)または問18(2)で「3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問21へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。  
①母親、②父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

①母親

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が47.2%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が23.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



## ②父親

「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が1件となっています。

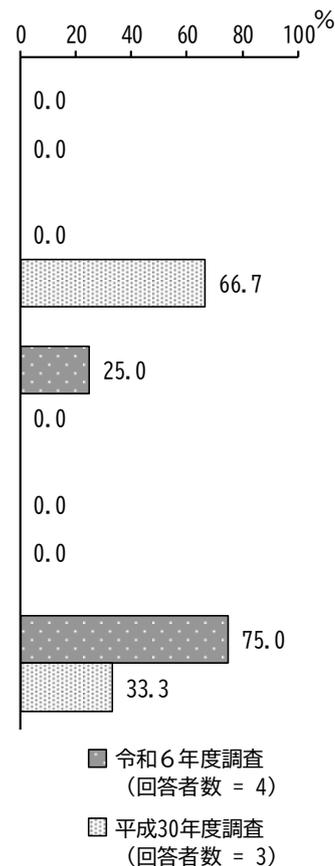
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない

パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望

パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

無回答



問20 問18（1）または問18（2）で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問21へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。

### （1）母親

「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が31.0%と最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が23.9%となっています。

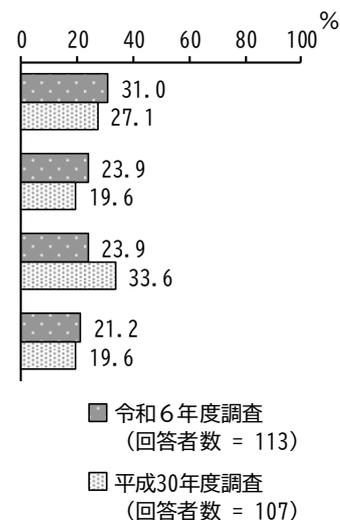
平成30年度調査と比較すると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が減少しています。

子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい

すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

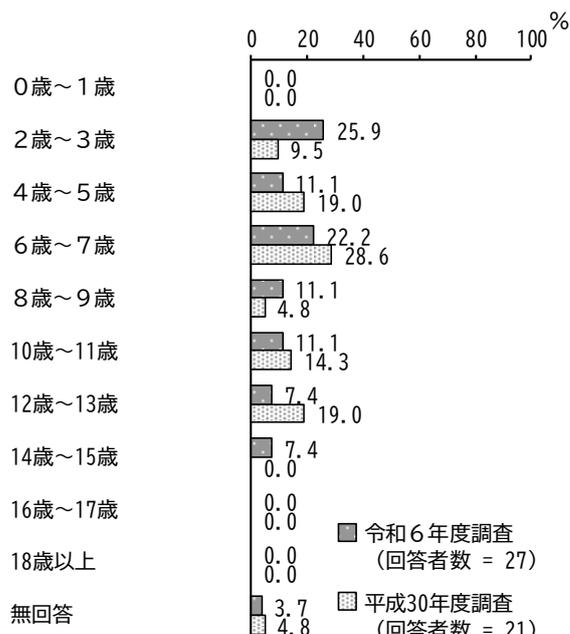
無回答



## 就労したいときの末子の年齢

「2歳～3歳」の割合が25.9%と最も高く、次いで「6歳～7歳」の割合が22.2%、「4歳～5歳」、「8歳～9歳」、「10歳～11歳」の割合が11.1%となっています。

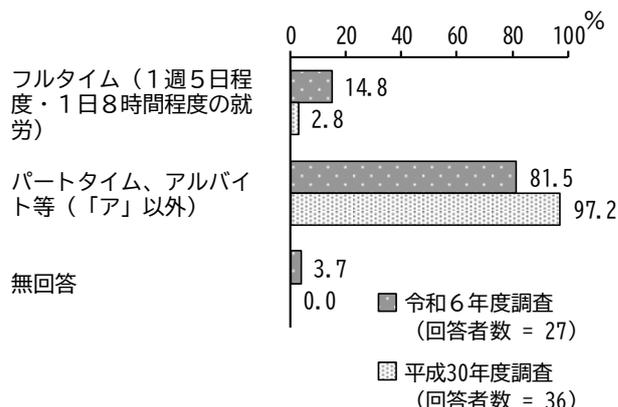
平成30年度調査と比較すると、「2歳～3歳」「8歳～9歳」「14歳～15歳」の割合が増加しています。一方、「4歳～5歳」「6歳～7歳」「12歳～13歳」の割合が減少しています。



## 希望する就労形態

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が14.8%、「パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）」の割合が81.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が増加しています。一方、「パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）」の割合が減少しています。

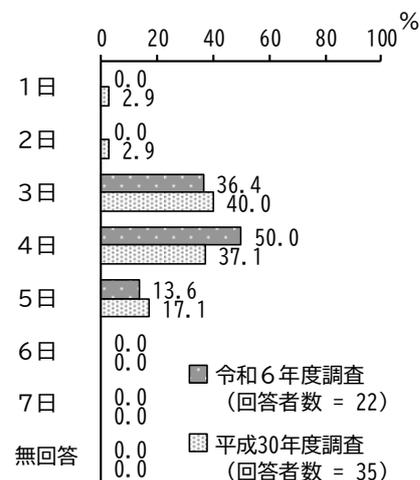


## イ. パートタイム、アルバイト等

### 1週当たりの希望就労日数

「4日」の割合が50.0%と最も高く、次いで「3日」の割合が36.4%、「5日」の割合が13.6%となっています。

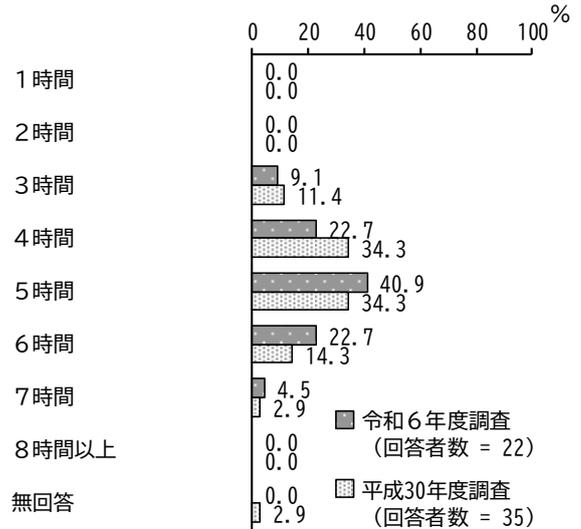
平成30年度調査と比較すると、「4日」の割合が増加しています。



## 1日当たりの希望就労時間

「5時間」の割合が40.9%と最も高く、次いで「4時間」、「6時間」の割合が22.7%となっています。

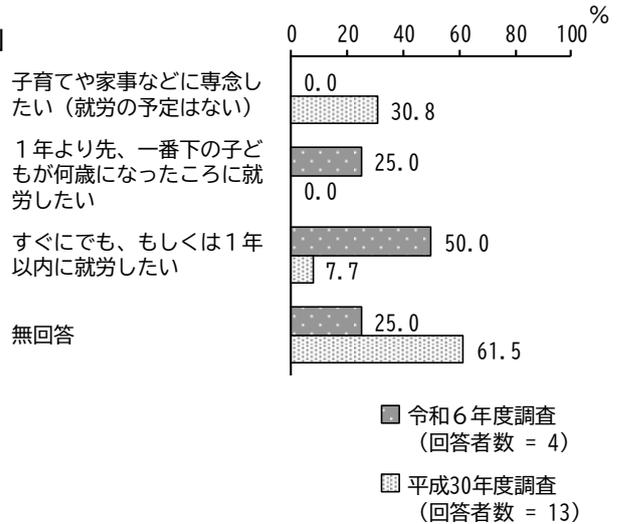
平成30年度調査と比較すると、「5時間」「6時間」の割合が増加しています。一方、「4時間」の割合が減少しています。



## (2) 父親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が2件となっています。「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」が1件となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が増加しています。一方、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が減少しています。

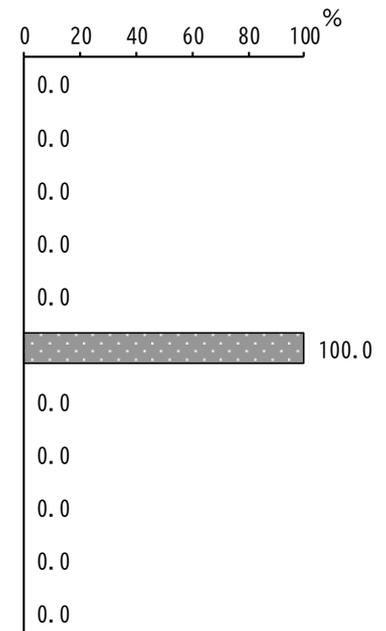


### 就労したいときの末子の年齢

「10歳～11歳」が1件となっています。

回答者数 = 1

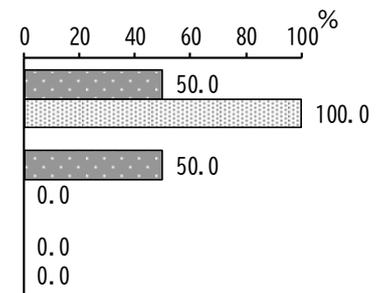
0歳～1歳  
2歳～3歳  
4歳～5歳  
6歳～7歳  
8歳～9歳  
10歳～11歳  
12歳～13歳  
14歳～15歳  
16歳～17歳  
18歳以上  
無回答



### 希望する就労形態

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が1件、「パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）」が1件となっています。

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）  
パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）  
無回答



■ 令和6年度調査  
(回答者数 = 2)  
▨ 平成30年度調査  
(回答者数 = 1)

### イ. パートタイム、アルバイト等

#### 1週当たりの希望就労日数

有効回答がありませんでした。

#### 1日当たりの希望就労時間

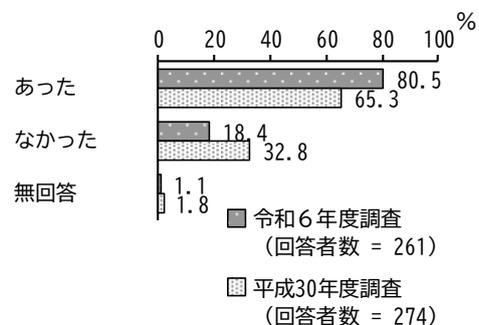
有効回答がありませんでした。

## (5) お子さんの病気の際の対応について

問 21 宛名のお子さんが小学校低学年（1～3年生）の保護者の方にうかがいます。宛名のお子さんが小学校高学年（4～6年生）の保護者の方は、問 22 にお進みください。この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「あった」の割合が80.5%、「なかった」の割合が18.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「あった」の割合が増加しています。一方、「なかった」の割合が減少しています。



### 【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、6歳（1年生）で「なかった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	あった	なかった	無回答
全 体	261	80.5	18.4	1.1
6歳（1年生）	91	59.3	39.6	1.1
7歳（2年生）	77	90.9	9.1	—
8歳（3年生）	93	92.5	5.4	2.2
9歳（4年生）	—	—	—	—
10歳（5年生）	—	—	—	—
11歳（6年生）	—	—	—	—

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、大きな差はみられません。

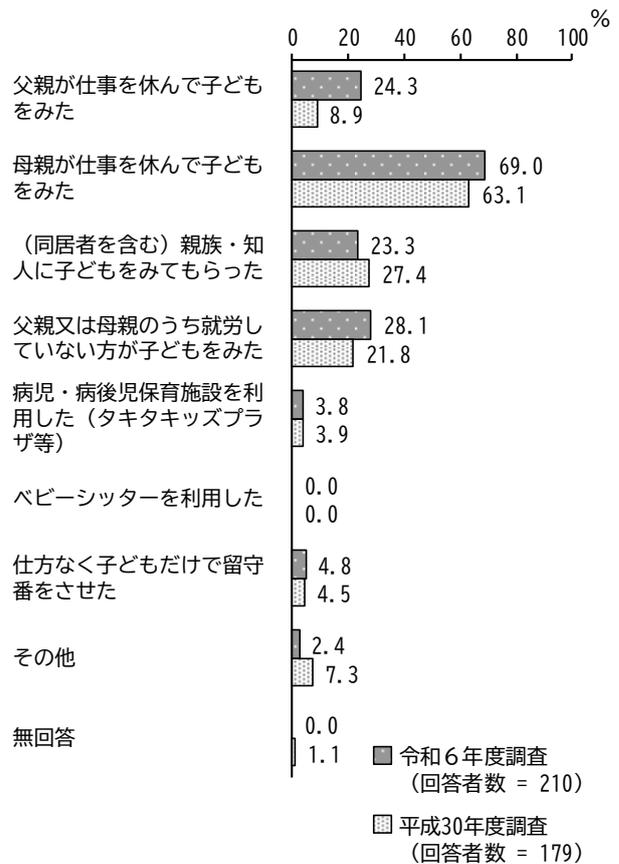
単位：％

区分	回答者数 (件)	あった	なかった	無回答
全 体	261	80.5	18.4	1.1
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	84	81.0	19.0	—
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	100.0	—	—
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	102	79.4	18.6	2.0
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	50.0	50.0	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	61	83.6	14.8	1.6
これまで就労したことがない	4	75.0	25.0	—

問 21-1 宛名のお子さんが病気やけがで学校を休んだ場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください  
(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一桁に一字)。

「母親が仕事を休んで子どもをみた」の割合が69.0%と最も高く、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が28.1%、「父親が仕事を休んで子どもをみた」の割合が24.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父親が仕事を休んで子どもをみた」「母親が仕事を休んで子どもをみた」「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が増加しています。



※前回調査では、「父親が休んだ」の選択肢は「父親が仕事を休んで子どもをみた」、「母親が休んだ」の選択肢は「母親が仕事を休んで子どもをみた」となっていました。

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、6歳（1年生）で「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	父親が仕事を休んで子どもをみた	母親が仕事を休んで子どもをみた	（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児保育施設を利用した（タキタキッズプラザ等）	ベビーシッターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全 体	210	24.3	69.0	23.3	28.1	3.8	—	4.8	2.4	—
6歳（1年生）	54	25.9	63.0	25.9	35.2	3.7	—	1.9	—	—
7歳（2年生）	70	27.1	67.1	24.3	30.0	2.9	—	2.9	2.9	—
8歳（3年生）	86	20.9	74.4	20.9	22.1	4.7	—	8.1	3.5	—
9歳（4年生）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10歳（5年生）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11歳（6年生）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、以前は就労していたが、現在は就労していないで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が高くなっています。

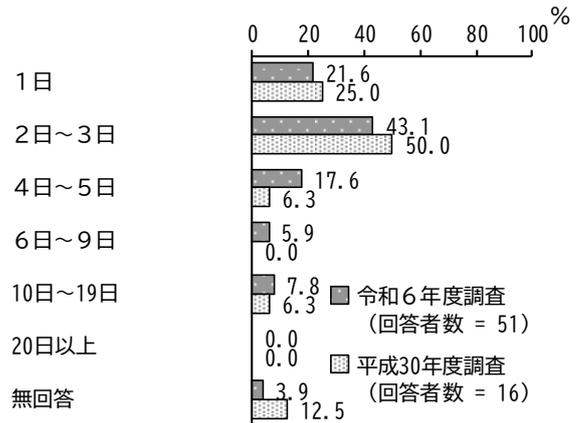
単位：％

区分	回答者数(件)	父親が仕事を休んで子どもをみた	母親が仕事を休んで子どもをみた	族・知人に子どもをみてもらった (同居者を含む)親	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児保育施設を利用した(タキタキッズプラザ等)	ベビーシッターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体	210	24.3	69.0	23.3	28.1	3.8	—	4.8	2.4	—
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	68	36.8	79.4	32.4	5.9	5.9	—	7.4	4.4	—
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	50.0	75.0	25.0	25.0	50.0	—	—	—	—
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	81	24.7	97.5	28.4	6.2	2.5	—	4.9	2.5	—
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	—	50.0	—	50.0	—	—	50.0	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	51	3.9	13.7	3.9	88.2	—	—	—	—	—
これまで就労したことがない	3	33.3	—	33.3	100.0	—	—	—	—	—

### ア. 父親が仕事を休んで子どもをみた日数

「2日～3日」の割合が43.1%と最も高く、次いで「1日」の割合が21.6%、「4日～5日」の割合が17.6%となっています。

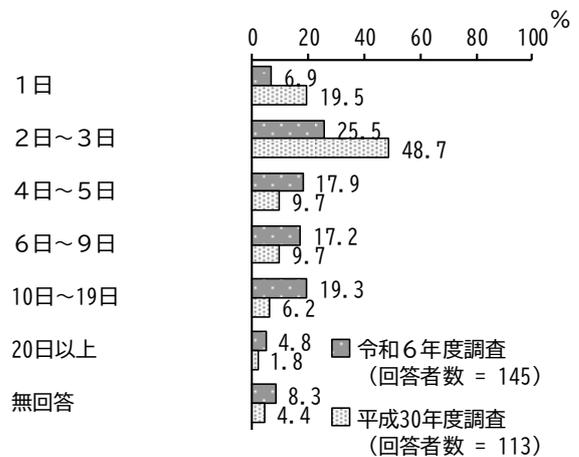
平成30年度調査と比較すると、「4日～5日」「6日～9日」の割合が増加しています。一方、「2日～3日」の割合が減少しています。



### イ. 母親が仕事を休んで子どもをみた日数

「2日～3日」の割合が25.5%と最も高く、次いで「10日～19日」の割合が19.3%、「4日～5日」の割合が17.9%となっています。

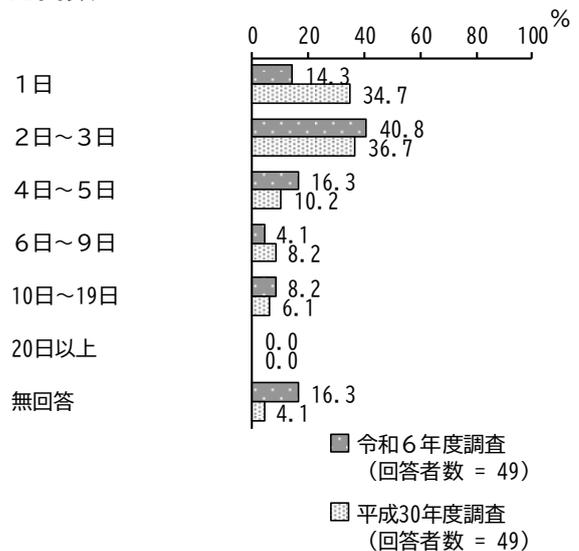
平成30年度調査と比較すると、「4日～5日」「6日～9日」「10日～19日」の割合が増加しています。一方、「1日」「2日～3日」の割合が減少しています。



### ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった日数

「2日～3日」の割合が40.8%と最も高く、次いで「4日～5日」の割合が16.3%、「1日」の割合が14.3%となっています。

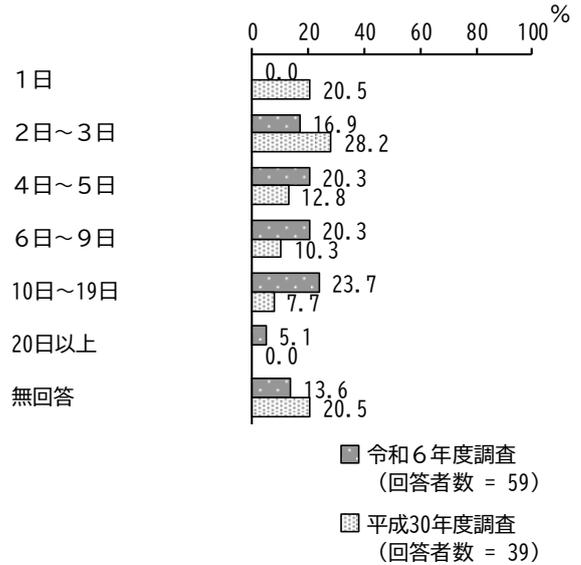
平成30年度調査と比較すると、「4日～5日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



### エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた日数

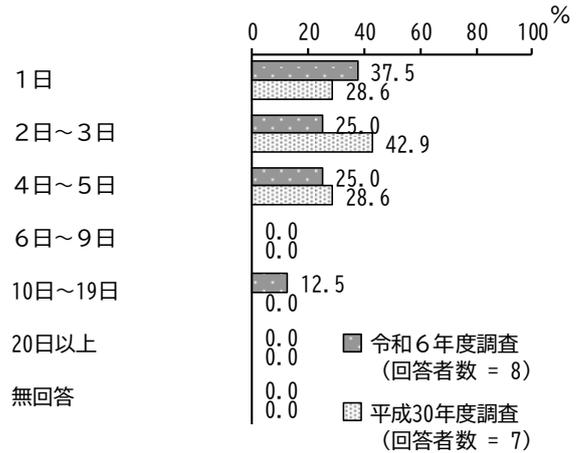
「10日～19日」の割合が23.7%と最も高く、次いで「4日～5日」、「6日～9日」の割合が20.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4日～5日」「6日～9日」「10日～19日」「20日以上」の割合が増加しています。一方、「1日」「2日～3日」の割合が減少しています。



### オ. 病児・病後児保育施設を利用した（タキタキッズプラザ等）日数

「1日」が3件となっています。「2日～3日」、「4日～5日」が2件となっています。

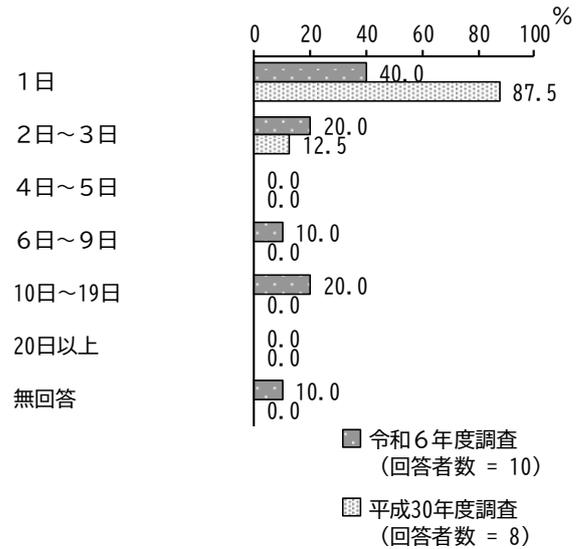


### カ. ベビーシッターを利用した日数

有効回答がありませんでした。

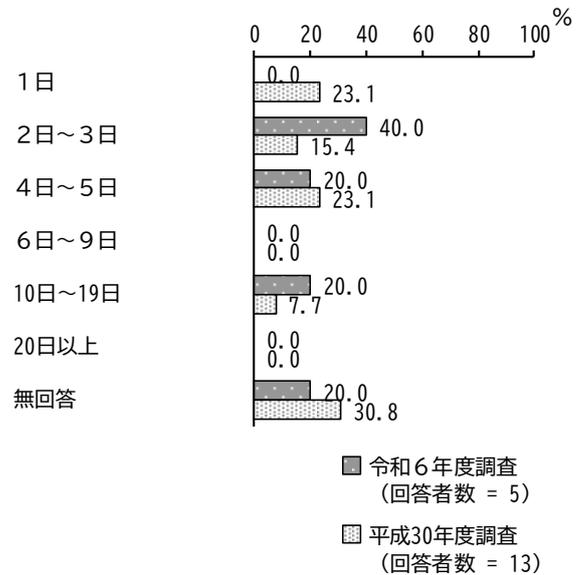
### キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数

「1日」の割合が40.0%と最も高く、次いで「2日～3日」、「10日～19日」の割合が20.0%となっています。



### ク. その他の日数

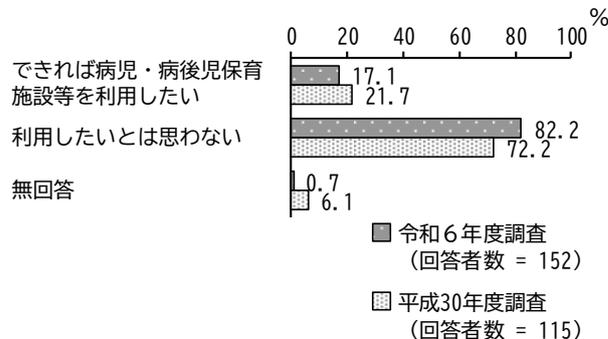
「2日～3日」が2件となっています。「4日～5日」、「10日～19日」が1件となっています。



問 21-2 問 21-1 で「ア. 父親が仕事を休んで子どもをみた」「イ. 母親が仕事を休んで子どもをみた」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が 17.1%、「利用したいとは思わない」の割合が 82.2%となっています。

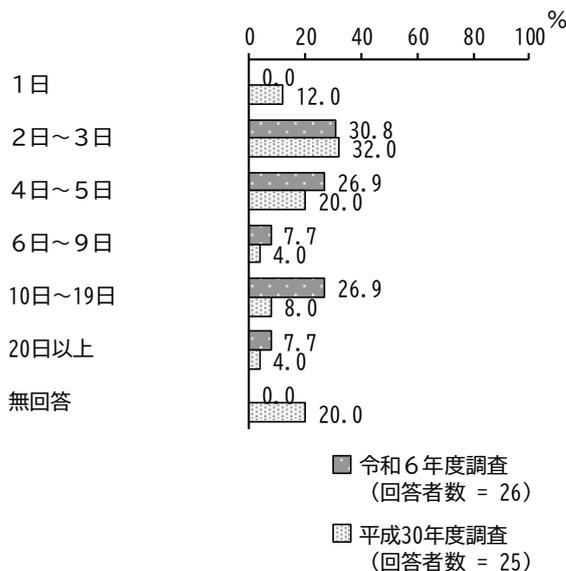
平成 30 年度調査と比較すると、「利用したいとは思わない」の割合が増加しています。



#### できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数

「2日～3日」の割合が 30.8%と最も高く、次いで「4日～5日」、「10日～19日」の割合が 26.9%となっています。

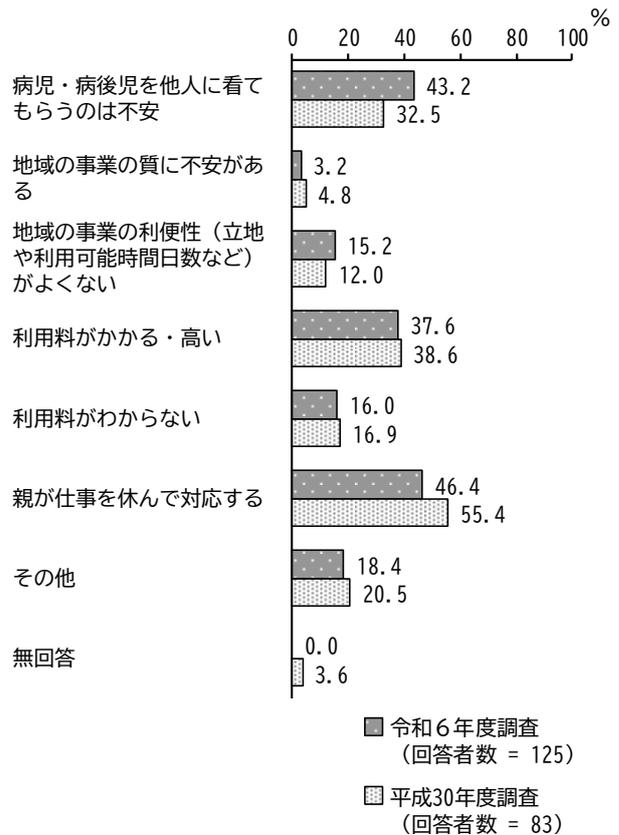
平成 30 年度調査と比較すると、「4日～5日」「10日～19日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



問 21-3 問 21-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「親が仕事を休んで対応する」の割合が46.4%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安」の割合が43.2%、「利用料がかかる・高い」の割合が37.6%となっています。

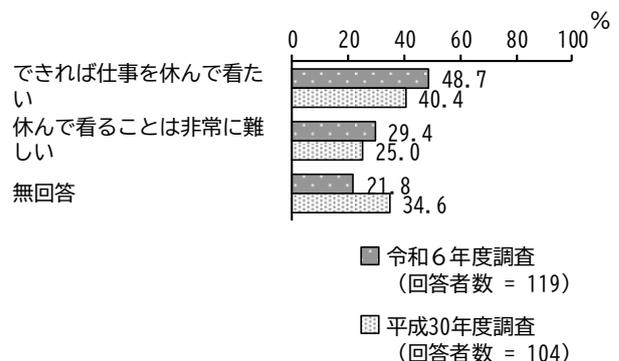
平成30年度調査と比較すると、「病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安」の割合が増加しています。一方、「親が仕事を休んで対応する」の割合が減少しています。



問 21-4 問 21-1で「ウ。(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」～「ク. その他」のいずれかに回答した方にかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」～「ク」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

「できれば仕事を休んで看たい」の割合が48.7%、「休んで看ることは非常に難しい」の割合が29.4%となっています。

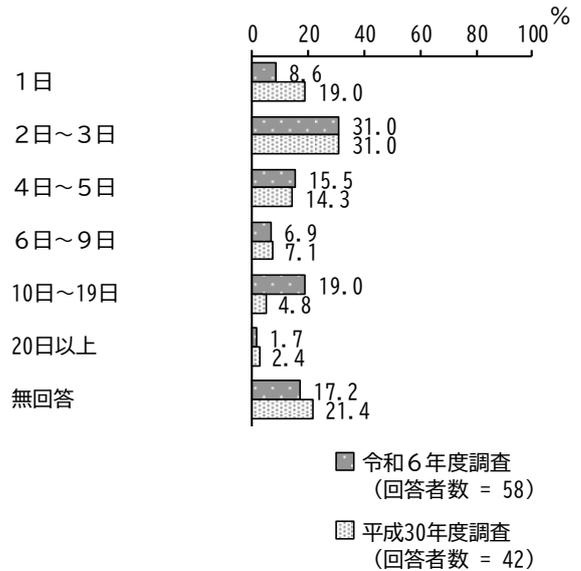
平成30年度調査と比較すると、「できれば仕事を休んで看たい」の割合が増加しています。



### できれば仕事を休んで看たい日数

「2日～3日」の割合が31.0%と最も高く、次いで「10日～19日」の割合が19.0%、「4日～5日」の割合が15.5%となっています。

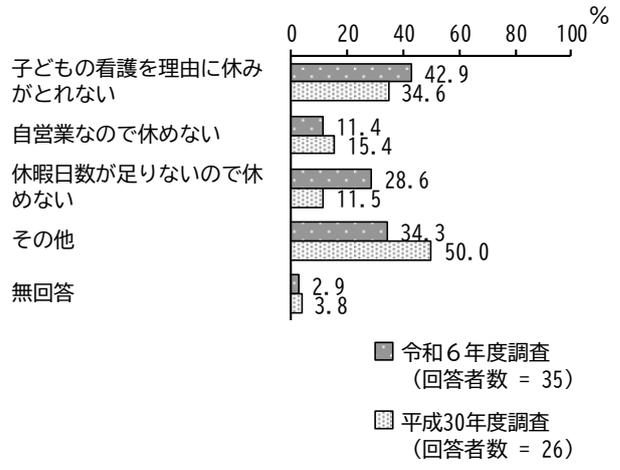
平成30年度調査と比較すると、「10日～19日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



問21-5 問21-4で「2. 休んで看することは非常に難しい」に○をつけた方にかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が42.9%と最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」の割合が28.6%、「自営業なので休めない」の割合が11.4%となっています。

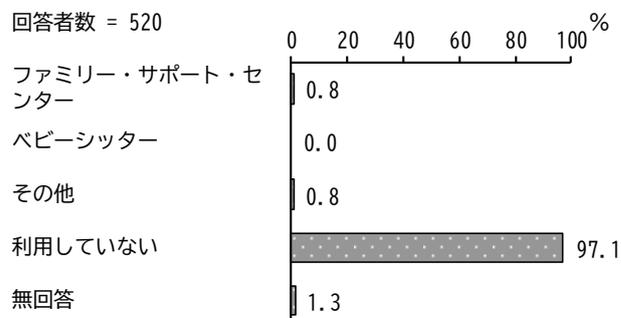
平成30年度調査と比較すると、「子どもの看護を理由に休みがとれない」「休暇日数が足りないので休めない」の割合が増加しています。



## (6) お子さんの不規則の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

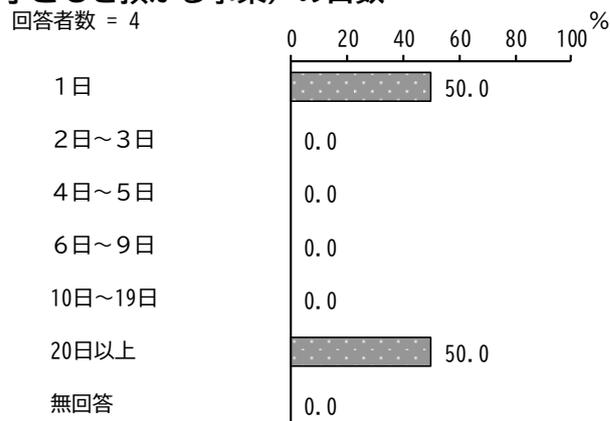
問 22 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「利用していない」の割合が97.1%と最も高くなっています。



### 1. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）の日数

「1日」、「20日以上」が2件となっています。

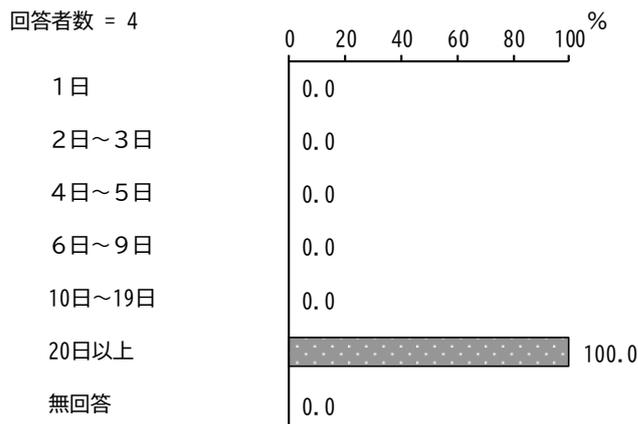


### 2. ベビーシッターの日数

有効回答がありませんでした。

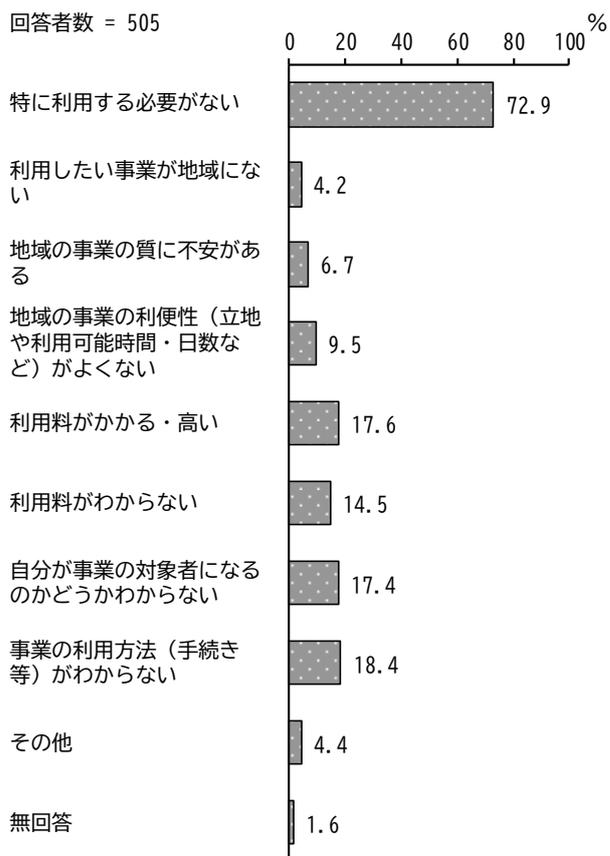
### 3. その他の日数

「20日以上」が4件となっています。



問 22-1 問 22 で「4. 利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に利用する必要がない」の割合が 72.9%と最も高く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が 18.4%、「利用料がかかる・高い」の割合が 17.6%となっています。

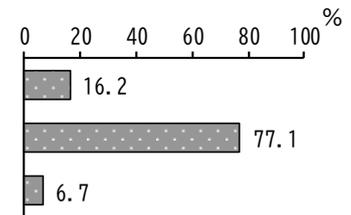


問 23 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が 16.2%、「利用する必要はない」の割合が 77.1%となっています。

回答者数 = 520

利用したい  
利用する必要はない  
無回答

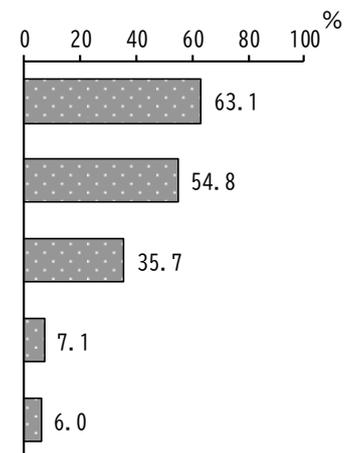


### 利用目的

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が 63.1%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が 54.8%、「不定期の就労」の割合が 35.7%となっています。

回答者数 = 84

私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的  
冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等  
不定期の就労  
その他  
無回答

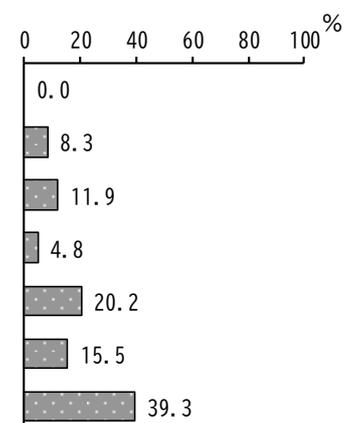


### 合計日数

「10日～19日」の割合が 20.2%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が 15.5%、「4日～5日」の割合が 11.9%となっています。

回答者数 = 84

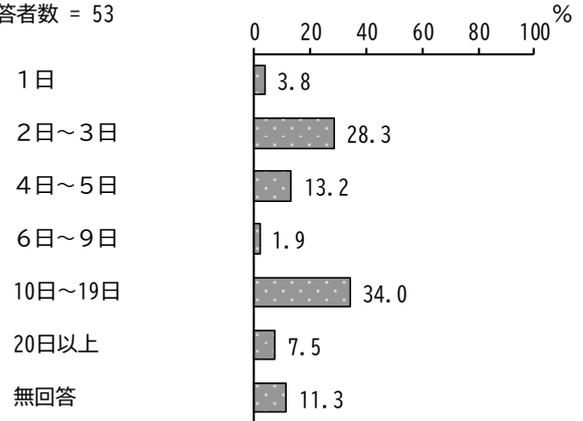
1日  
2日～3日  
4日～5日  
6日～9日  
10日～19日  
20日以上  
無回答



**ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的の日数**

「10日～19日」の割合が34.0%と最も高く、次いで「2日～3日」の割合が28.3%、「4日～5日」の割合が13.2%となっています。

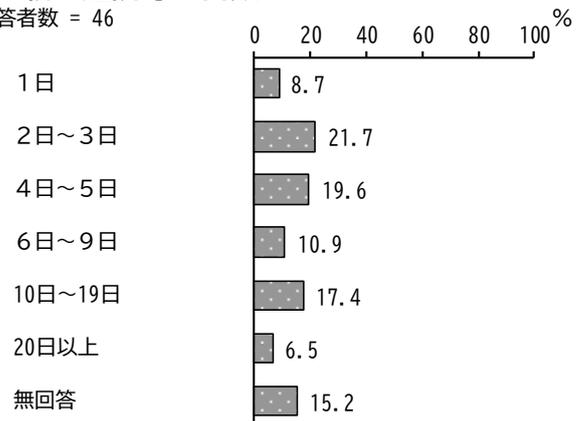
回答者数 = 53



**イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等の日数**

「2日～3日」の割合が21.7%と最も高く、次いで「4日～5日」の割合が19.6%、「10日～19日」の割合が17.4%となっています。

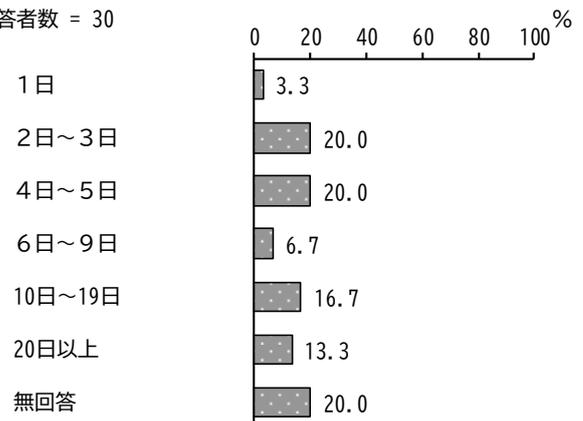
回答者数 = 46



**ウ. 不定期の就労の日数**

「2日～3日」、「4日～5日」の割合が20.0%と最も高く、次いで「10日～19日」の割合が16.7%となっています。

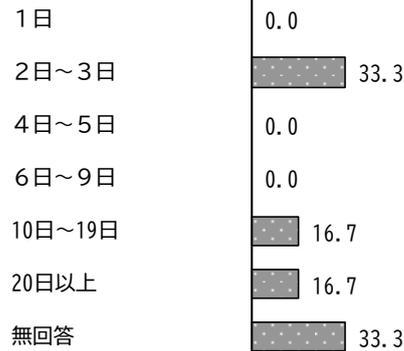
回答者数 = 30



エ. その他の日数

「2日～3日」が2件となっています。「10日～19日」、「20日以上」が1件となっています。

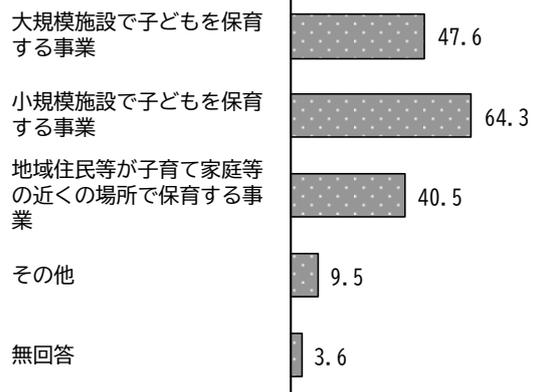
回答者数 = 6



問 23-1 問 23 で「1.利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 23 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「小規模施設で子どもを保育する事業」の割合が 64.3%と最も高く、次いで「大規模施設で子どもを保育する事業」の割合が 47.6%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」の割合が 40.5%となっています。

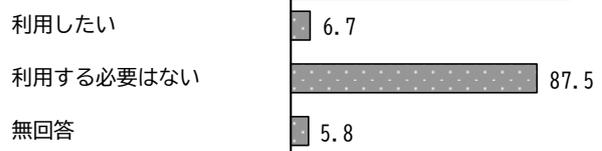
回答者数 = 84



問 24 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字）。なお事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が 6.7%、「利用する必要はない」の割合が 87.5%となっています。

回答者数 = 520



## 利用したい用事

「保護者や家族の病気」の割合が77.1%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が48.6%、「冠婚葬祭」の割合が45.7%となっています。

回答者数 = 35

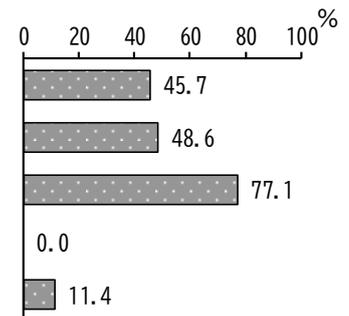
冠婚葬祭

保護者や家族の育児疲れ・不安

保護者や家族の病気

その他

無回答



## 合計日数

「2日～3日」の割合が25.7%と最も高く、次いで「10日～19日」の割合が14.3%、「4日～5日」、「6日～9日」の割合が11.4%となっています。

回答者数 = 35

1日

2日～3日

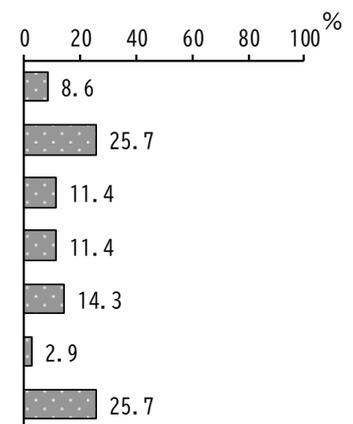
4日～5日

6日～9日

10日～19日

20日以上

無回答



## ア 冠婚葬祭の日数

「2日～3日」の割合が56.3%と最も高く、次いで「1日」の割合が25.0%となっています。

回答者数 = 16

1日

2日～3日

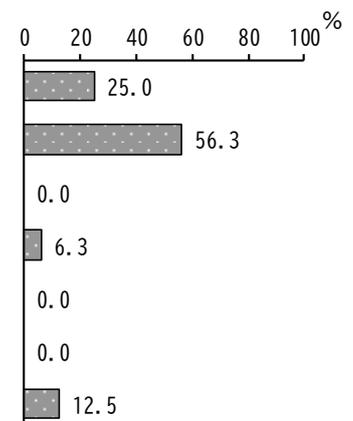
4日～5日

6日～9日

10日～19日

20日以上

無回答

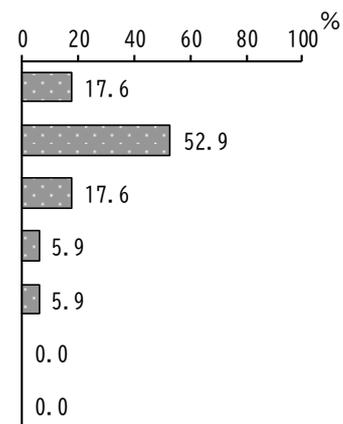


### イ 保護者や家族の育児疲れ・不安の日数

「2日～3日」の割合が52.9%と最も高く、次いで「1日」、「4日～5日」の割合が17.6%となっています。

回答者数 = 17

1日  
2日～3日  
4日～5日  
6日～9日  
10日～19日  
20日以上  
無回答

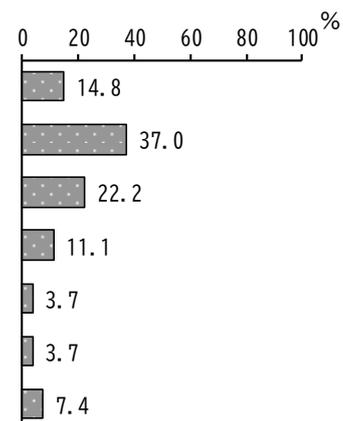


### ウ 保護者や家族の病気の日数

「2日～3日」の割合が37.0%と最も高く、次いで「4日～5日」の割合が22.2%、「1日」の割合が14.8%となっています。

回答者数 = 27

1日  
2日～3日  
4日～5日  
6日～9日  
10日～19日  
20日以上  
無回答



### エ その他の日数

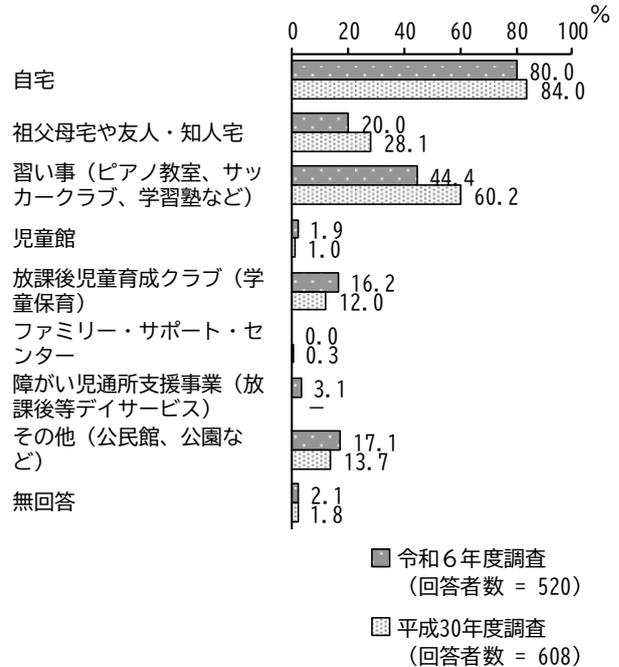
有効回答がありませんでした。

## (7) 放課後の過ごし方について

問 25 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たり日数を数字でご記入ください。また、「5. 放課後児童育成クラブ」、「7. 障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）」の場合には、利用する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず「(例) 18時」のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「自宅」の割合が80.0%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が44.4%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が20.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が減少しています。

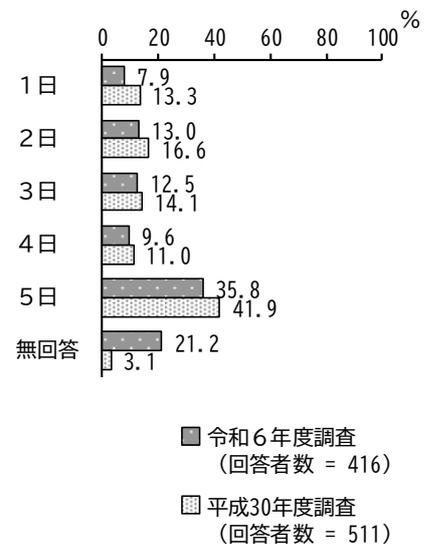


※前回調査では、「障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）」の選択肢はありませんでした。

### 1. 自宅の日数の日数

「5日」の割合が35.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が13.0%、「3日」の割合が12.5%となっています。

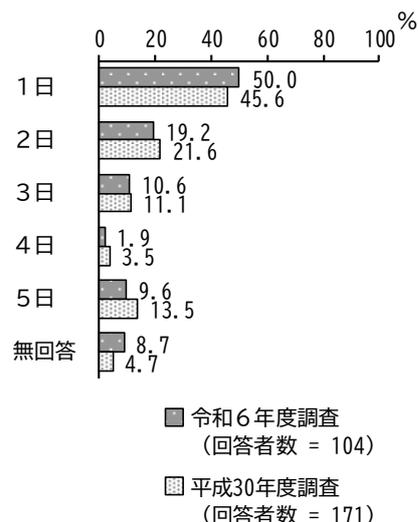
平成30年度調査と比較すると、「1日」「5日」の割合が減少しています。



## 2. 祖父母宅や友人・知人宅の日数

「1日」の割合が50.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が19.2%、「3日」の割合が10.6%となっています。

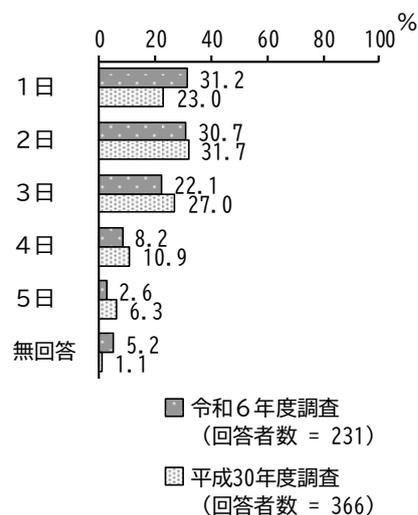
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



## 3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）の日数

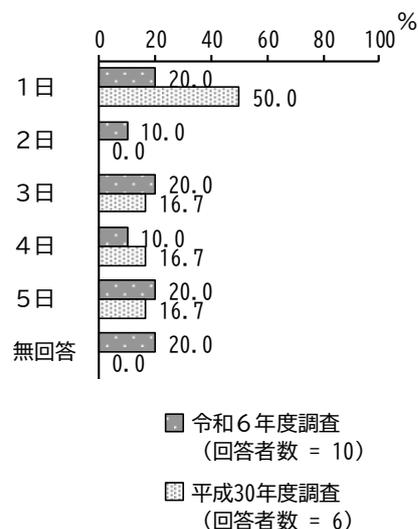
「1日」の割合が31.2%と最も高く、次いで「2日」の割合が30.7%、「3日」の割合が22.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。



## 4. 児童館の日数

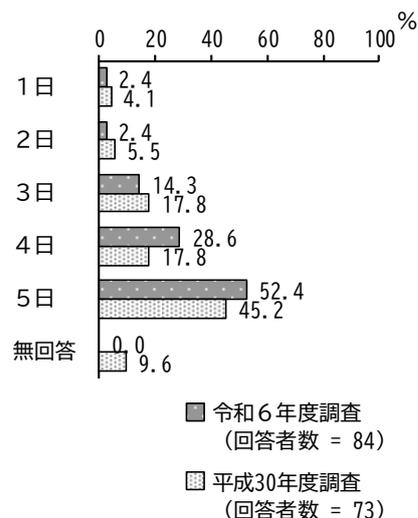
「1日」、「3日」、「5日」の割合が20.0%と最も高くなっています。



## 5. 放課後児童育成クラブ（学童保育）の日数

「5日」の割合が52.4%と最も高く、次いで「4日」の割合が28.6%、「3日」の割合が14.3%となっています。

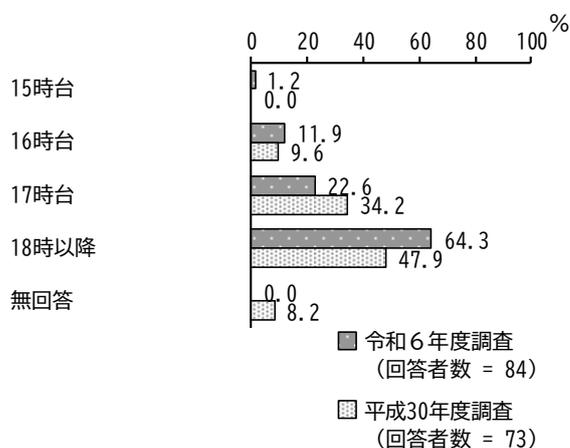
平成30年度調査と比較すると、「4日」「5日」の割合が増加しています。



## 利用終了時刻

「18時以降」の割合が64.3%と最も高く、次いで「17時台」の割合が22.6%、「16時台」の割合が11.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「18時以降」の割合が増加しています。一方、「17時台」の割合が減少しています。

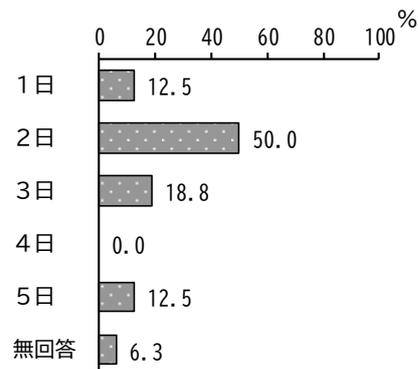


## 6. ファミリー・サポート・センターの日数

有効回答がありませんでした。

## 7. 障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）の日数

「2日」の割合が50.0%と最も高く、次いで「3日」の割合が18.8%、「1日」「5日」の割合が12.5%となっています。 回答者数 = 16



## 利用終了時刻

「17 時台」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「18 時以降」の割合が 31.3%となっています。

回答者数 = 16

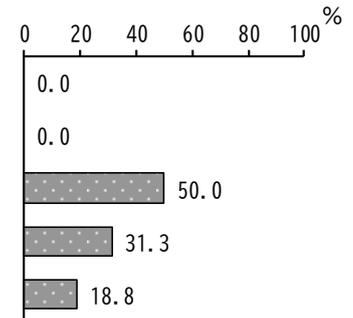
15時台

16時台

17時台

18時以降

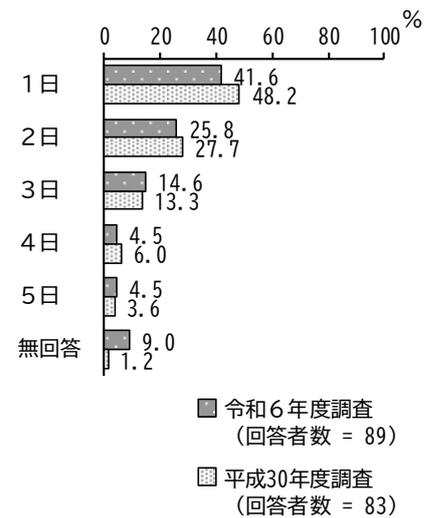
無回答



## 8. その他（公民館、公園など）の日数

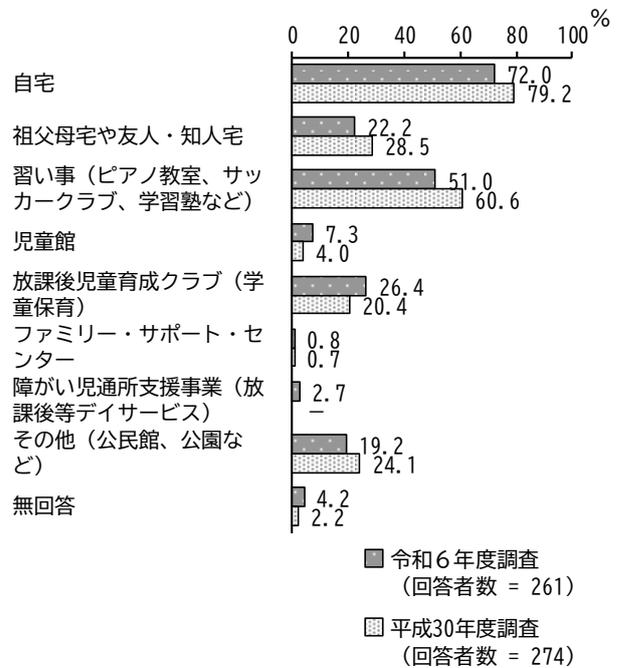
「1日」の割合が 41.6%と最も高く、次いで「2日」の割合が 25.8%、「3日」の割合が 14.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「1日」の割合が減少しています。



問 26-1 宛名のお子さんが小学校低学年（1～3年生）の保護者の方にかがいます。宛名のお子さんが小学校高学年（4～6年生）の保護者の方は、問 30 にお進みください。宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。時間は、必ず「(例)18時」のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

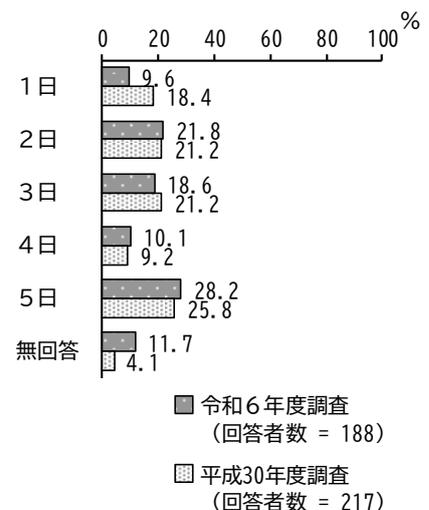
「自宅」の割合が72.0%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が51.0%、「放課後児童育成クラブ（学童保育）」の割合が26.4%となっています。平成30年度調査と比較すると、「放課後児童育成クラブ（学童保育）」の割合が増加しています。一方、「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が減少しています。



※前回調査では、「障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）」の選択肢はありませんでした。

### 1. 自宅の日数

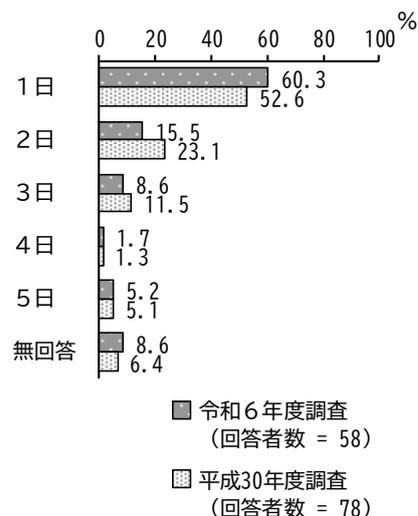
「5日」の割合が28.2%と最も高く、次いで「2日」の割合が21.8%、「3日」の割合が18.6%となっています。平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が減少しています。



## 2. 祖父母宅や友人・知人宅の日数

「1日」の割合が60.3%と最も高く、次いで「2日」の割合が15.5%となっています。

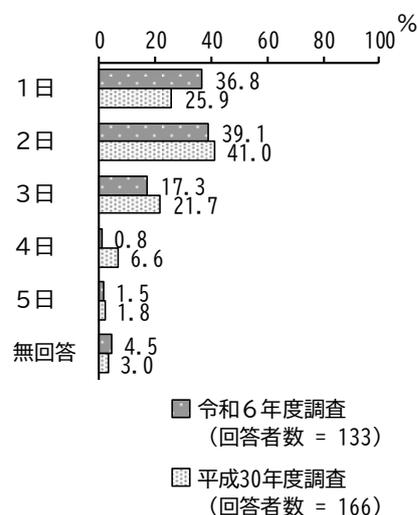
平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。一方、「2日」の割合が減少しています。



## 3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）の日数

「2日」の割合が39.1%と最も高く、次いで「1日」の割合が36.8%、「3日」の割合が17.3%となっています。

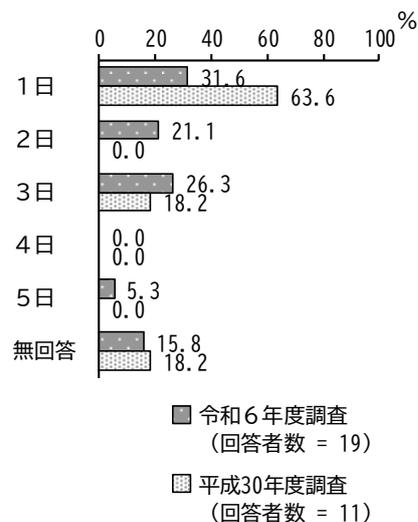
平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。一方、「4日」の割合が減少しています。



## 4. 児童館の日数

「1日」の割合が31.6%と最も高く、次いで「3日」の割合が26.3%、「2日」の割合が21.1%となっています。

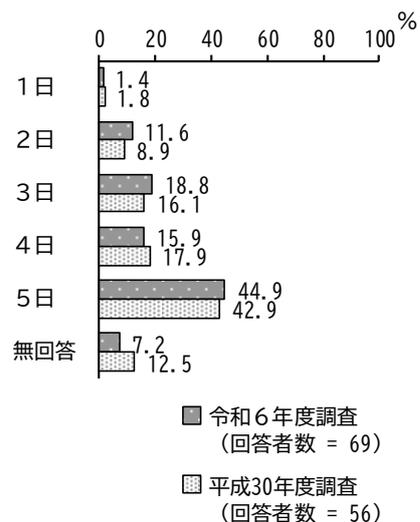
平成30年度調査と比較すると、「2日」「3日」「5日」の割合が増加しています。一方、「1日」の割合が減少しています。



## 5. 放課後児童育成クラブ（学童保育）の日数

「5日」の割合が44.9%と最も高く、次いで「3日」の割合が18.8%、「4日」の割合が15.9%となっています。

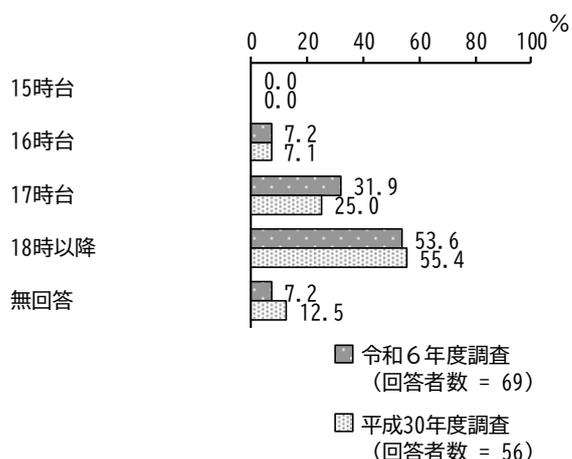
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



## 利用終了時刻

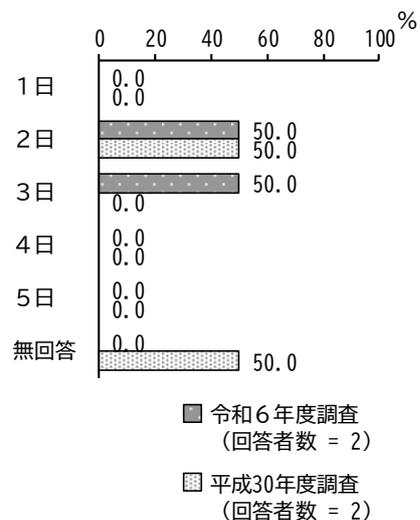
「18時以降」の割合が53.6%と最も高く、次いで「17時台」の割合が31.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「17時台」の割合が増加しています。



## 6. ファミリー・サポート・センターの日数

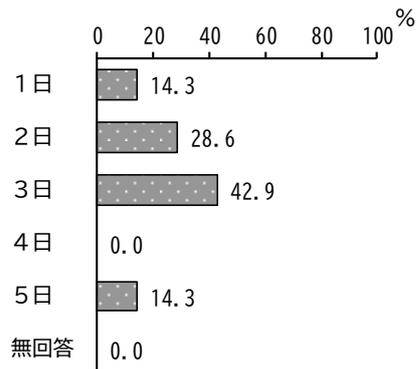
「2日」、「3日」が1件となっています。



## 7. 障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）の日数

「3日」が3件となっています。「2日」が2件、  
「1日」、「5日」が1件となっています。

回答者数 = 7

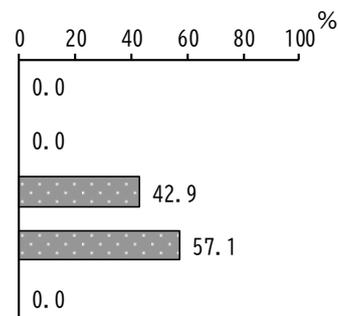


## 利用終了時刻

「18時以降」が4件となっています。「17時台」  
が3件となっています。

回答者数 = 7

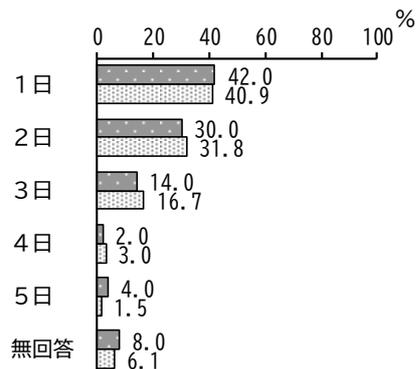
15時台  
16時台  
17時台  
18時以降  
無回答



## 8. その他（公民館、公園など）の日数

「1日」の割合が42.0%と最も高く、次いで  
「2日」の割合が30.0%、「3日」の割合が14.0%  
となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化は  
みられません。

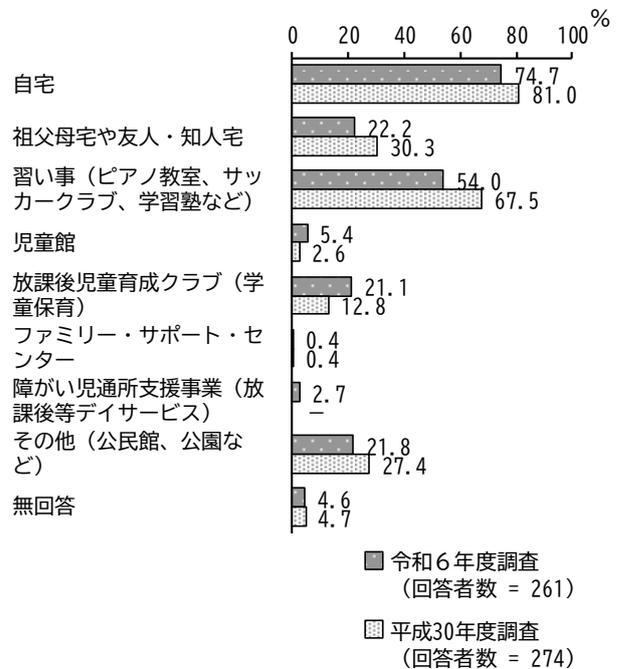


■ 令和6年度調査  
(回答者数 = 50)  
▨ 平成30年度調査  
(回答者数 = 66)

問 26-2 宛名のお子さんが小学校低学年（1～3年生）の保護者の方にかがいます。宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。時間は、必ず「(例)18時」のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

「自宅」の割合が74.7%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が54.0%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が22.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「放課後児童育成クラブ（学童保育）」の割合が増加しています。一方、「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」「その他（公民館、公園など）」の割合が減少しています。

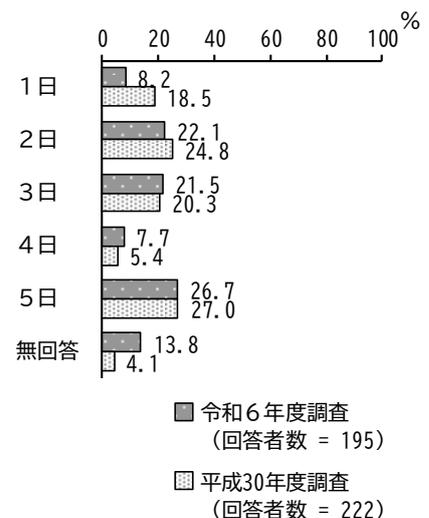


※前回調査では、「障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）」の選択肢はありませんでした。

### 1. 自宅の日数

「5日」の割合が26.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が22.1%、「3日」の割合が21.5%となっています。

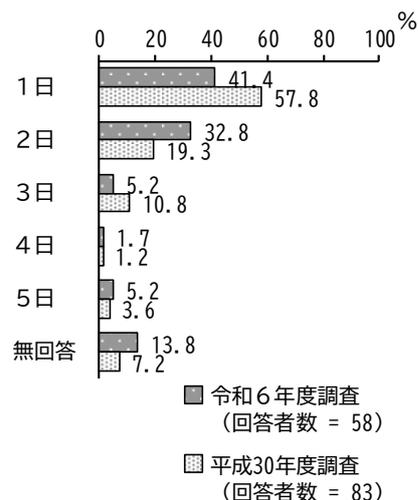
平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が減少しています。



## 2. 祖父母宅や友人・知人宅の日数

「1日」の割合が41.4%と最も高く、次いで「2日」の割合が32.8%となっています。

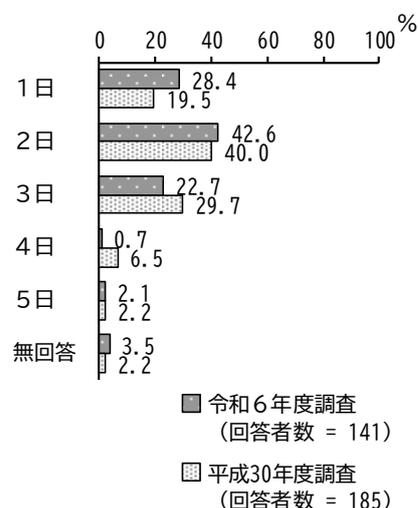
平成30年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。一方、「1日」「3日」の割合が減少しています。



## 3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）の日数

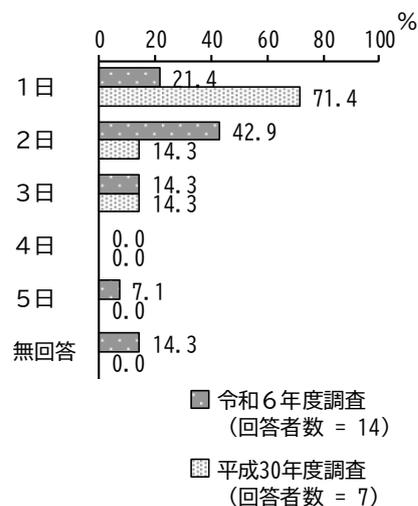
「2日」の割合が42.6%と最も高く、次いで「1日」の割合が28.4%、「3日」の割合が22.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。一方、「3日」「4日」の割合が減少しています。



## 4. 児童館の日数

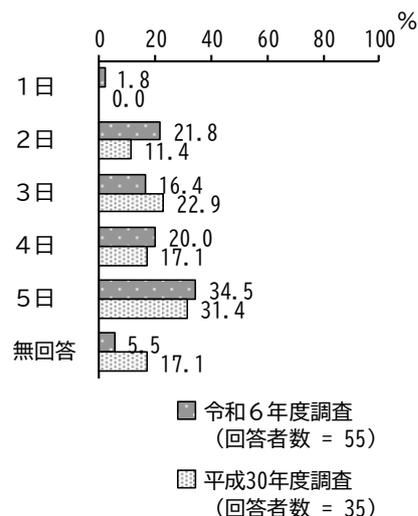
「2日」の割合が42.9%と最も高く、次いで「1日」の割合が21.4%、「3日」の割合が14.3%となっています。



## 5. 放課後児童育成クラブ（学童保育）の日数

「5日」の割合が34.5%と最も高く、次いで「2日」の割合が21.8%、「4日」の割合が20.0%となっています。

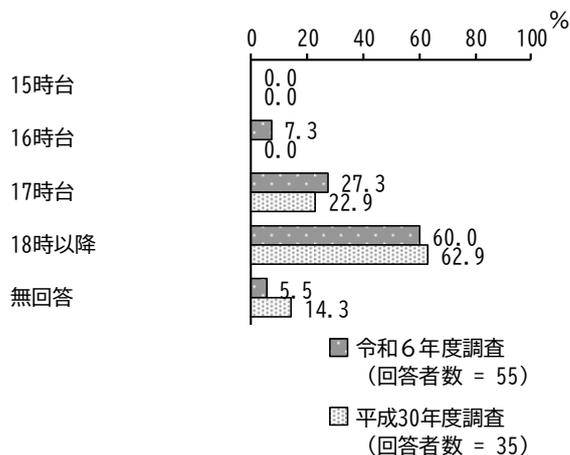
平成30年度調査と比較すると、「2日」の割合が増加しています。一方、「3日」の割合が減少しています。



## 利用終了時刻

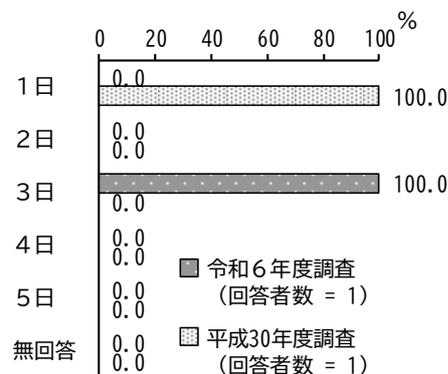
「18時以降」の割合が60.0%と最も高く、次いで「17時台」の割合が27.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「16時台」の割合が増加しています。



## 6. ファミリー・サポート・センターの日数

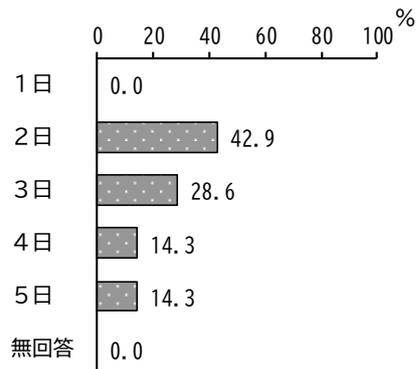
「3日」が1件となっています。



## 7. 障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）の日数

「2日」が3件となっています。「3日」が2件、  
「4日」、「5日」が1件となっています。

回答者数 = 7

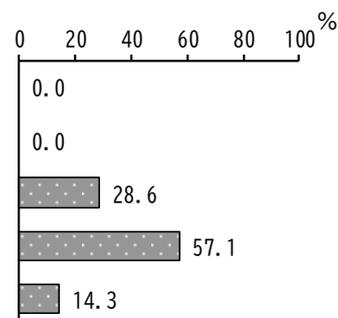


## 利用終了時刻

「18時以降」が4件となっています。「17時台」  
が2件となっています。

回答者数 = 7

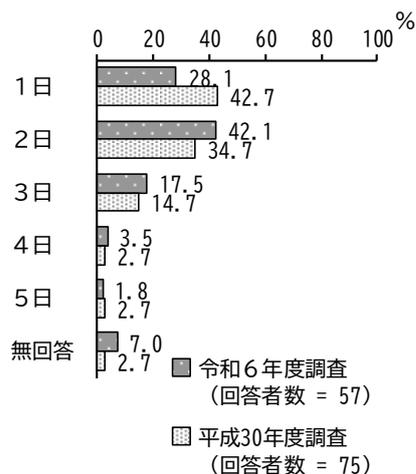
15時台  
16時台  
17時台  
18時以降  
無回答



## 8. その他（公民館、公園など）の日数

「2日」の割合が 42.1%と最も高く、次いで  
「1日」の割合が 28.1%、「3日」の割合が 17.5%  
となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「2日」の割合  
が増加しています。一方、「1日」の割合が減少し  
ています。

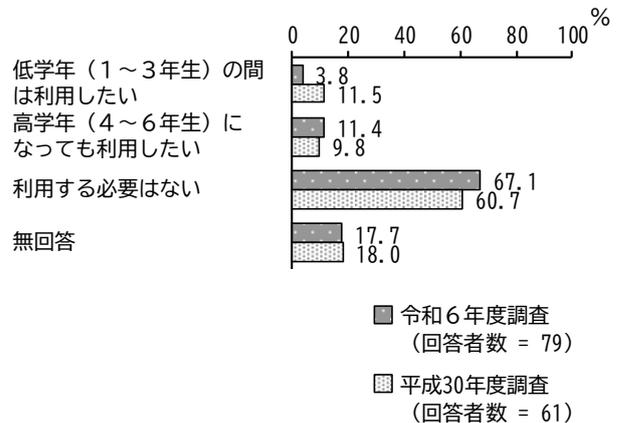


問27 問26で「5. 放課後児童育成クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童育成クラブの利用希望はありますか。(1)、(2)、(3)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に「(例)09時から18時」のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。なお、利用には一定の利用料がかかります。

### (1) 土曜日

「利用する必要はない」の割合が67.1%と最も高く、次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が11.4%となっています。

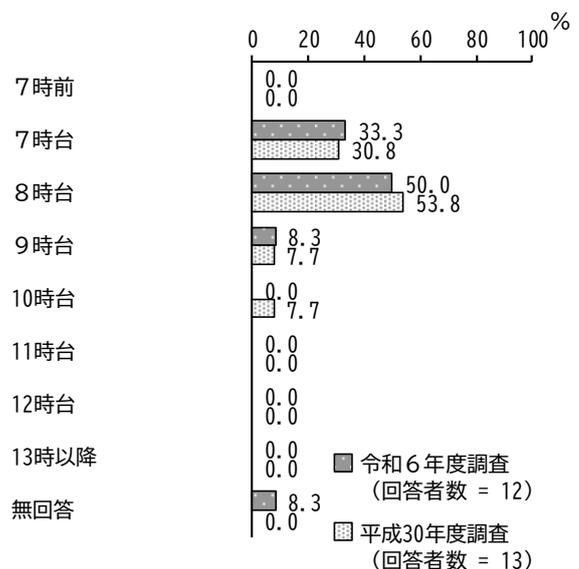
平成30年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が減少しています。



### 利用開始時刻

「8時台」の割合が50.0%と最も高く、次いで「7時台」の割合が33.3%となっています。

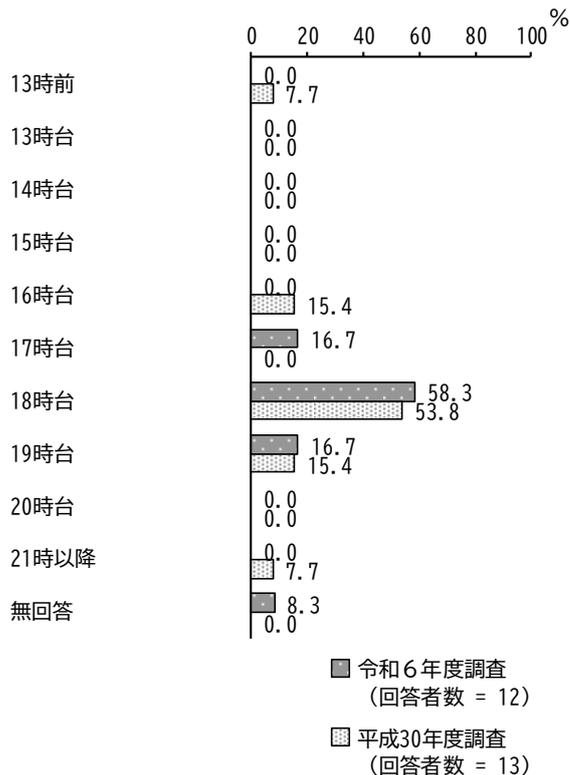
平成30年度調査と比較すると、「10時台」の割合が減少しています。



## 利用終了時刻

「18 時台」の割合が 58.3%と最も高く、次いで「17 時台」、「19 時台」の割合が 16.7%となっています。

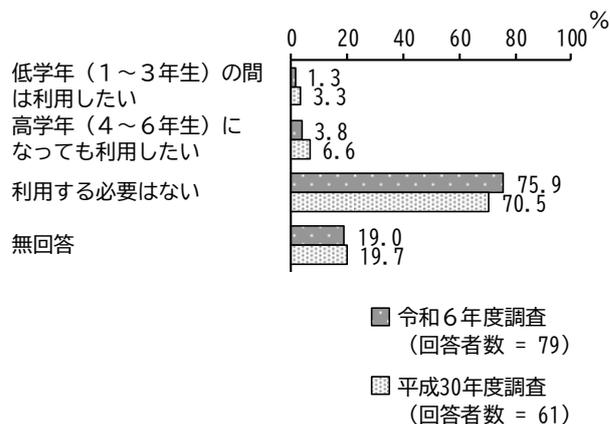
平成 30 年度調査と比較すると、「17 時台」の割合が増加しています。一方、「13 時前」「16 時台」「21 時以降」の割合が減少しています。



## (2) 日曜日

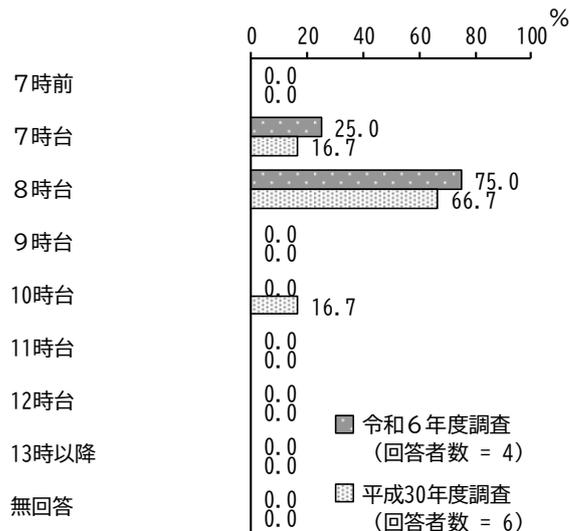
「利用する必要はない」の割合が 75.9%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。



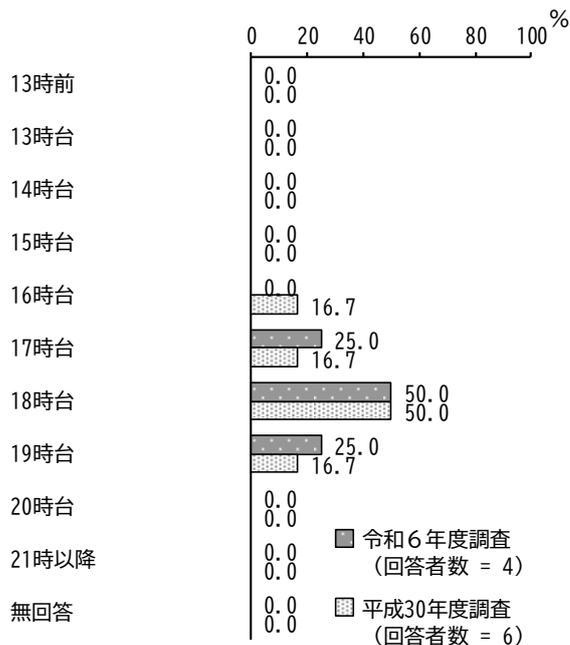
### 利用開始時刻

「8時台」が3件となっています。「7時台」が1件となっています。



### 利用終了時刻

「18時台」が2件となっています。「17時台」、「19時台」が1件となっています。

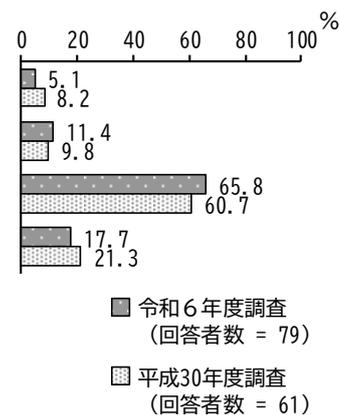


### (3) 祝日

「利用する必要はない」の割合が65.8%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が11.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。

低学年（1～3年生）の間は利用したい  
高学年（4～6年生）になっても利用したい  
利用する必要はない  
無回答

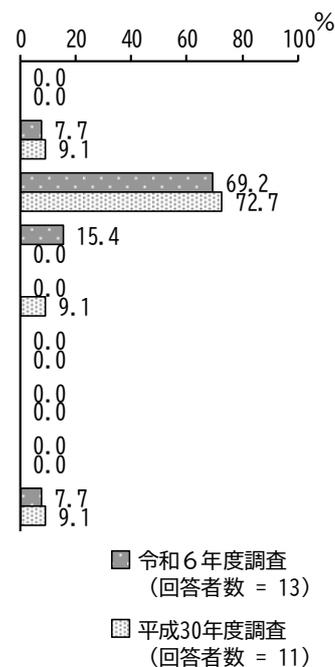


### 利用開始時刻

「8時台」の割合が69.2%と最も高く、次いで「9時台」の割合が15.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「9時台」の割合が増加しています。一方、「10時台」の割合が減少しています。

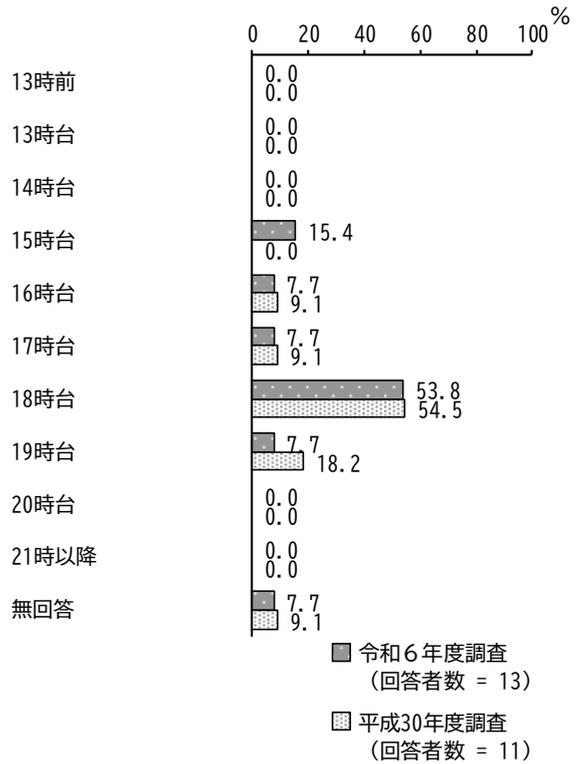
7時前  
7時台  
8時台  
9時台  
10時台  
11時台  
12時台  
13時以降  
無回答



## 利用終了時刻

「18 時台」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「15 時台」の割合が 15.4%となっています。

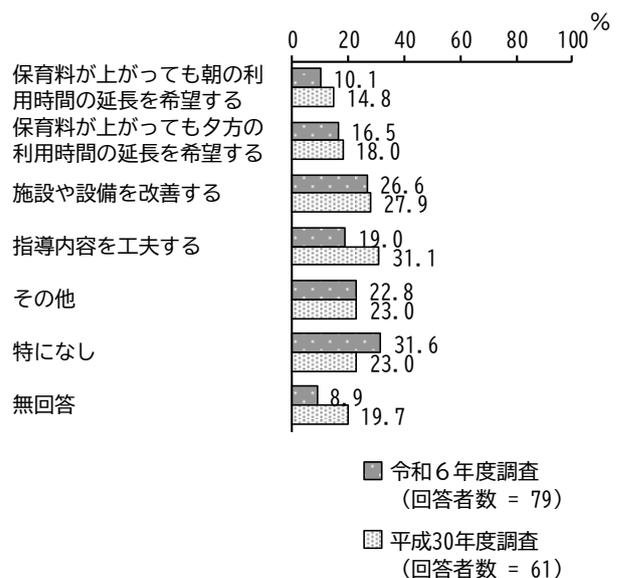
平成 30 年度調査と比較すると、「15 時台」の割合が増加しています。一方、「19 時台」の割合が減少しています。



問 28 問 26 で「5. 放課後児童育成クラブ (学童保育)」に○をつけた方はいかが입니다。放課後児童育成クラブにどのようなことを希望しますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「特になし」の割合が 31.6%と最も高く、次いで「施設や設備を改善する」の割合が 26.6%、「指導内容を工夫する」の割合が 19.0%となっています。

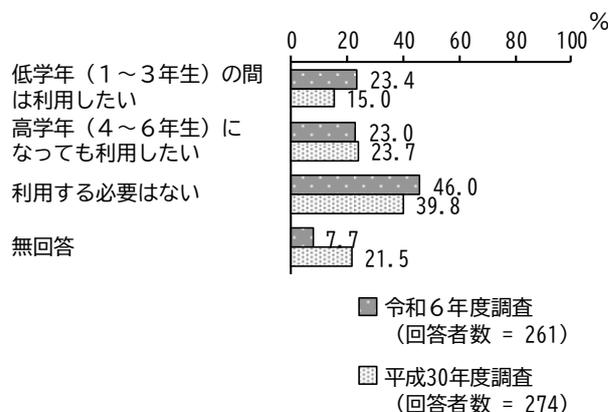
平成 30 年度調査と比較すると、「特になし」の割合が増加しています。一方、「指導内容を工夫する」の割合が減少しています。



問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童育成クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に「(例)09時から18時」のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。なお、事業の利用には、一定の保育料がかかります。

「利用する必要はない」の割合が46.0%と最も高く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が23.4%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が23.0%となっています。

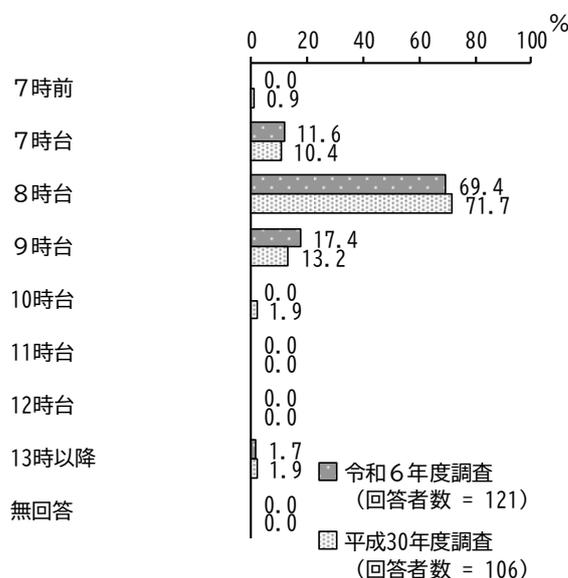
平成30年度調査と比較すると、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」「利用する必要はない」の割合が増加しています。



### 利用開始時刻

「8時台」の割合が69.4%と最も高く、次いで「9時台」の割合が17.4%、「7時台」の割合が11.6%となっています。

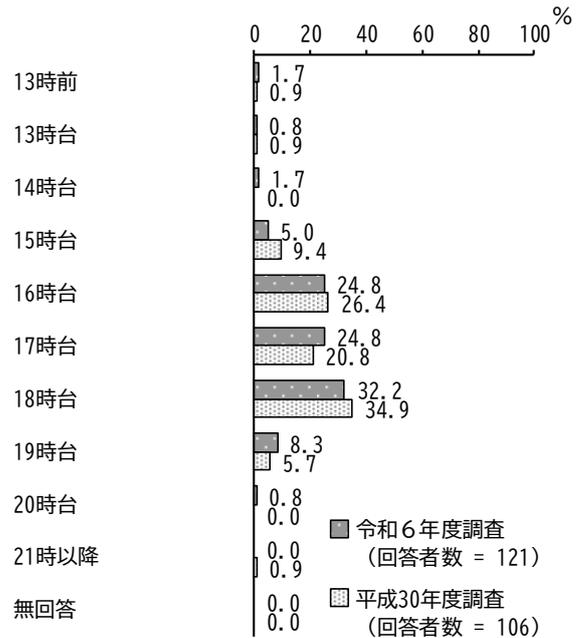
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



## 利用終了時刻

「18 時台」の割合が 32.2%と最も高く、次いで「16 時台」、「17 時台」の割合が 24.8%となっています。

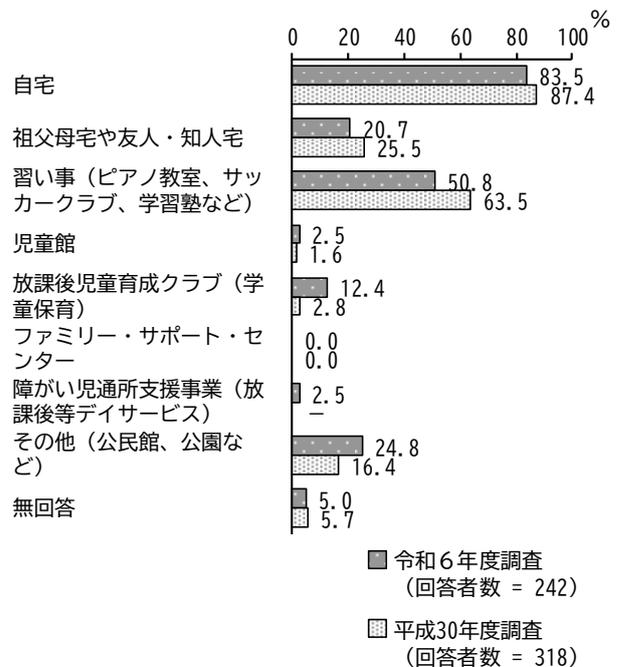
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 30 宛名のお子さんが小学校高学年（4～6年生）の保護者の方にうかがいます。宛名のお子さんについて、今後放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。時間は、必ず「(例)18時」のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「自宅」の割合が 83.5%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 50.8%、「その他（公民館、公園など）」の割合が 24.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「放課後児童育成クラブ（学童保育）」「その他（公民館、公園など）」の割合が増加しています。一方、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が減少しています。

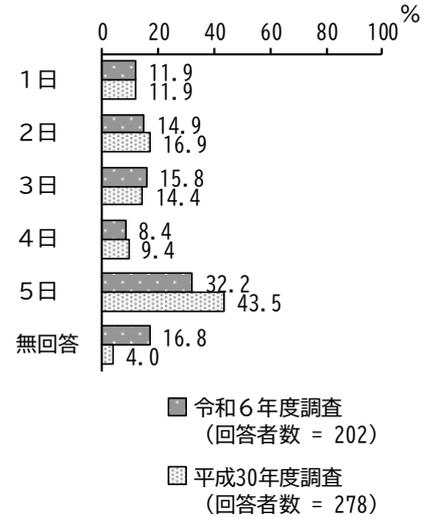


※前回調査では、「障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）」の選択肢はありませんでした。

### 1. 自宅の日数

「5日」の割合が 32.2%と最も高く、次いで「3日」の割合が 15.8%、「2日」の割合が 14.9%となっています。

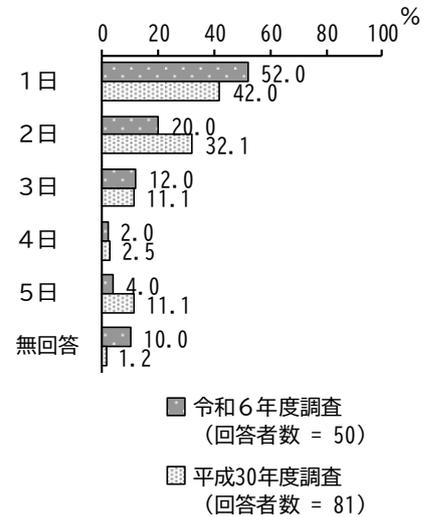
平成 30 年度調査と比較すると、「5日」の割合が減少しています。



### 2. 祖父母宅や友人・知人宅の日数

「1日」の割合が 52.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が 20.0%、「3日」の割合が 12.0%となっています。

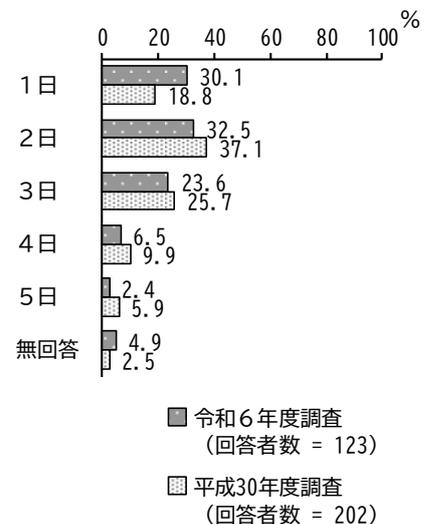
平成 30 年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。一方、「2日」「5日」の割合が減少しています。



### 3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）の日数

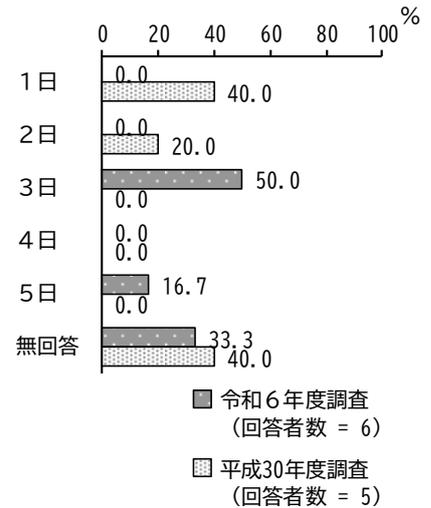
「2日」の割合が 32.5%と最も高く、次いで「1日」の割合が 30.1%、「3日」の割合が 23.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。



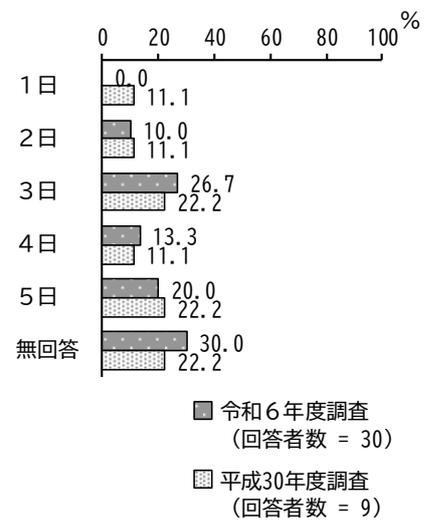
#### 4. 児童館の日数

「3日」が3件となっています。「5日」が1件となっています。



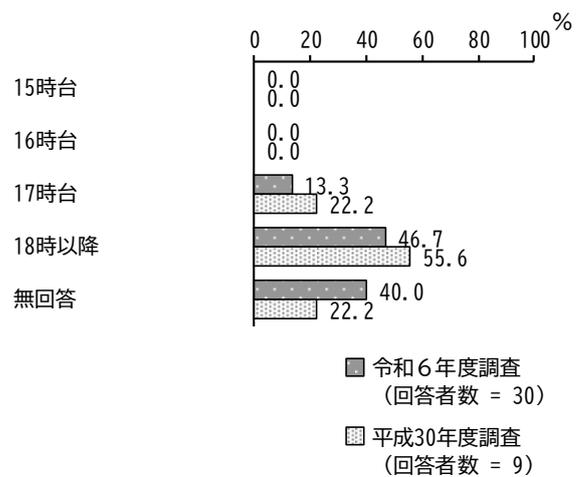
#### 5. 放課後児童育成クラブ（学童保育）の日数

「3日」の割合が 26.7%と最も高く、次いで「5日」の割合が 20.0%、「4日」の割合が 13.3%となっています。



#### 利用終了時刻

「18時以降」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「17時台」の割合が 13.3%となっています。



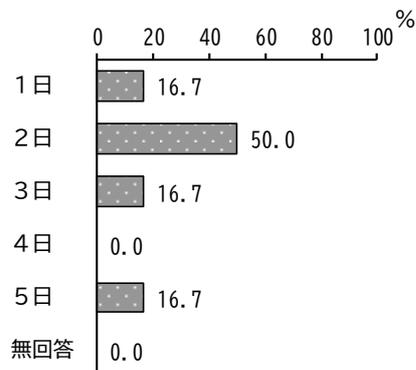
## 6. ファミリー・サポート・センターの日数

有効回答がありませんでした。

## 7. 障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）の日数

「2日」が3件となっています。「1日」、「3日」、「5日」が1件となっています。

回答者数 = 6

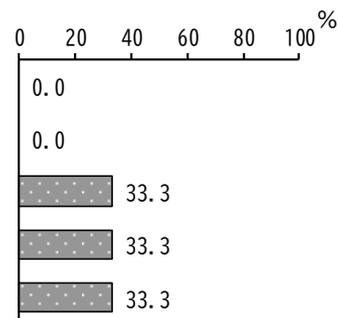


## 利用終了時刻

「17時台」、「18時以降」が2件となっています。

回答者数 = 6

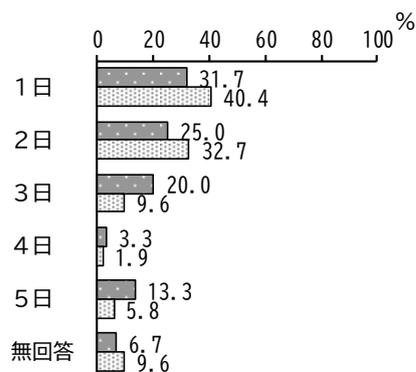
15時台  
16時台  
17時台  
18時以降  
無回答



## 8. その他（公民館、公園など）の日数

「1日」の割合が31.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が25.0%、「3日」の割合が20.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3日」「5日」の割合が増加しています。一方、「1日」「2日」の割合が減少しています。

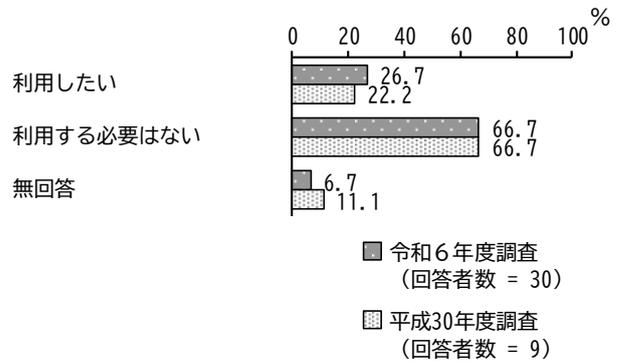


■ 令和6年度調査  
(回答者数 = 60)  
▨ 平成30年度調査  
(回答者数 = 52)

問 31 問 30 で「5. 放課後児童育成クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童育成クラブの利用希望はありますか。(1)、(2)、(3) それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に「(例)09時から18時」のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。なお、事業の利用には、一定の保育料がかかります。

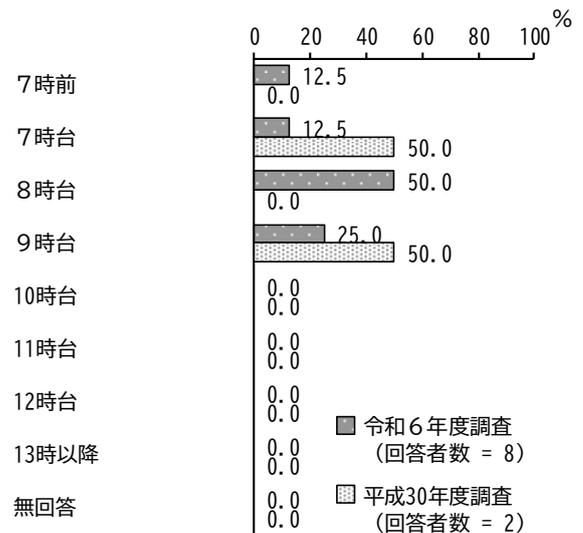
(1) 土曜日

「利用したい」の割合が26.7%、「利用する必要はない」の割合が66.7%となっています。



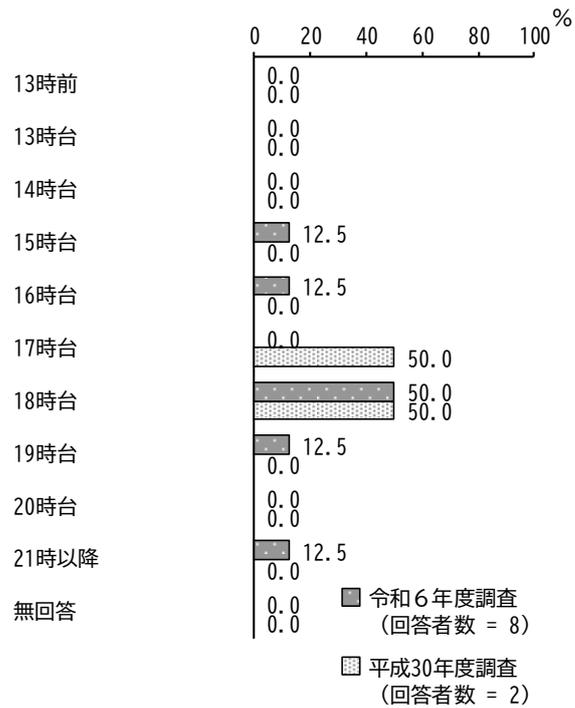
利用開始時刻

「8時台」が4件となっています。「9時台」が2件、「7時前」、「7時台」が1件となっています。



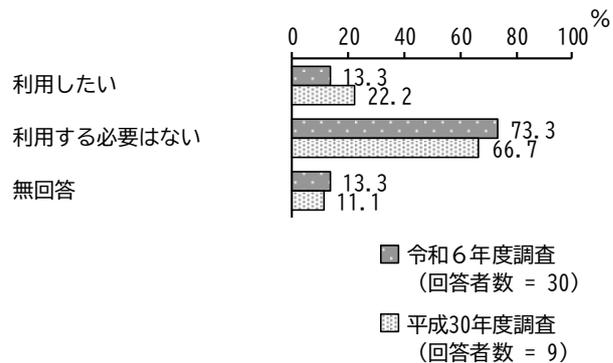
### 利用終了時刻

「18 時台」が4件となっています。「15 時台」、  
「16 時台」、「19 時台」が1件となっています。



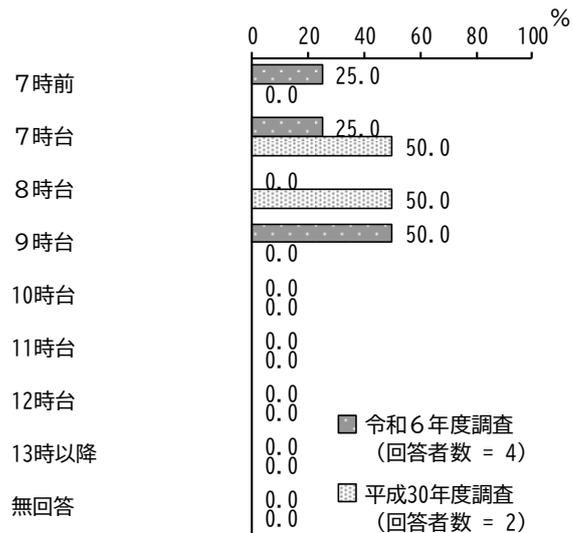
### (2) 日曜日

「利用したい」の割合が13.3%、「利用する必要はない」の割合が73.3%となっています。



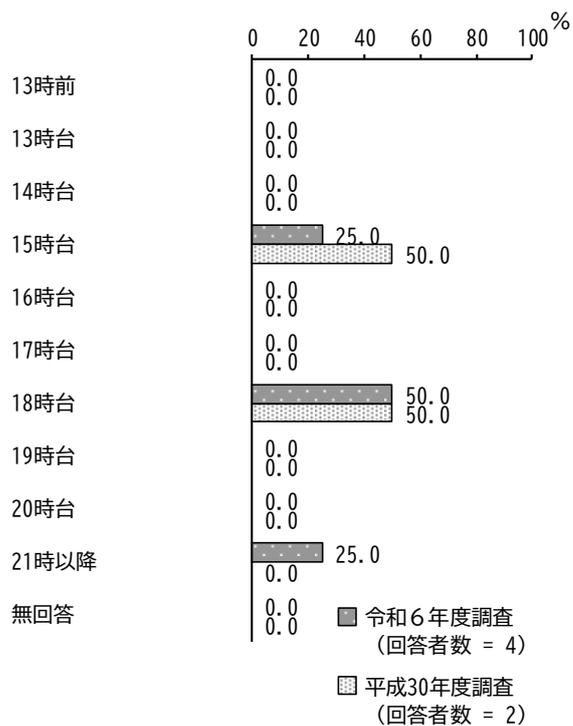
### 利用開始時刻

「9時台」が2件となっています。「7時前」、  
「7時台」が1件となっています。



### 利用終了時刻

「18時台」が2件となっています。「15時台」、  
「21時以降」が1件となっています。



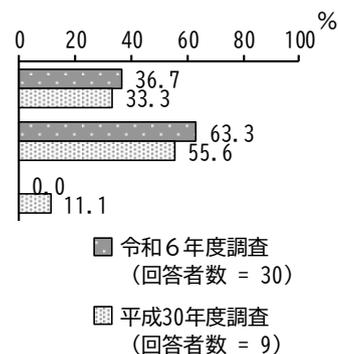
### (3) 祝日

「利用したい」の割合が36.7%、「利用する必要はない」の割合が63.3%となっています。

利用したい

利用する必要はない

無回答



### 利用開始時刻

「8時台」の割合が45.5%と最も高く、次いで「7時台」の割合が27.3%、「9時台」の割合が18.2%となっています。

7時前

7時台

8時台

9時台

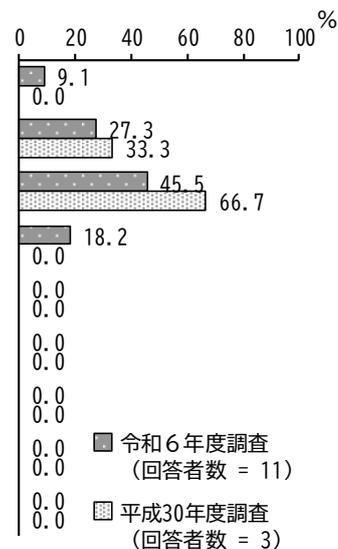
10時台

11時台

12時台

13時以降

無回答



### 利用終了時刻

「18時台」の割合が54.5%と最も高くなっています。

13時前

13時台

14時台

15時台

16時台

17時台

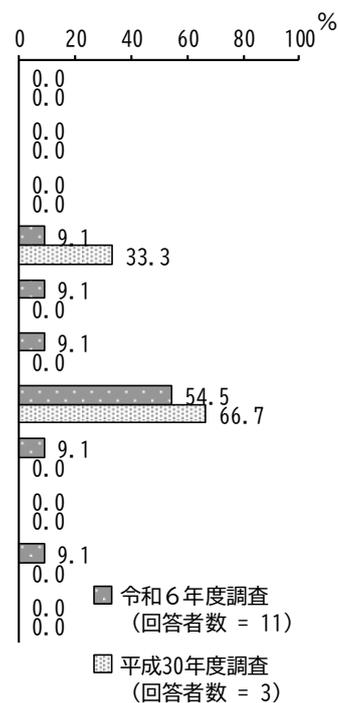
18時台

19時台

20時台

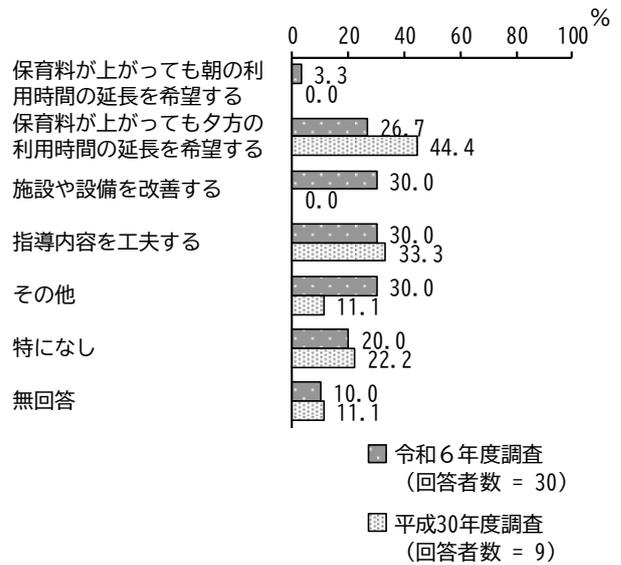
21時以降

無回答



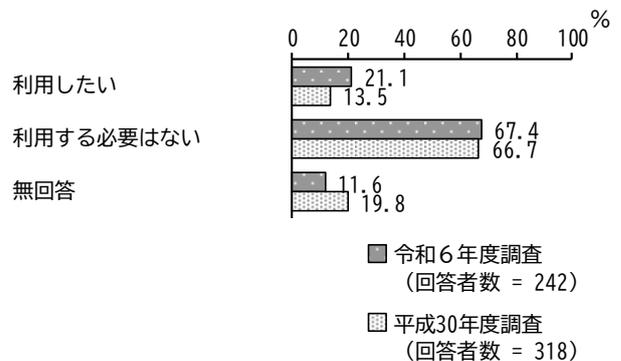
問 32 問 30 で「5. 放課後児童育成クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。放課後児童育成クラブにどのようなことを希望しますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「施設や設備を改善する」、「指導内容を工夫する」の割合が 30.0%と最も高く、次いで「保育料が上がっても夕方の利用時間の延長を希望する」の割合が 26.7%となっています。



問 33 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童育成クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に「(例)09時から18時」のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、事業の利用には、一定の保育料がかかります。

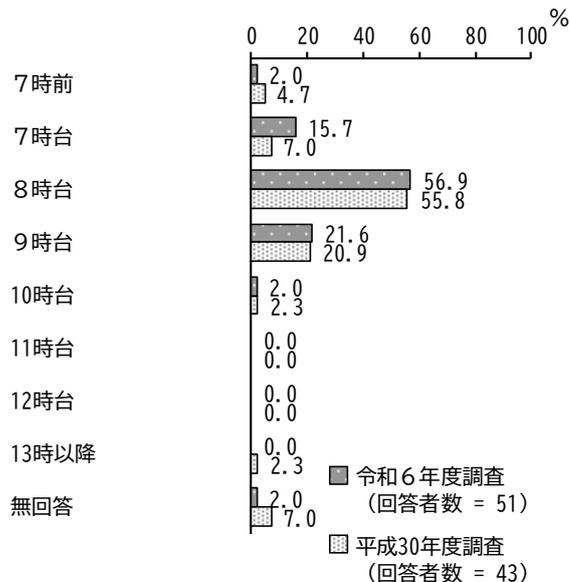
「利用したい」の割合が 21.1%、「利用する必要はない」の割合が 67.4%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「利用したい」の割合が増加しています。



### 利用開始時刻

「8時台」の割合が56.9%と最も高く、次いで「9時台」の割合が21.6%、「7時台」の割合が15.7%となっています。

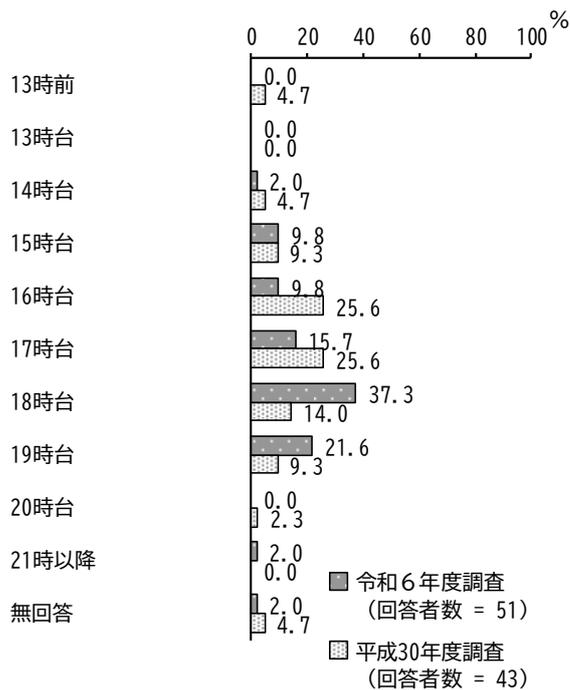
平成30年度調査と比較すると、「7時台」の割合が増加しています。



### 利用終了時刻

「18時台」の割合が37.3%と最も高く、次いで「19時台」の割合が21.6%、「17時台」の割合が15.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「18時台」「19時台」の割合が増加しています。一方、「16時台」「17時台」の割合が減少しています。



## (8) ヤングケアラーについて

問 34 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「言葉も内容も知っている」の割合が 69.0%と最も高く、次いで「知らない」の割合が 15.6%、「言葉は聞いたことがある」の割合が 14.6%となっています。

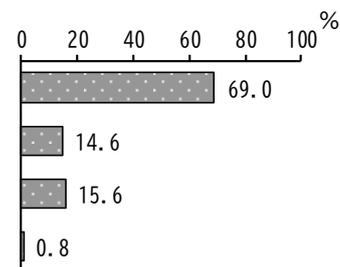
回答者数 = 520

言葉も内容も知っている

言葉は聞いたことがある

知らない

無回答



問 35 あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「本人に様子を聞く」の割合が 42.9%と最も高く、次いで「家族、知人、友人に相談する」の割合が 42.3%、「先生や部活の顧問等に相談する」、「市役所に相談する」の割合が 21.3%となっています。

回答者数 = 520

本人に様子を聞く

家族、知人、友人に相談する

先生や部活の顧問等に相談する

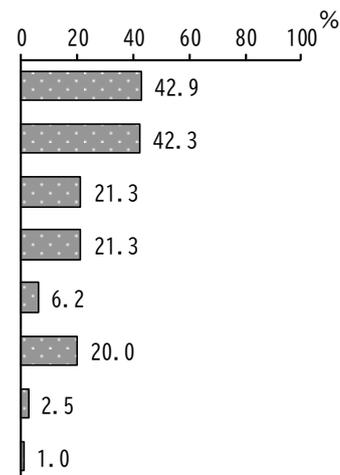
市役所に相談する

何もしない

わからない

その他

無回答

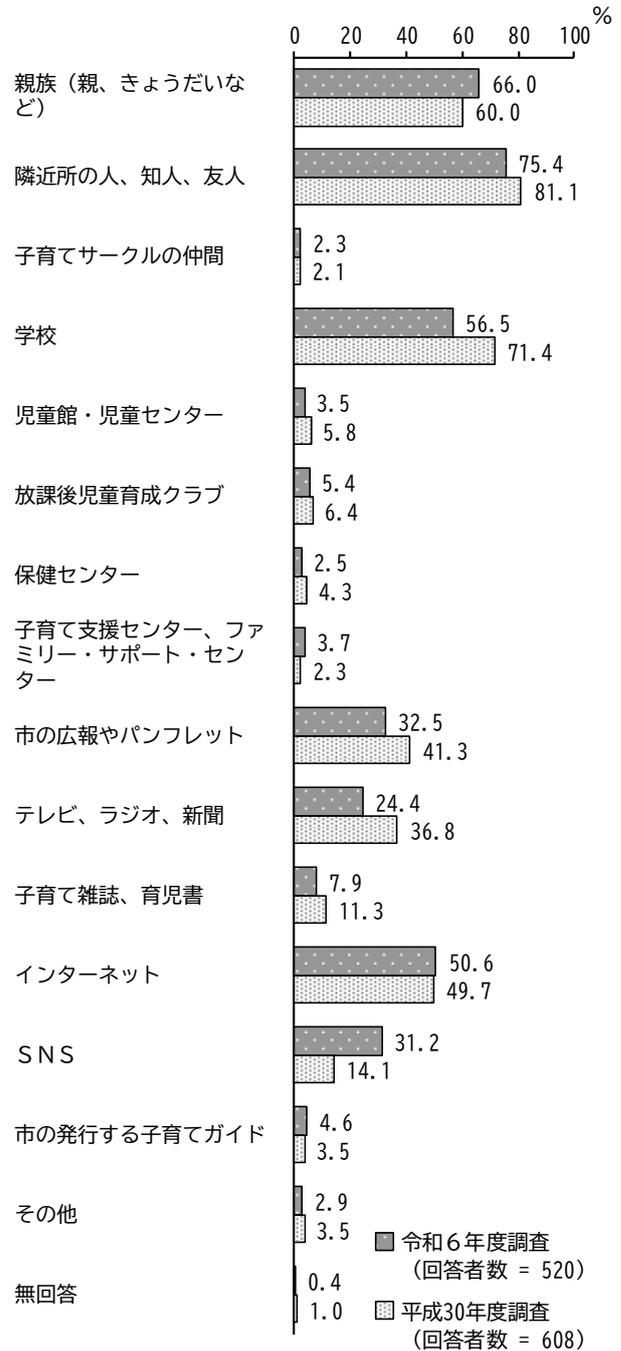


## (9) 子育ての環境や支援について

問 36 子育てに関する情報を誰から（どのように）入手されていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「隣近所の人、知人、友人」の割合が 75.4%と最も高く、次いで「親族（親、きょうだいなど）」の割合が 66.0%、「学校」の割合が 56.5%となっています。

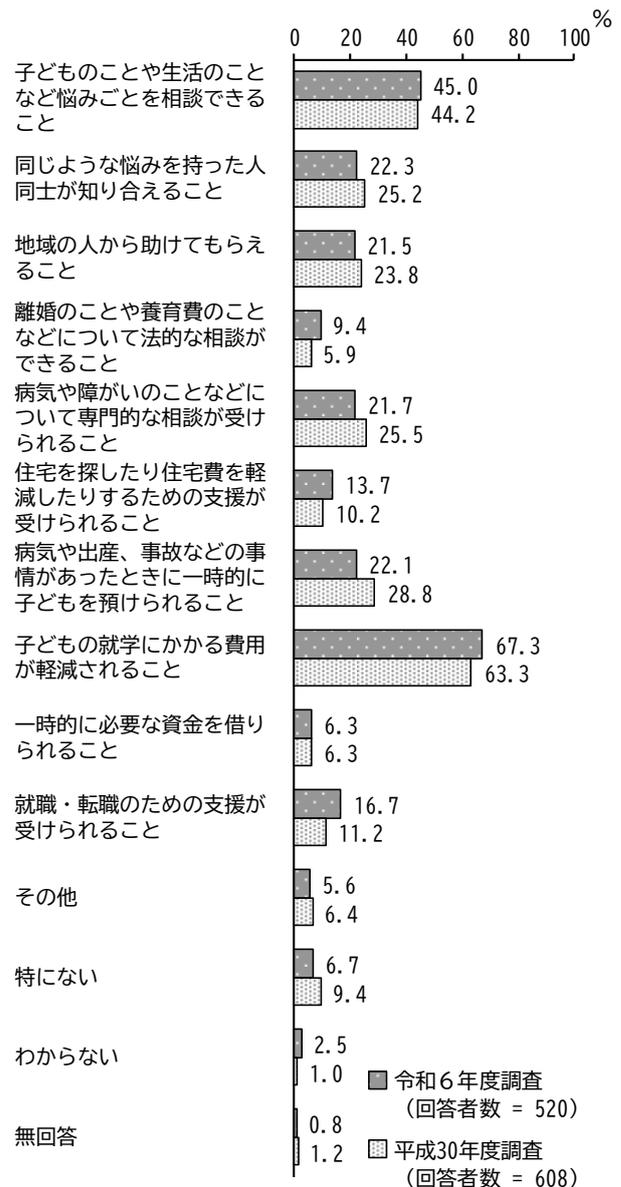
平成 30 年度調査と比較すると、「親族（親、きょうだいなど）」「SNS」の割合が増加しています。一方、「隣近所の人、知人、友人」「学校」「市の広報やパンフレット」「テレビ、ラジオ、新聞」の割合が減少しています。



問 37 あなたが現在必要としていること、重要だと思う支援等はどのようなものですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が 67.3%と最も高く、次いで「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」の割合が 45.0%、「同じような悩みを持った人同士が知り合えること」の割合が 22.3%となっています。

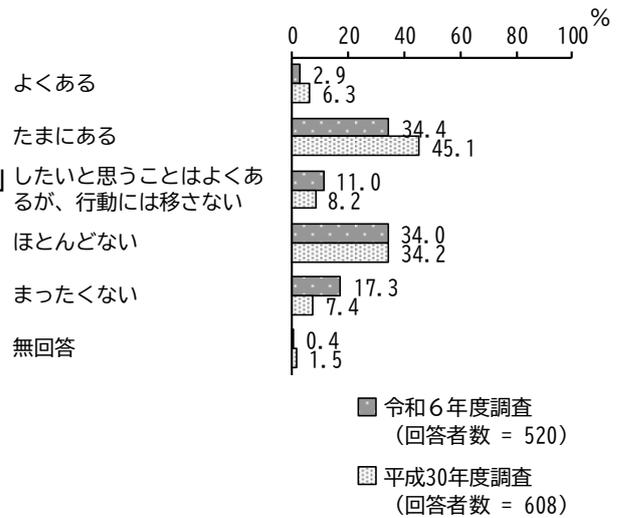
平成 30 年度調査と比較すると、「就職・転職のための支援が受けられること」の割合が増加しています。一方、「病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること」の割合が減少しています。



※前回調査では、「病気や障がいのことなどについて専門的な相談が受けられること」の選択肢は「病気や障害のことなどについて専門的な相談が受けられること」となっていました。

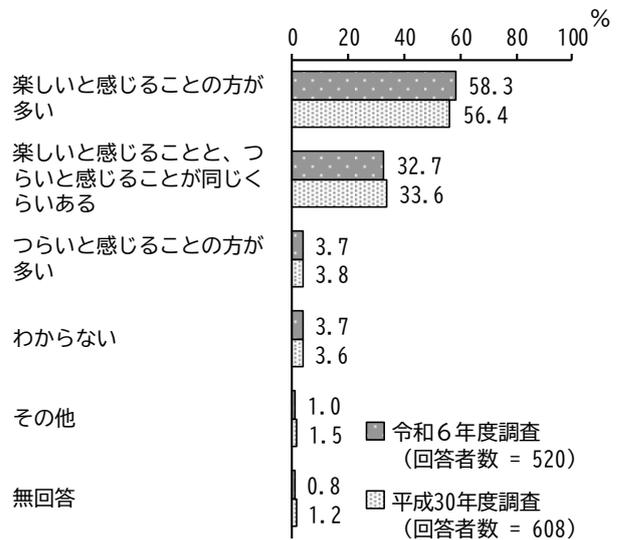
問 38 子どもに対して、思わずたいたり、子どもの心を傷つけてしまうような言動をしたり、子どもの相手や世話をしないことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「たまにある」の割合が34.4%と最も高く、次いで「ほとんどない」の割合が34.0%、「まったくない」の割合が17.3%となっています。平成30年度調査と比較すると、「まったくない」の割合が増加しています。一方、「たまにある」の割合が減少しています。



問 39 あなたは、子育てを楽しんでいることが多いと思いますか、それともつらいと感じていることが多いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「楽しいと感じることの方が多い」の割合が58.3%と最も高く、次いで「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらいある」の割合が32.7%となっています。平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

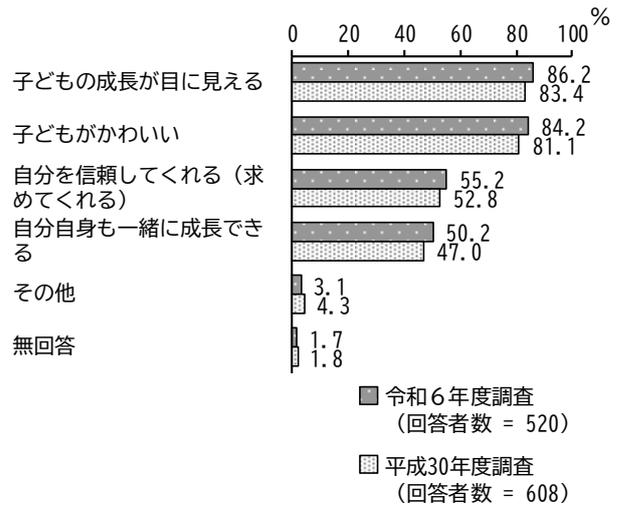


※前回調査では、「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらいある」の選択肢は「楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらいある」、「つらいと感じることの方が多い」の選択肢は「辛いと感じることの方が多い」となっていました。

問 40 あなたが子育てを楽しんでいる理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの成長が目に見える」の割合が 86.2% と最も高く、次いで「子どもがかわいい」の割合が 84.2%、「自分を信頼してくれる（求めてくれる）」の割合が 55.2%となっています。

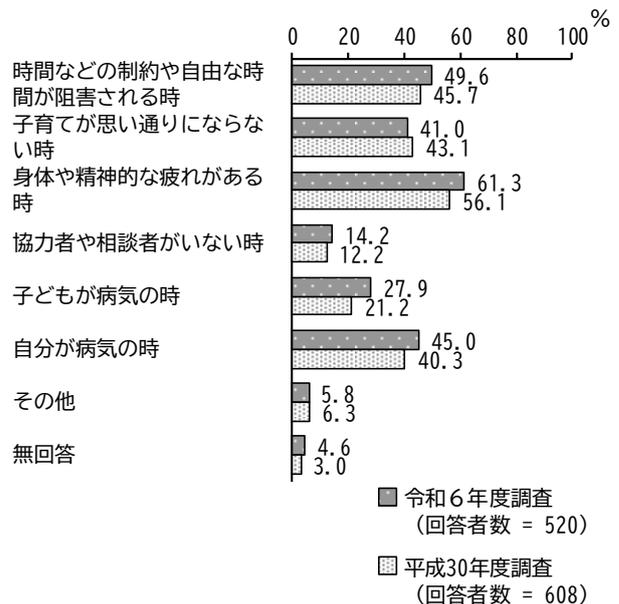
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 41 あなたが子育てが辛いと思う時はどのような時ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「身体や精神的な疲れがある時」の割合が 61.3% と最も高く、次いで「時間などの制約や自由な時間が阻害される時」の割合が 49.6%、「自分が病気の時」の割合が 45.0%となっています。

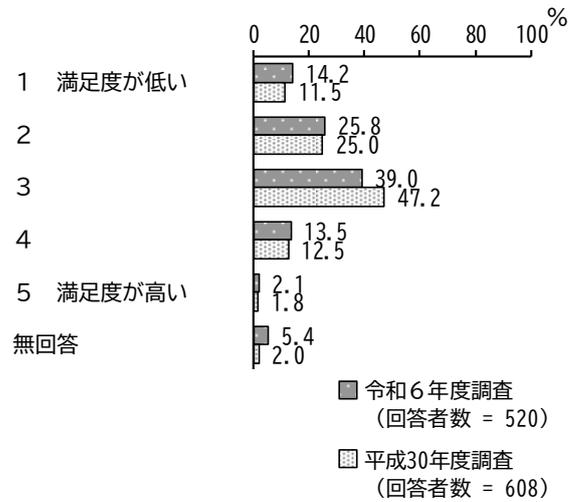
平成 30 年度調査と比較すると、「身体や精神的な疲れがある時」「子どもが病気の時」の割合が増加しています。



問 42 現在、本市においては、様々な子育て支援の取り組みを行っておりますが、本市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

「3」の割合が39.0%と最も高く、次いで「2」の割合が25.8%、「1 満足度が低い」の割合が14.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3」の割合が減少しています。



問 43 お子さんの子育てに関して、常滑市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実」の割合が41.0%と最も高く、次いで「地域における子どもの居場所の充実」の割合が32.1%、「子どもが主体的に行動できるよう学校教育・保育環境の充実」の割合が31.5%となっています。

回答者数 = 520

子育てに関する相談、情報提供の充実

親子・親同士の交流の場の充実

地域における子どもの居場所の充実

家庭の教育力向上のための学習機会の充実

子どもの発達支援のための健診や訪問、相談などの充実

子どもが主体的に行動できるよう学校教育・保育環境の充実

児童虐待やいじめなどに対する対策の充実

障がいのある子どもが地域で安心して生活できるよう障がい児施策の充実

ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実

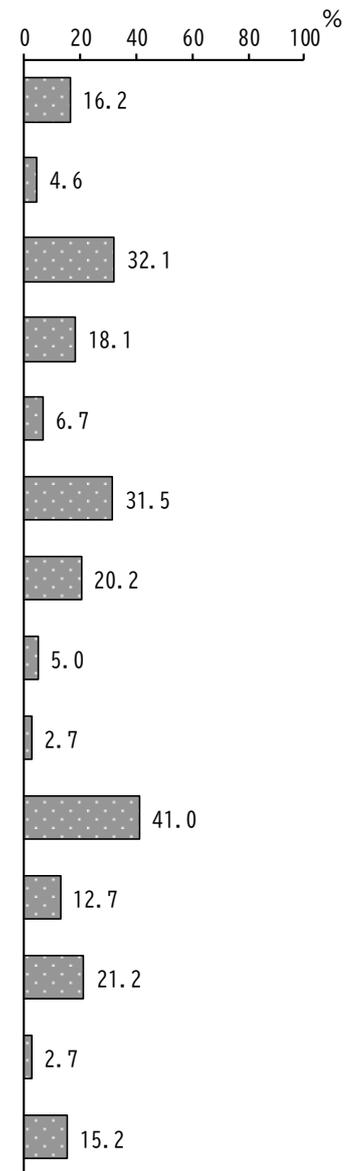
教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実

仕事と子育てが両立できるよう就学前施設の箇所数や内容の充実

仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善等、企業や労働者に対する啓発

その他

無回答



### Ⅲ 自由回答

#### 1 就学前保護者

分類回答	件数
(1) お住まいの地域やご家族、ご家庭の状況について	19
(2) 子育てをめぐる環境について	62
(3) 保護者の就労状況について	12
(4) 保育園や幼稚園などの利用状況や意向について	59
(5) 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望について	7
(6) お子さんの病気の際の対応について	16
(7) 不定期の教育・保育事業や一時預かり事業などの利用について	25
(8) 地域子育て支援拠点事業の利用状況について	10
(9) 小学校就学後の放課後の過ごし方について	8
(10) 子育て環境や支援対策について	52
(11) 情報提供について	10
(12) 相談について	6
(13) その他	18

## 2 小学生保護者

分類回答	件数
(1) お住まいの地域やご家族、ご家庭の状況について	11
(2) 子育てをめぐる環境について	64
(3) 保護者の就労状況について	7
(4) 保育園や幼稚園などの利用状況や意向について	5
(5) 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望について	9
(6) お子さんの病気の際の対応について	3
(7) 不定期の教育・保育事業や一時預かり事業などの利用について	1
(8) 地域子育て支援拠点事業の利用状況について	1
(9) 小学校就学後の放課後の過ごし方について	18
(10) 子育て環境や支援対策について	96
(11) 情報提供について	8
(12) 相談について	1
(13) その他	7



常滑市

子ども・子育てに関するアンケート調査

---

発行年月：令和6年8月

発行：常滑市 こども健康部 子育て支援課

〒479-8610

愛知県常滑市飛香台3丁目3番地の5

電話：0569-47-6150